

事業法人向けクロスボーダー円建て 決済サービスに関するアンケート調査

<集計結果>

[調査概要]

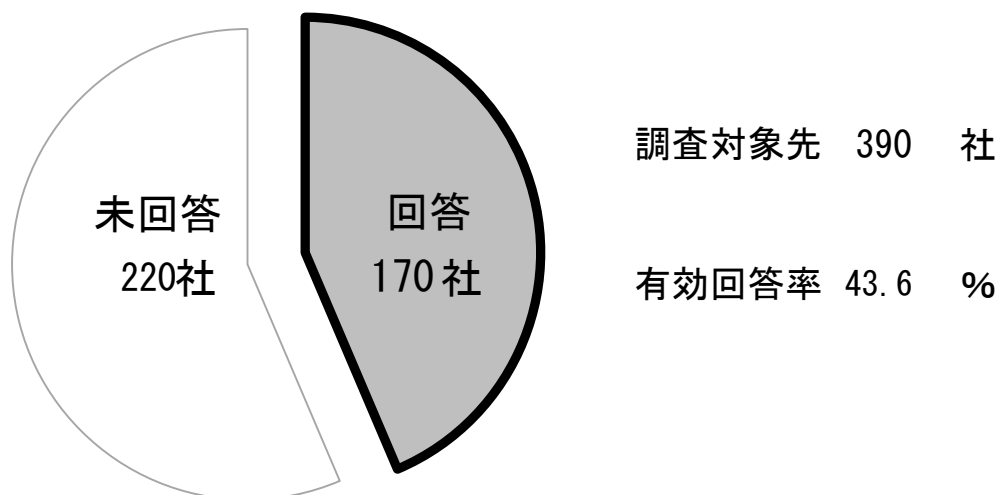
- ・ 調査目的：「日銀ネット」の有効活用に向けて、①金融機関によるクロスボーダーの円建て決済サービスの利用状況、②日本の夕方・夜間の時間帯におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズ・課題、などについて調査・分析すること
 - 「日銀ネット」は2016年2月に稼動時間を21時まで拡大。その有効活用の一つに、金融機関による夕方・夜間のクロスボーダーの円建て決済サービスの拡大が挙げられる。
- ・ 調査対象：海外拠点を有する本邦企業および本邦に進出している外資系企業（計390社）
 - 海外現地法人数、国内法人売上高、資本金等に基づき抽出。
 - 法人名の公表に同意頂いた事業法人については61頁を参照。
- ・ 調査期間：2017年2月3日～3月3日
- ・ 調査方法：アンケート資料を郵送（電話説明も実施）

[留意点]

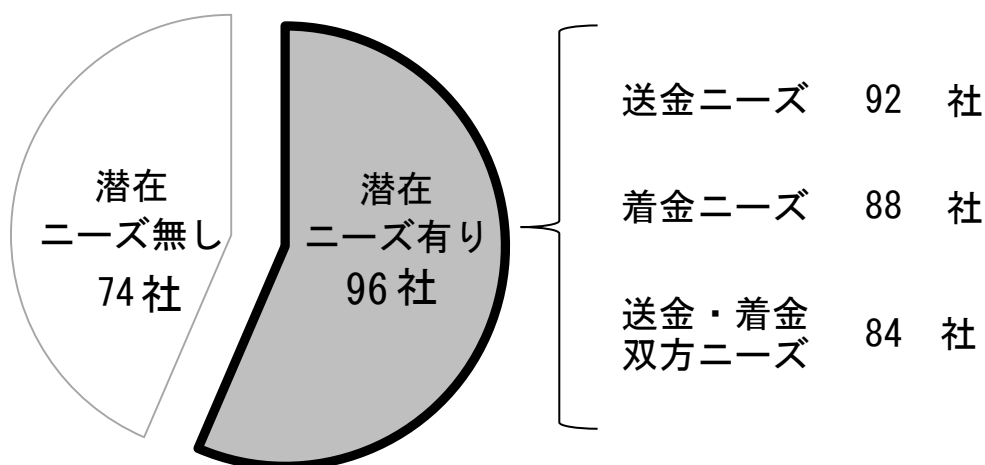
- ・ 本資料における「回答比率」とは、各選択肢の回答数を、当該設問の有効回答数（法人数）で除した値を百分率で表示したものです。
- ・ 複数回答の設問においては、各選択肢の回答比率合計は、通常100%を上回ります。
- ・ クロス集計分析において、統計上有意な差が認められる項目には、グラフ中に★印を付しています（本資料では、有意水準の閾値を概ねP値5%未満としております）。

アンケート結果概要

1. 回答法人数



2. 夕方・夜間の円建て送金・着金の潜在的なニーズ^(※1)の概要



※1 国内拠点による、日本と海外との間における夕方・夜間の円建て送金・着金の潜在的なニーズ

3. 主な企業区分別の夕方・夜間の円建て送金・着金の潜在的なニーズ

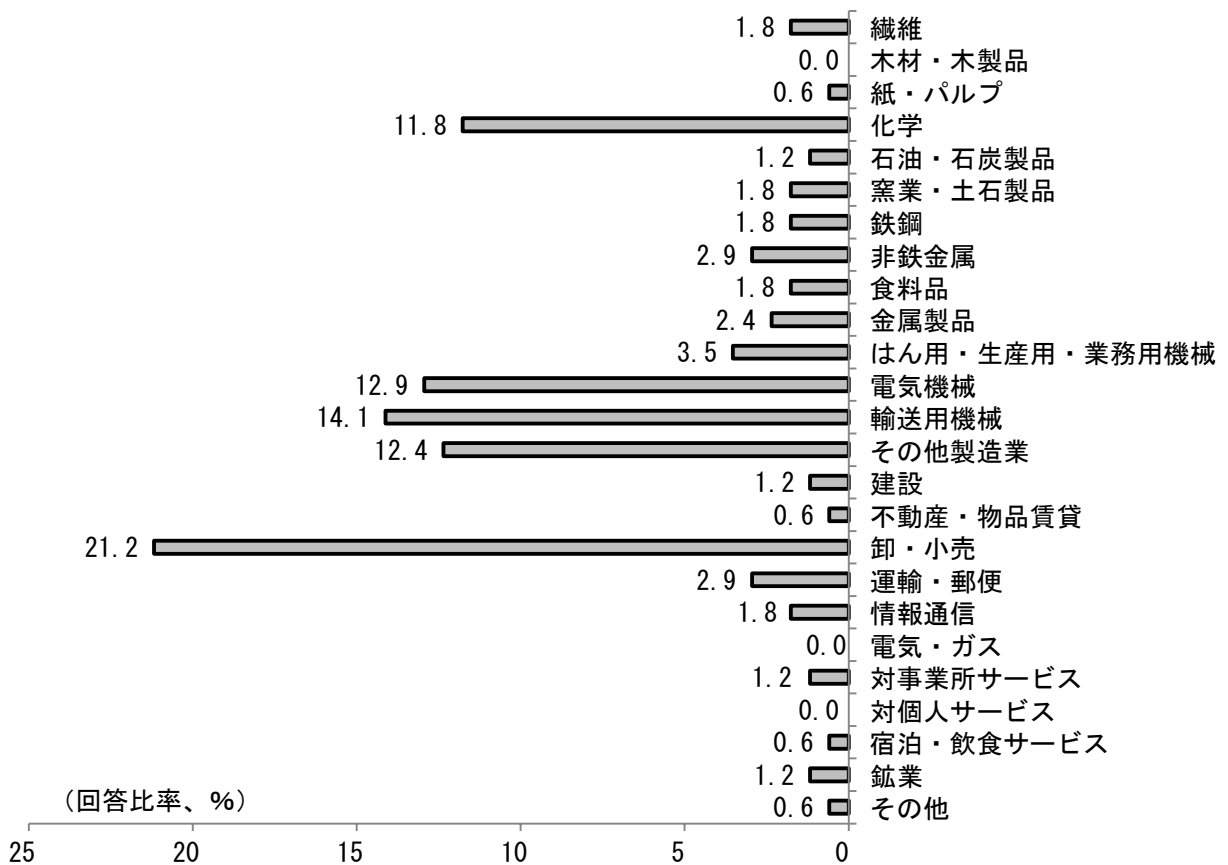
	回答法人数	潜在ニーズを有する法人数			潜在ニーズを有する法人の割合
		送金	着金	双方	
本邦企業	132	74	74	71	58%
外資系企業	38	18	14	13	50%
大企業	126	73	67	66	59%
中堅・中小企業	42	17	20	17	48%

※2 大企業は資本金10億円以上、中堅・中小企業は同10億円未満として集計(資本金に関する問2について未回答の2社を除く)

回答企業の概要

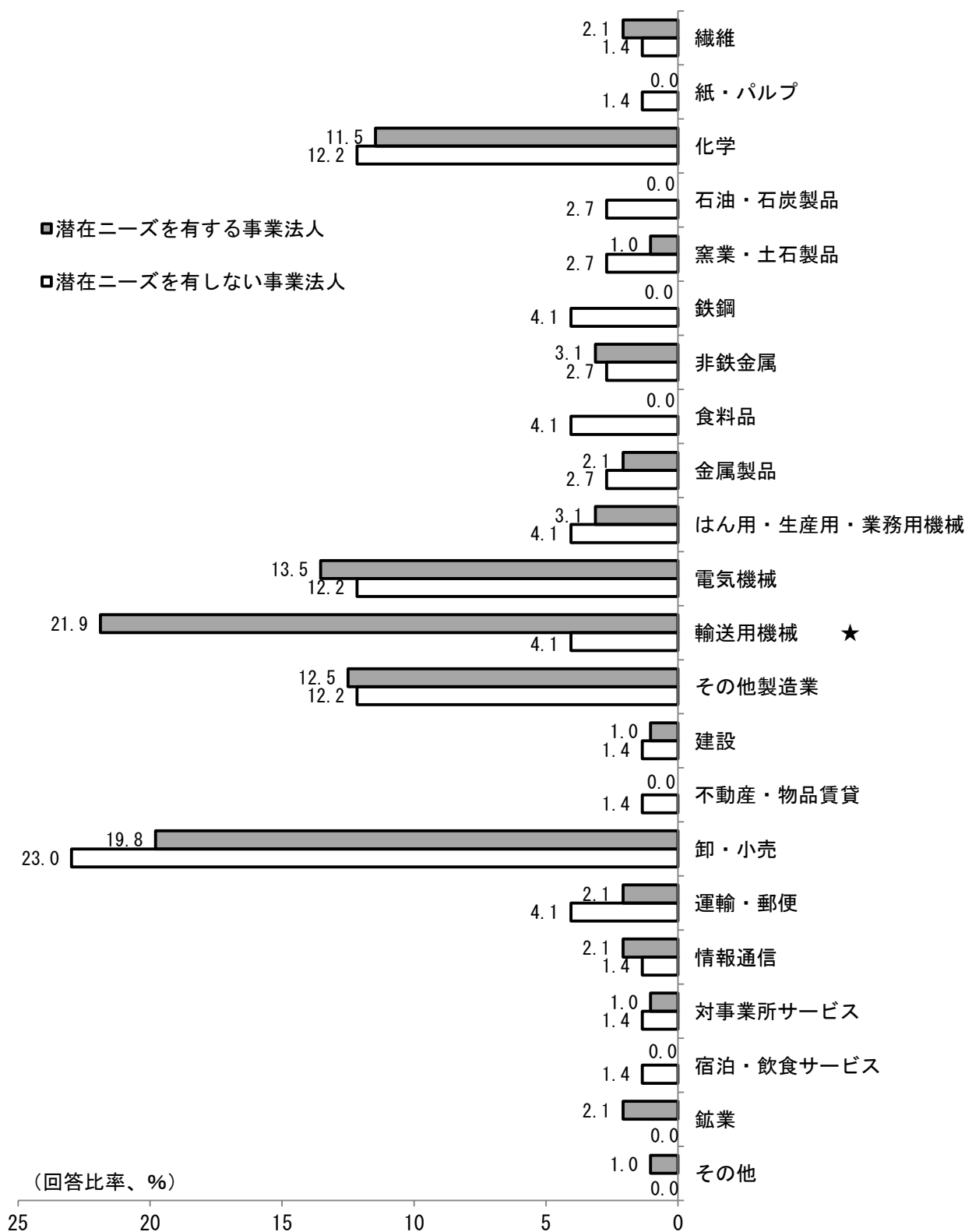
問1 貴社の業種について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 繊維	3	1.8
2 木材・木製品	0	0.0
3 紙・パルプ	1	0.6
4 化学	20	11.8
5 石油・石炭製品	2	1.2
6 窯業・土石製品	3	1.8
7 鉄鋼	3	1.8
8 非鉄金属	5	2.9
9 食料品	3	1.8
10 金属製品	4	2.4
11 はん用・生産用・業務用機械	6	3.5
12 電気機械	22	12.9
13 輸送用機械	24	14.1
14 その他製造業	21	12.4
15 建設	2	1.2
16 不動産・物品賃貸	1	0.6
17 卸・小売	36	21.2
18 運輸・郵便	5	2.9
19 情報通信	3	1.8
20 電気・ガス	0	0.0
21 対事業所サービス	2	1.2
22 対個人サービス	0	0.0
23 宿泊・飲食サービス	1	0.6
24 鉱業	2	1.2
25 その他	1	0.6
合計	170	100



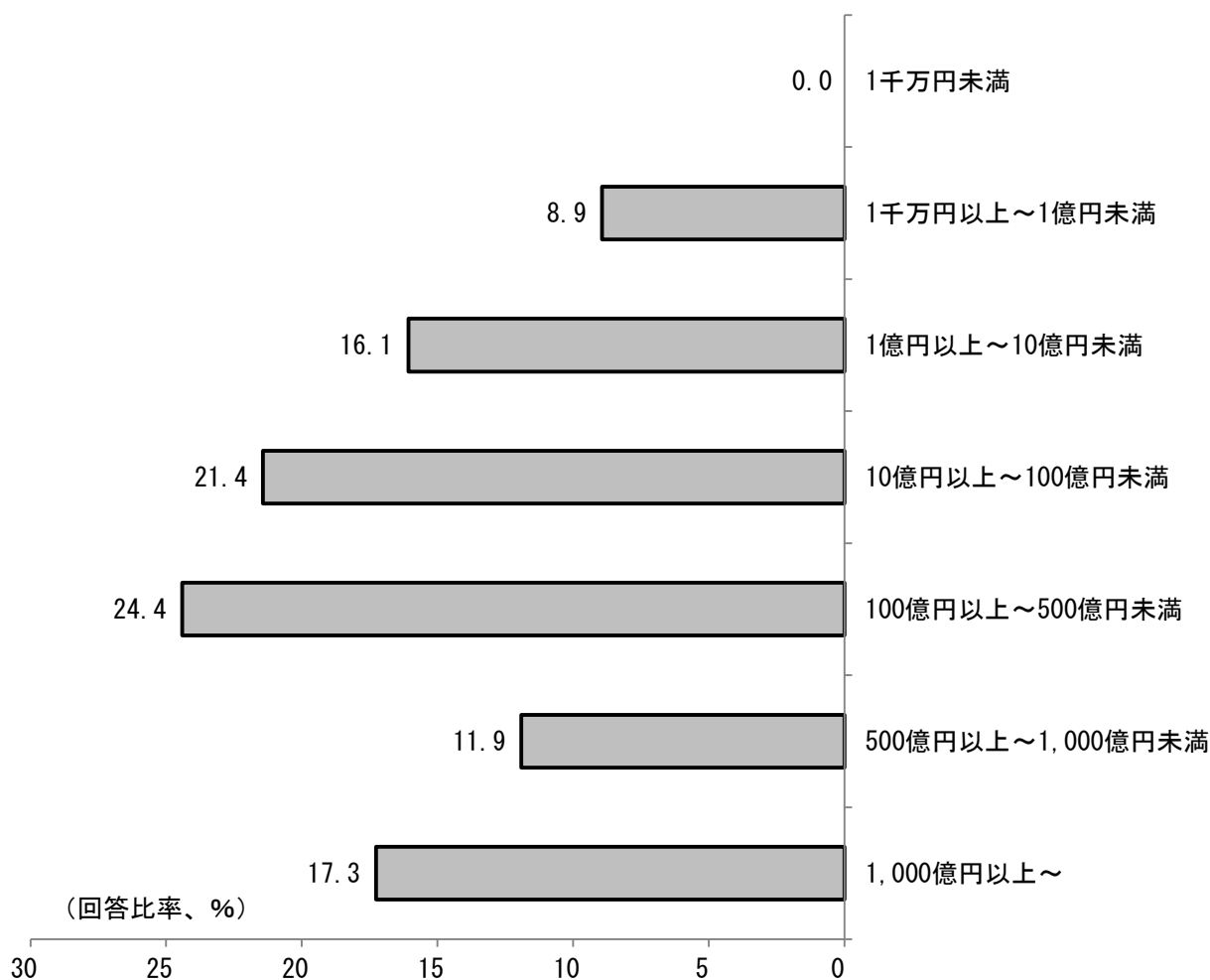
【クロス集計<問1と問15(1)、(2)>】
 夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと業種との関係

夕方・夜間の円建て送金・着金ニーズと業種との関係
 【問1と問15(1)、(2)】



問2 貴社の資本金（前年度決算期）について、該当する項目を二つチェックして下さい。

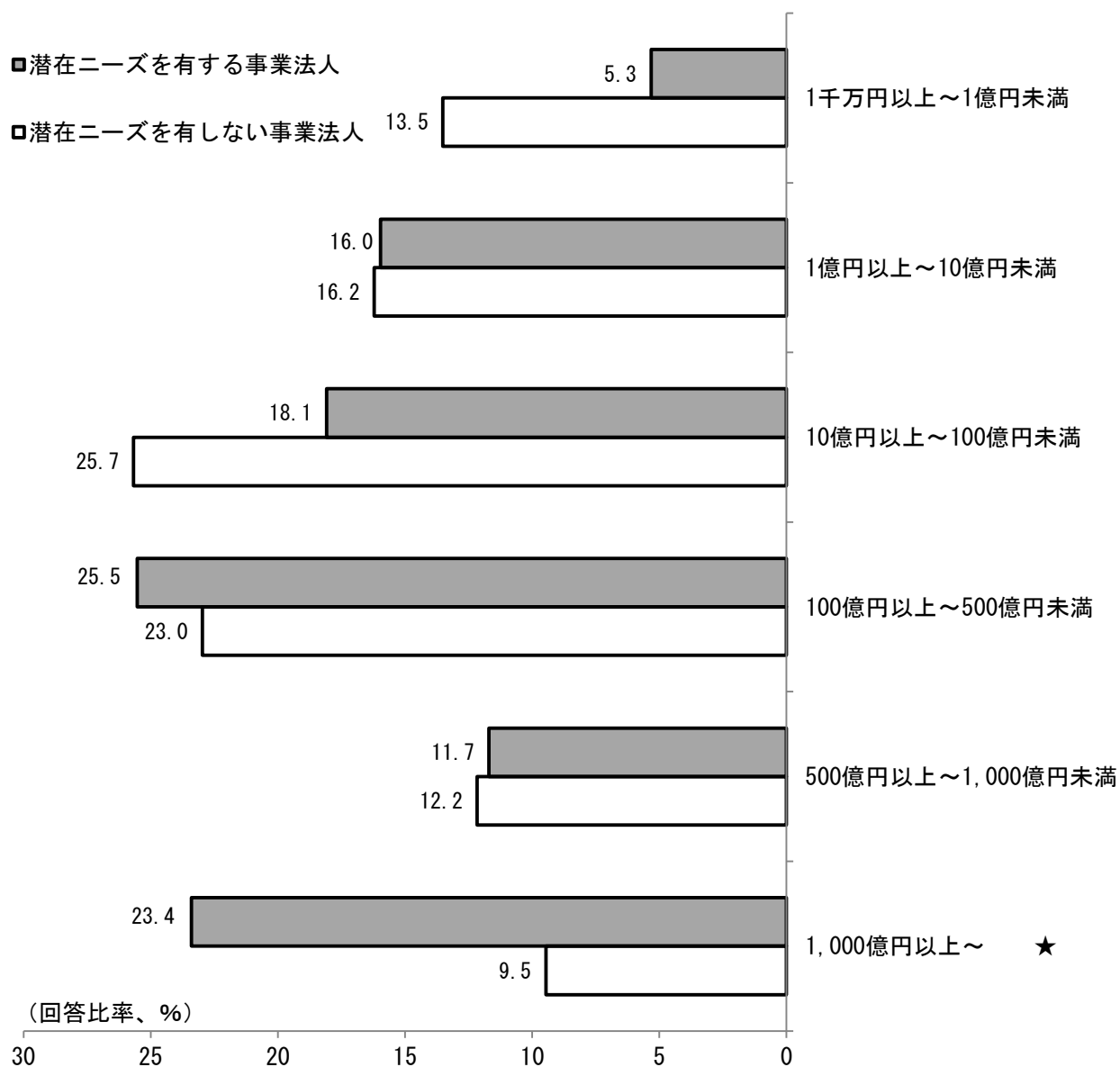
選択肢	回答数	回答比率
1 1千万円未満	0	0.0
2 1千万円以上～1億円未満	15	8.9
3 1億円以上～10億円未満	27	16.1
4 10億円以上～100億円未満	36	21.4
5 100億円以上～500億円未満	41	24.4
6 500億円以上～1,000億円未満	20	11.9
7 1,000億円以上～	29	17.3
合計	168	100



【クロス集計<問2と問15(1)、(2)>】

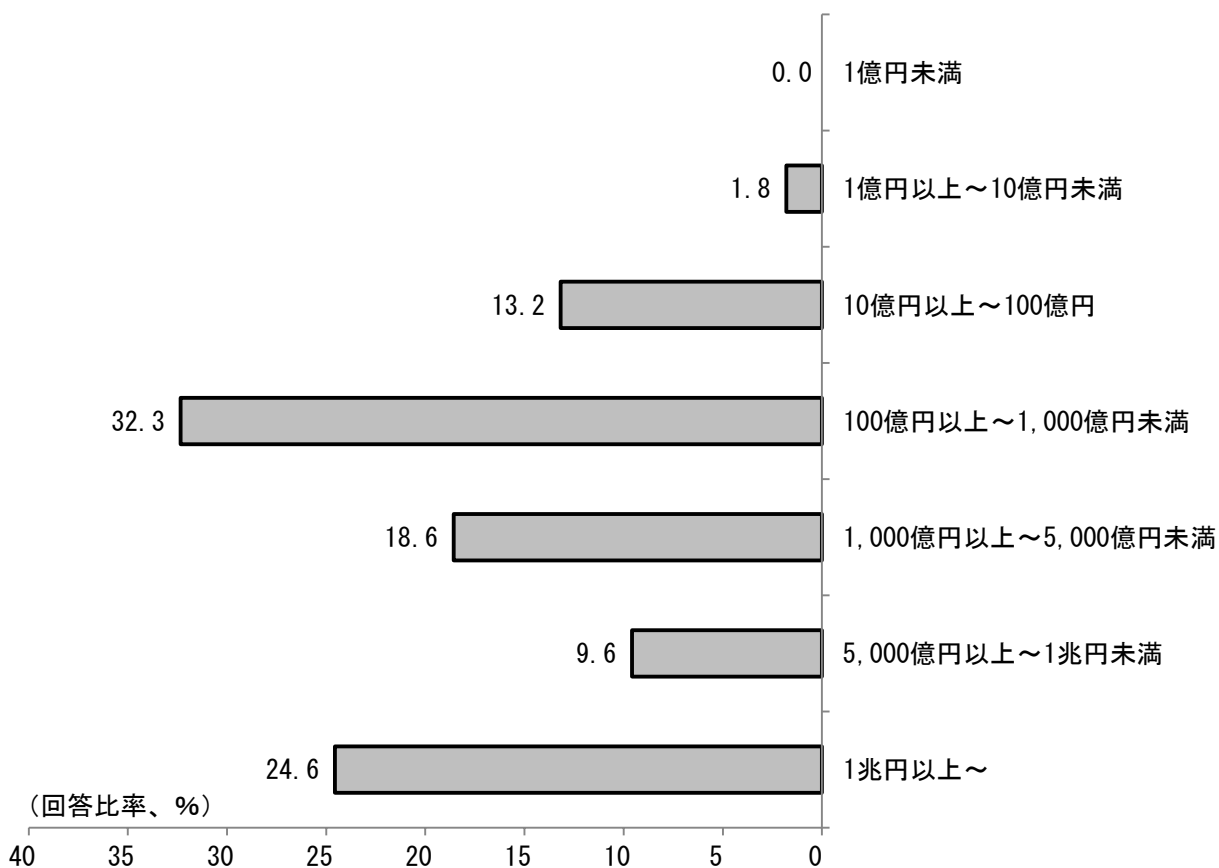
夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと資本金との関係

夕方・夜間の円建て送金・着金ニーズと資本金との関係
【問2と問15(1)、(2)】



問3 貴社の売上高（前年度決算期）について、該当する項目を二つチェックして下さい。

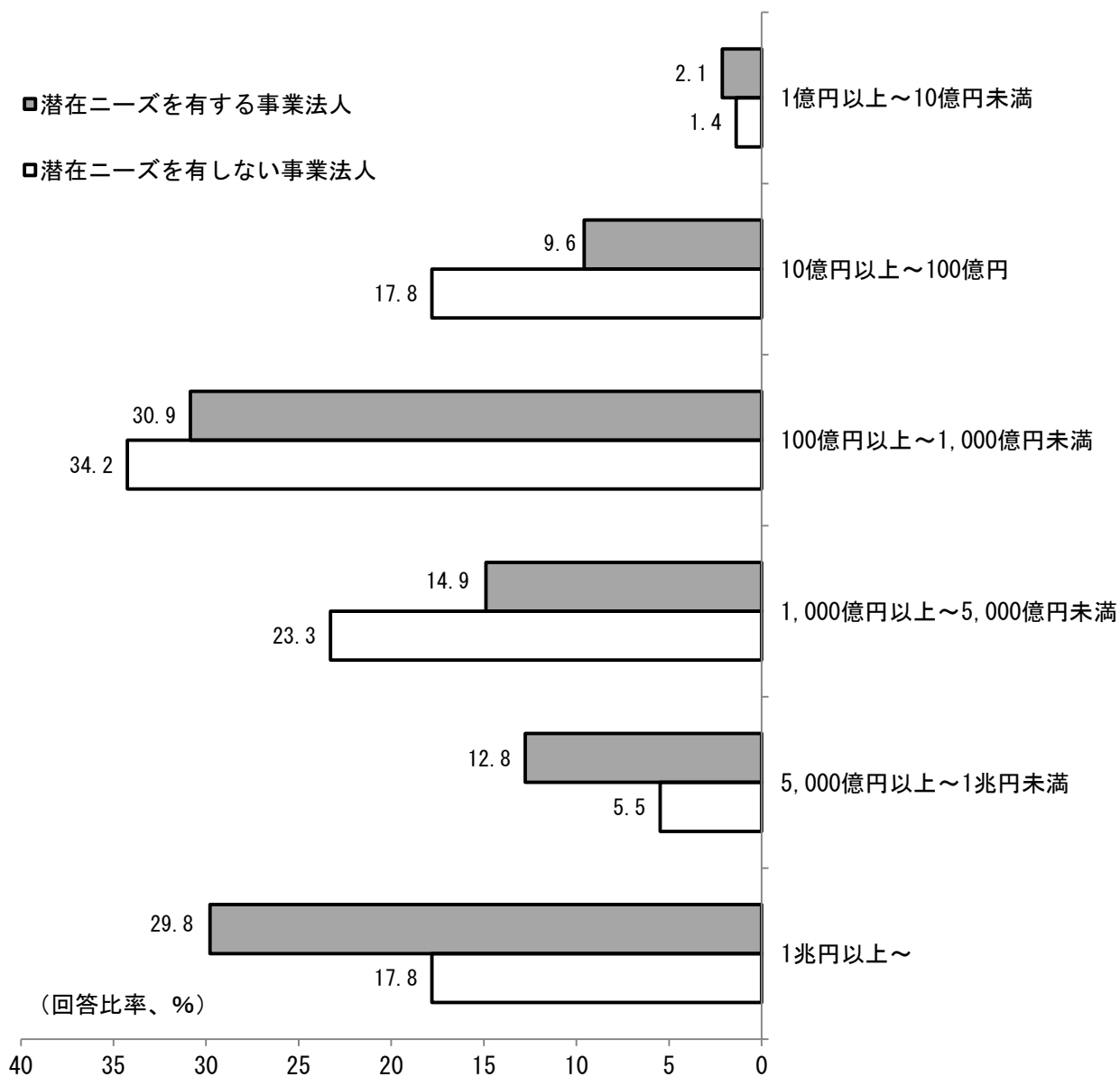
選択肢	回答数	回答比率
1 1億円未満	0	0.0
2 1億円以上～10億円未満	3	1.8
3 10億円以上～100億円	22	13.2
4 100億円以上～1,000億円未満	54	32.3
5 1,000億円以上～5,000億円未満	31	18.6
6 5,000億円以上～1兆円未満	16	9.6
7 1兆円以上～	41	24.6
合計	167	100



【クロス集計<問3と問15(1)、(2)>】

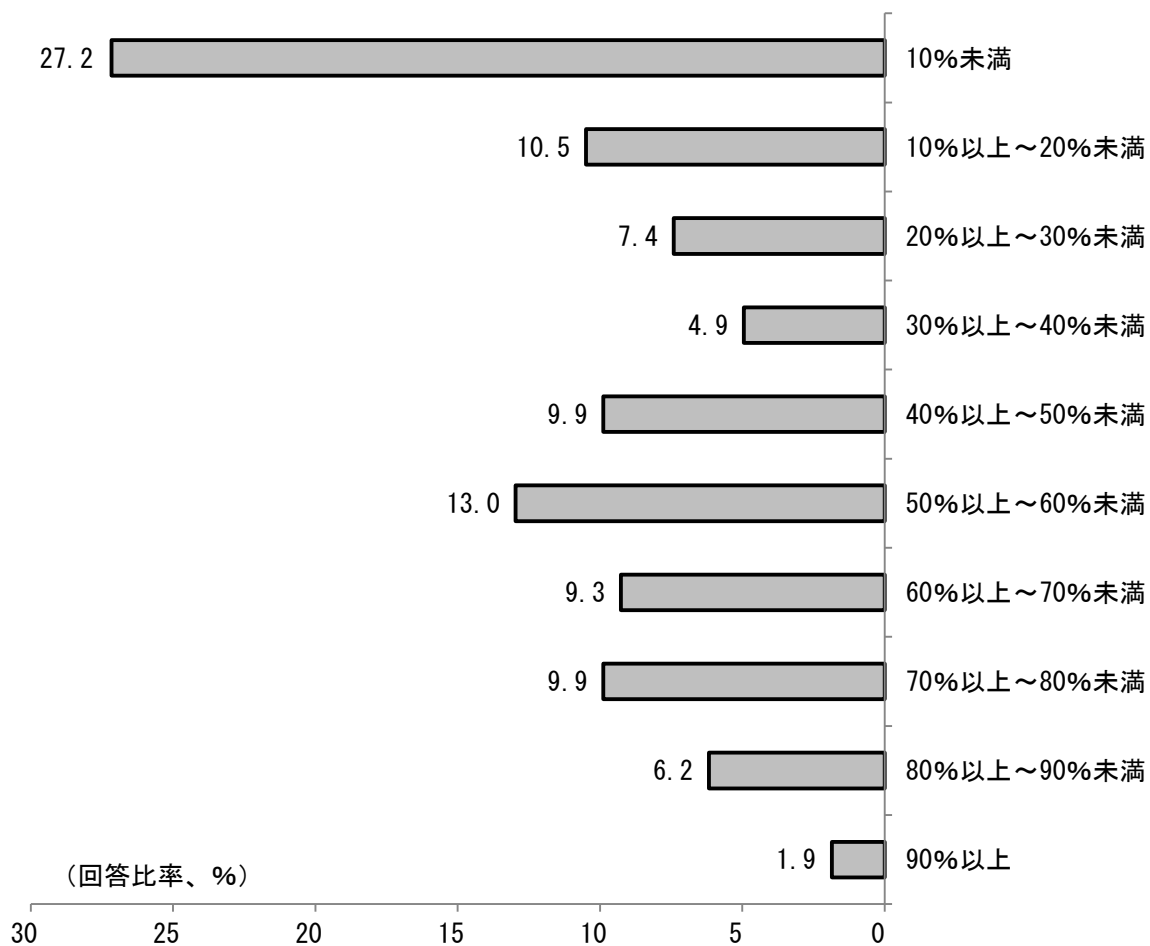
夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと売上高との関係

夕方・夜間の円建て送金・着金ニーズと売上高との関係
【問3と問15(1)、(2)】



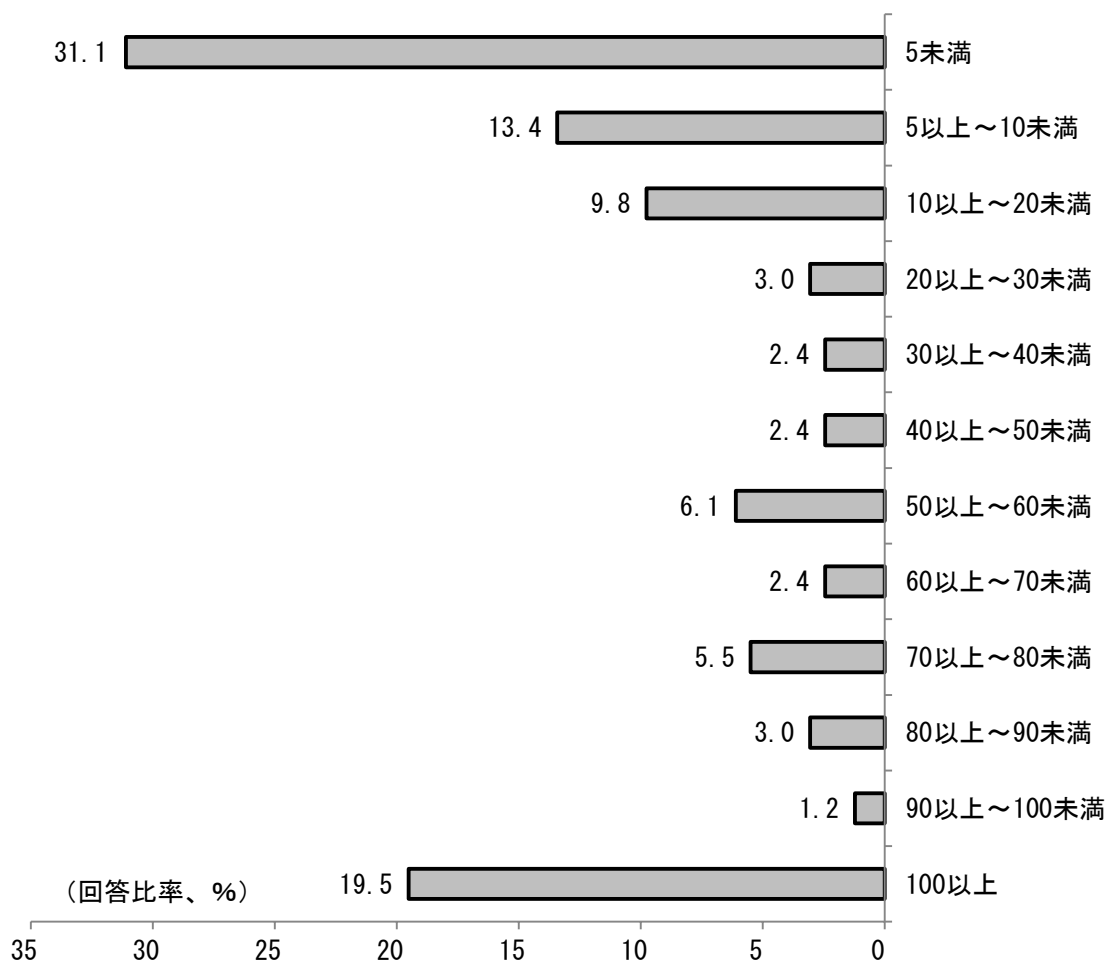
問4 貴社の海外売上高比率（前年度決算期）について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 10%未満	44	27.2
2 10%以上～20%未満	17	10.5
3 20%以上～30%未満	12	7.4
4 30%以上～40%未満	8	4.9
5 40%以上～50%未満	16	9.9
6 50%以上～60%未満	21	13.0
7 60%以上～70%未満	15	9.3
8 70%以上～80%未満	16	9.9
9 80%以上～90%未満	10	6.2
10 90%以上	3	1.9
合計	162	100



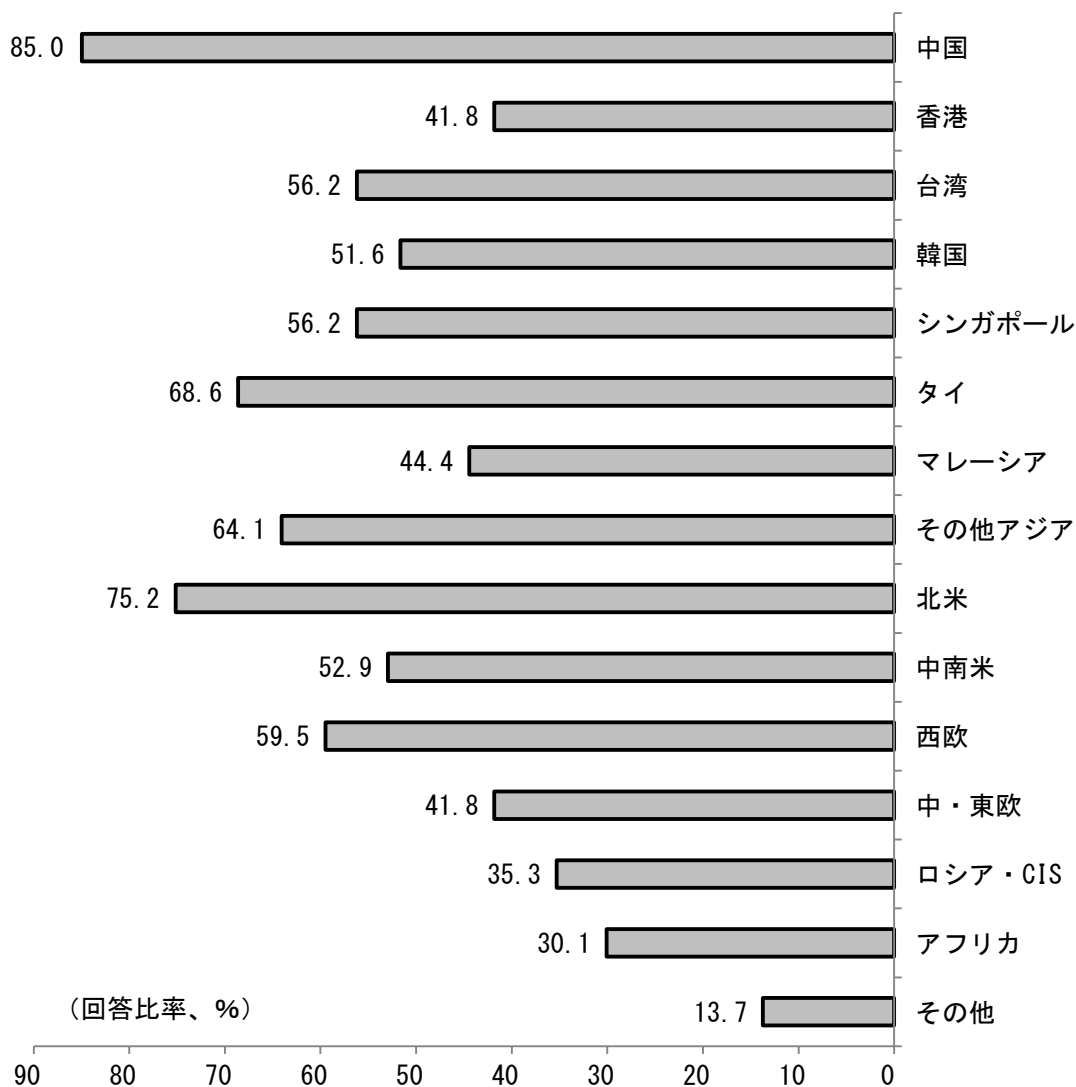
問5 貴社の海外拠点数について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 5未満	51	31.1
2 5以上～10未満	22	13.4
3 10以上～20未満	16	9.8
4 20以上～30未満	5	3.0
5 30以上～40未満	4	2.4
6 40以上～50未満	4	2.4
7 50以上～60未満	10	6.1
8 60以上～70未満	4	2.4
9 70以上～80未満	9	5.5
10 80以上～90未満	5	3.0
11 90以上～100未満	2	1.2
12 100以上	32	19.5
合計	164	100



問6 貴社の海外拠点の所在国・地域について、該当する項目を全てチェックして下さい。

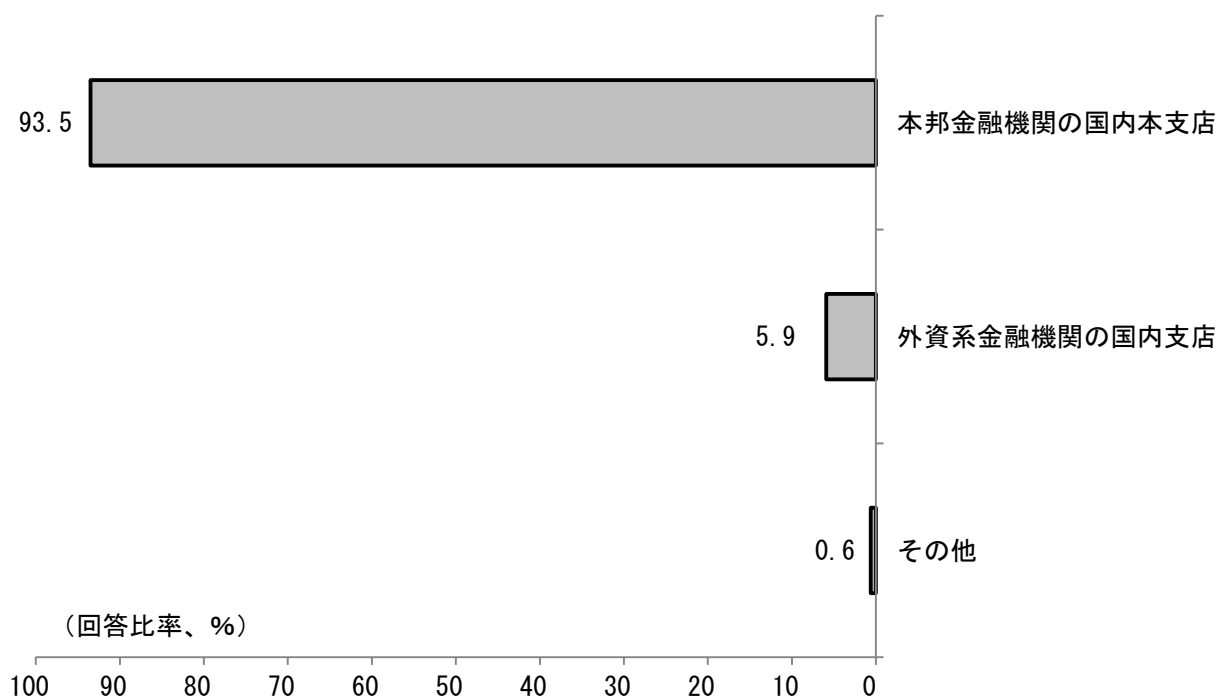
選択肢	回答数	回答比率
1 中国	130	85.0
2 香港	64	41.8
3 台湾	86	56.2
4 韓国	79	51.6
5 シンガポール	86	56.2
6 タイ	105	68.6
7 マレーシア	68	44.4
8 その他アジア	98	64.1
9 北米	115	75.2
10 中南米	81	52.9
11 西欧	91	59.5
12 中・東欧	64	41.8
13 ロシア・CIS	54	35.3
14 アフリカ	46	30.1
15 その他	21	13.7



回答企業グループにおける円資金管理

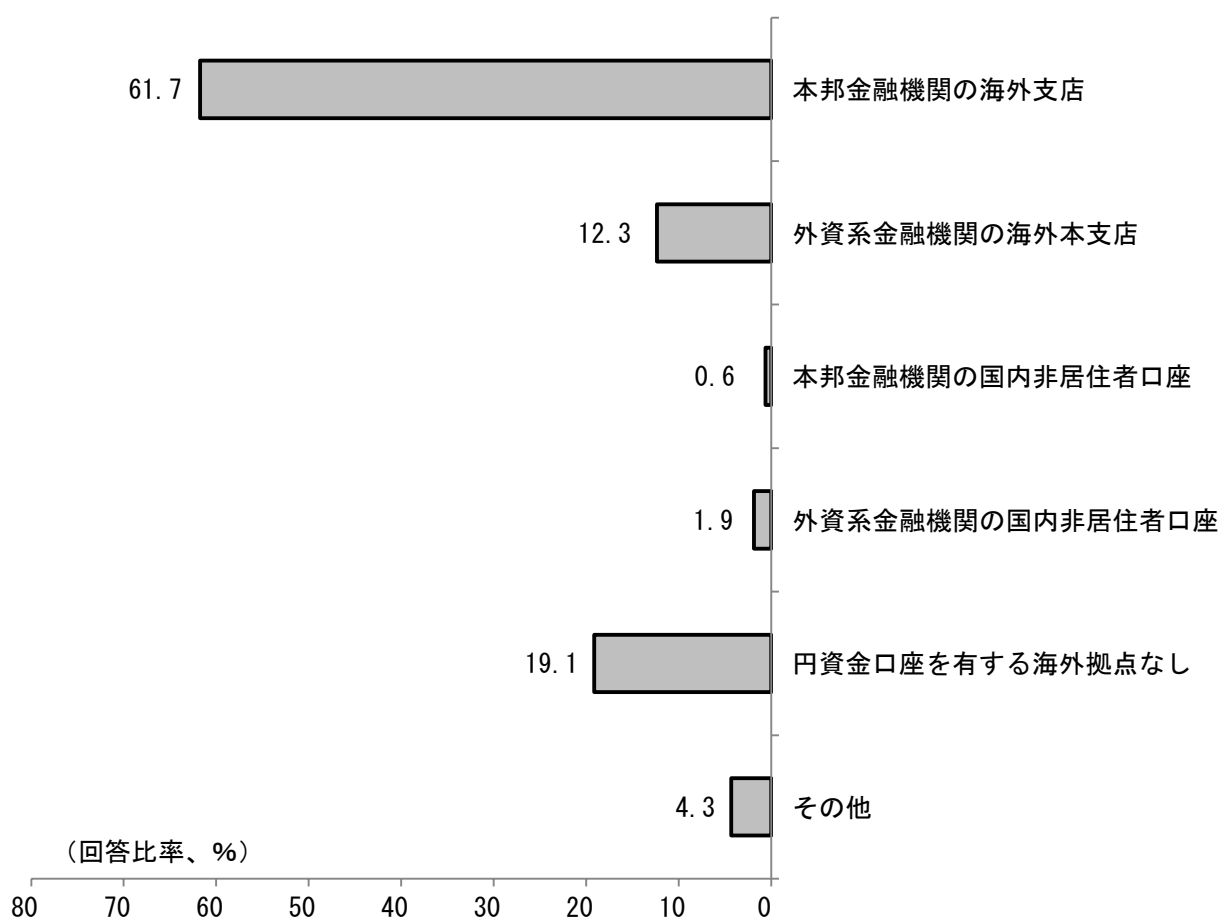
問7 貴社の主たる円資金口座の開設先について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 本邦金融機関の国内本支店	158	93.5
2 外資系金融機関の国内支店	10	5.9
3 その他	1	0.6
合計	169	100



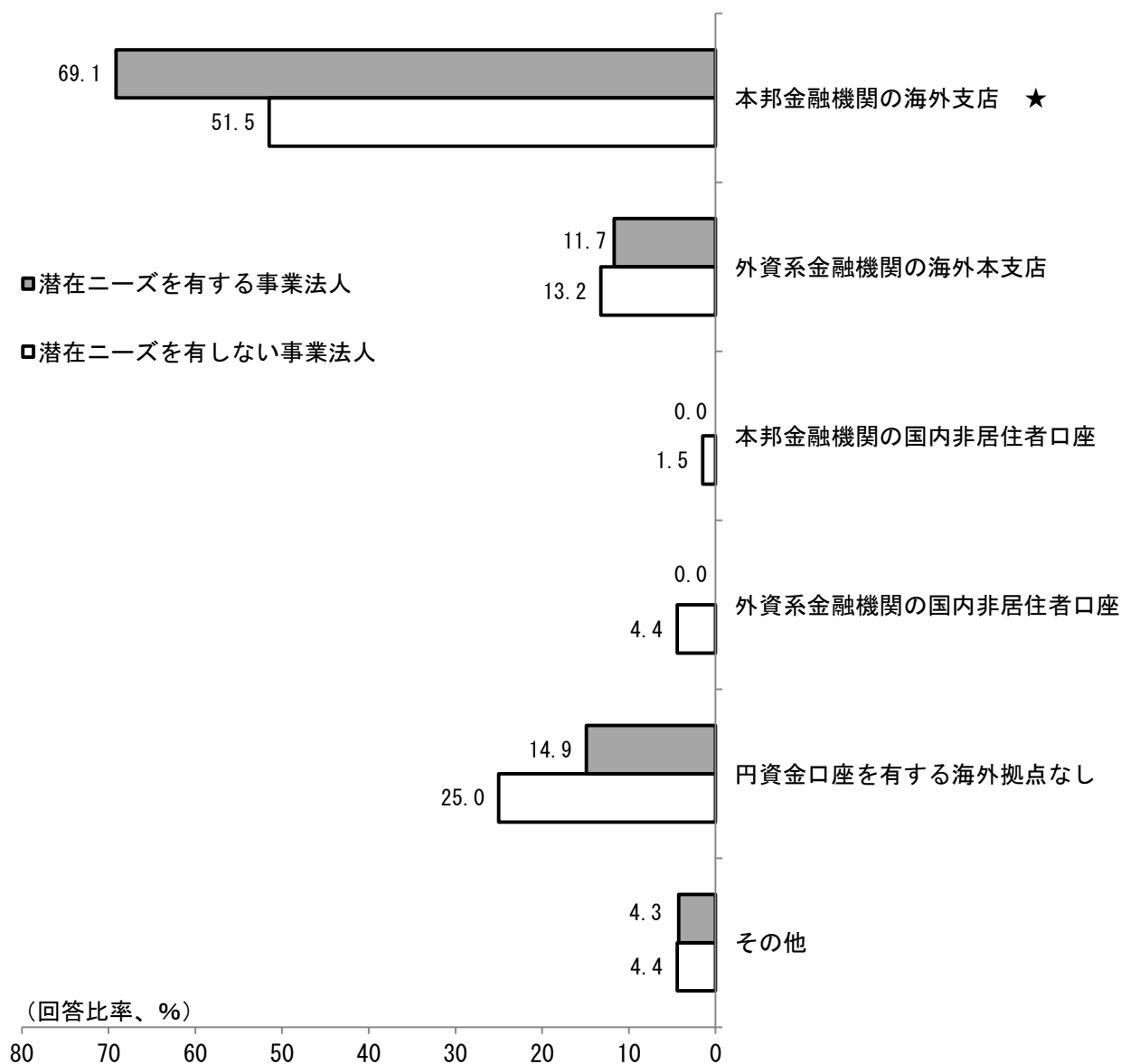
問8 貴社の海外拠点の主たる円資金口座の開設先について、該当する項目を一つチェックして下さい。海外拠点については、円資金量が最も多い拠点についてご回答下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 本邦金融機関の海外支店	100	61.7
2 外資系金融機関の海外本支店	20	12.3
3 本邦金融機関の国内非居住者口座	1	0.6
4 外資系金融機関の国内非居住者口座	3	1.9
5 円資金口座を有する海外拠点なし	31	19.1
6 その他	7	4.3
合計	162	100



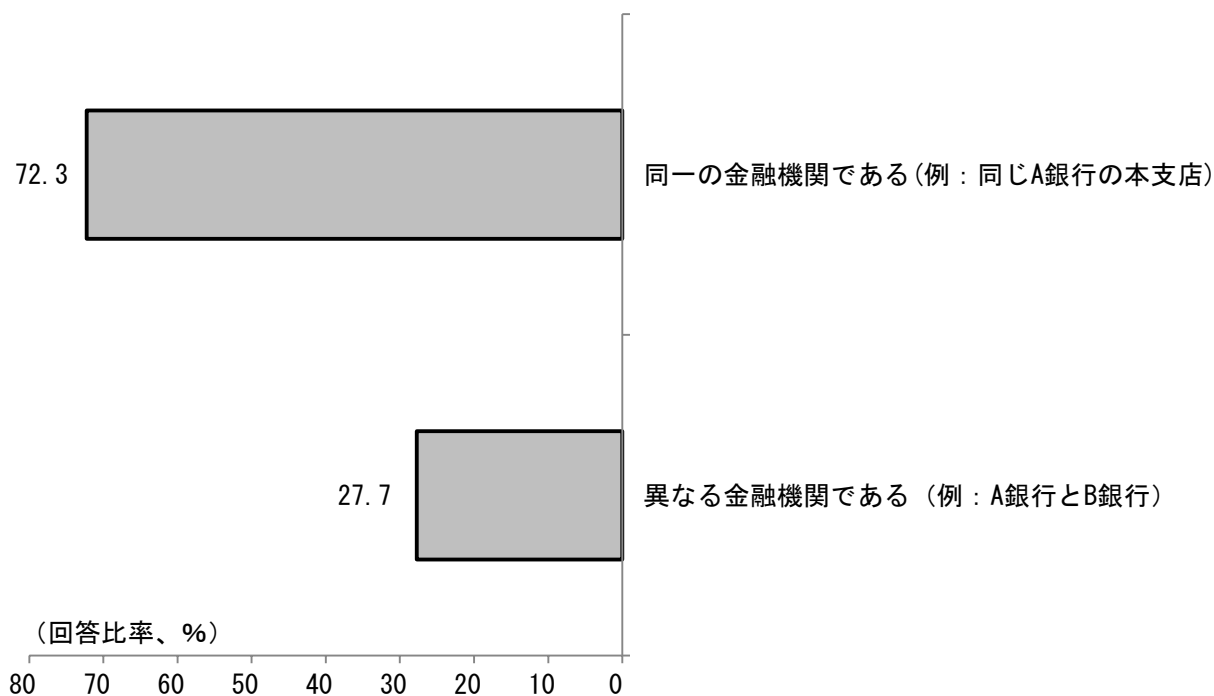
【クロス集計<問8と問15(1)、(2)>】
 夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと海外拠点の主たる円資金口座の開設先との関係

夕方・夜間の円建て送金・着金ニーズと海外拠点の主たる円資金口座開設先との関係
 【問8と問15(1)、(2)】



問9 (問8で海外拠点で円資金口座を保有していると回答された場合) 当該円資金口座開設先の金融機関が、問7で回答された貴社における円資金口座開設先の金融機関と同一であるか否かについて、該当する項目を一つチェックして下さい。

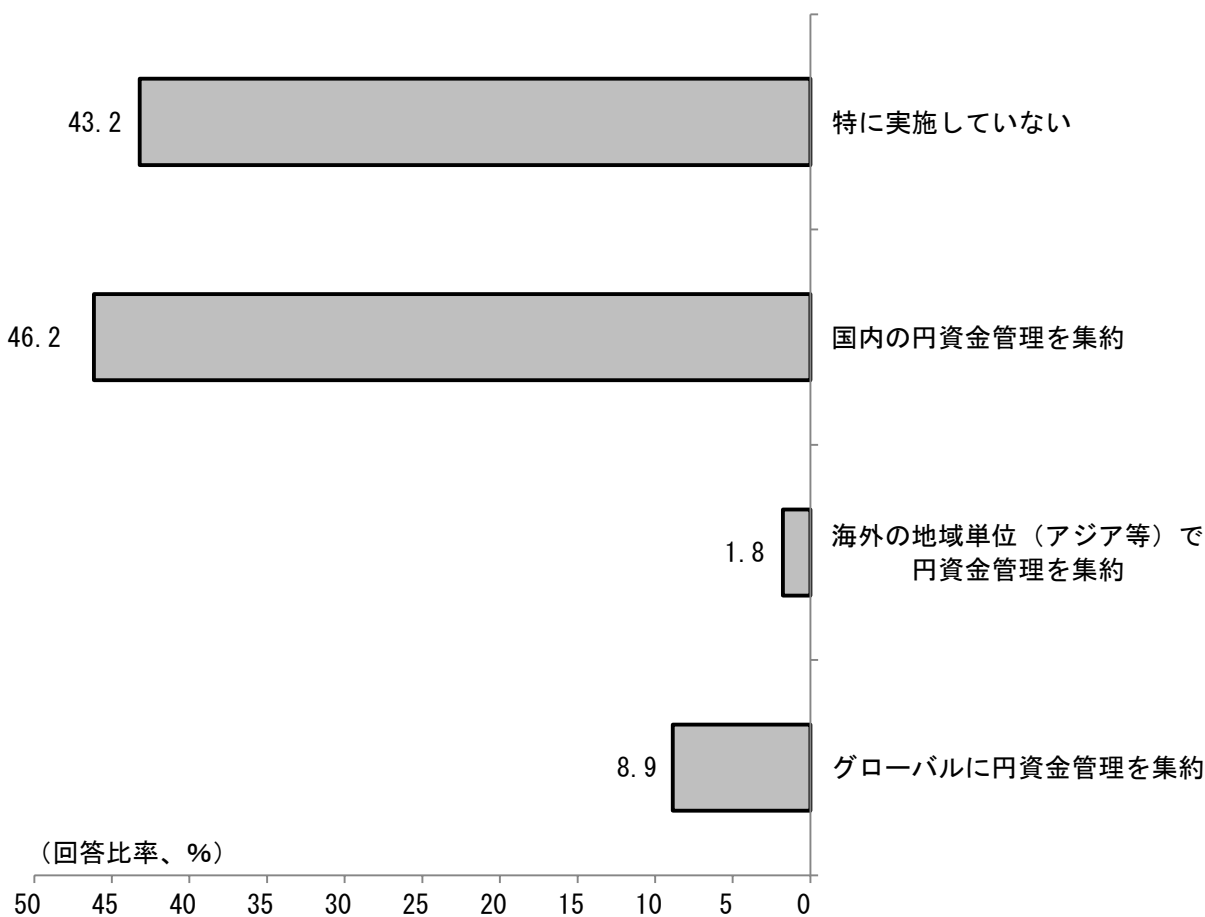
選択肢	回答数	回答比率
1 同一の金融機関である(例: 同じA銀行の本支店)	86	72.3
2 異なる金融機関である(例: A銀行とB銀行)	33	27.7
合計	119	100



問10 貴社グループにおける、円資金のキャッシュマネジメントについて、以下ご回答下さい。
 小問 (2) 以降については、キャッシュマネジメントを実施している場合にご回答下さい。

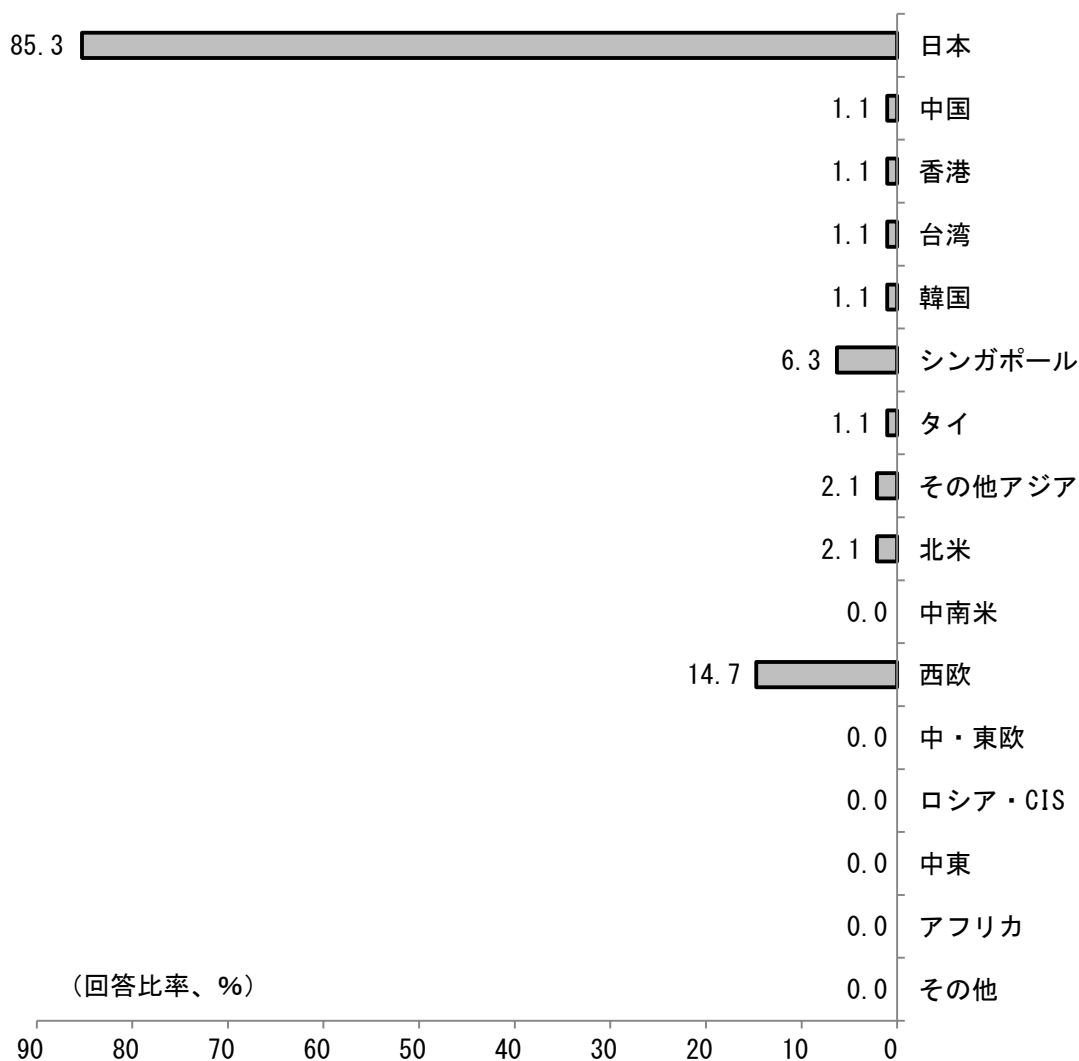
(1) 円資金のキャッシュマネジメントの実施状況について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 特に実施していない	73	43.2
2 国内の円資金管理を集約	78	46.2
3 海外の地域単位（アジア等）で円資金管理を集約	3	1.8
4 グローバルに円資金管理を集約	15	8.9
合計	169	100



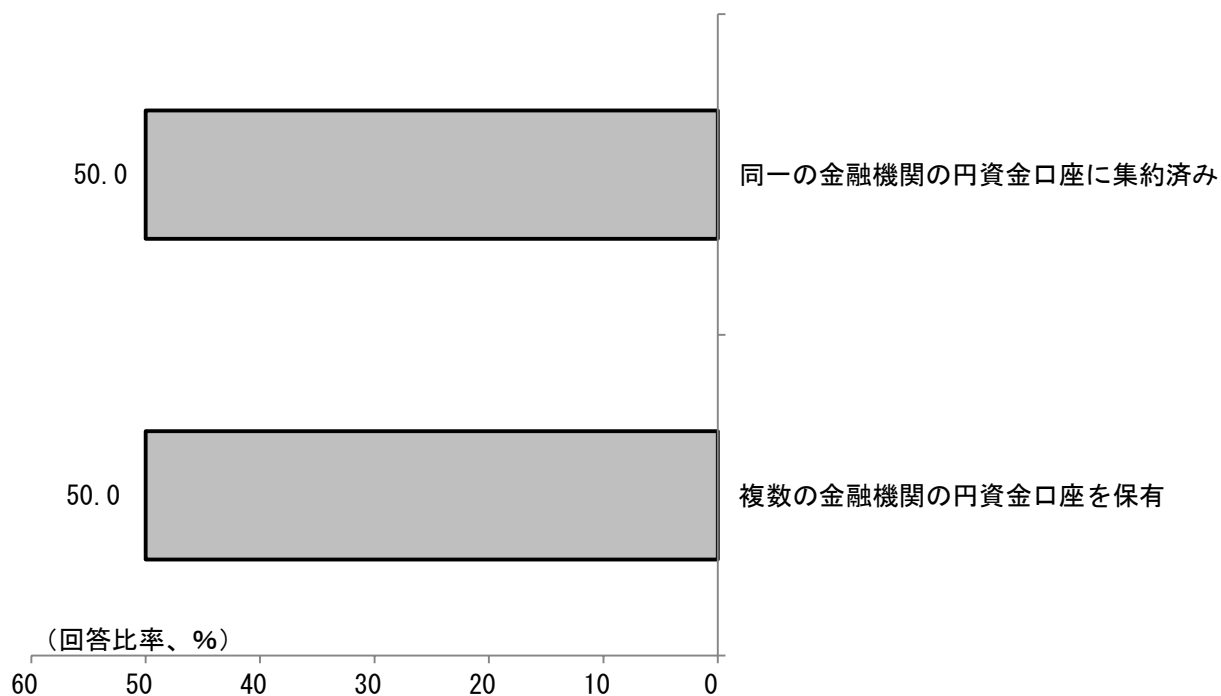
問10(2) 円資金管理を行う統括拠点の所在国・地域について、該当する項目を全てチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 日本	81	85.3
2 中国	1	1.1
3 香港	1	1.1
4 台湾	1	1.1
5 韓国	1	1.1
6 シンガポール	6	6.3
7 タイ	1	1.1
8 その他アジア	2	2.1
9 北米	2	2.1
10 中南米	0	0.0
11 西欧	14	14.7
12 中・東欧	0	0.0
13 ロシア・CIS	0	0.0
14 中東	0	0.0
15 アフリカ	0	0.0
16 その他	0	0.0



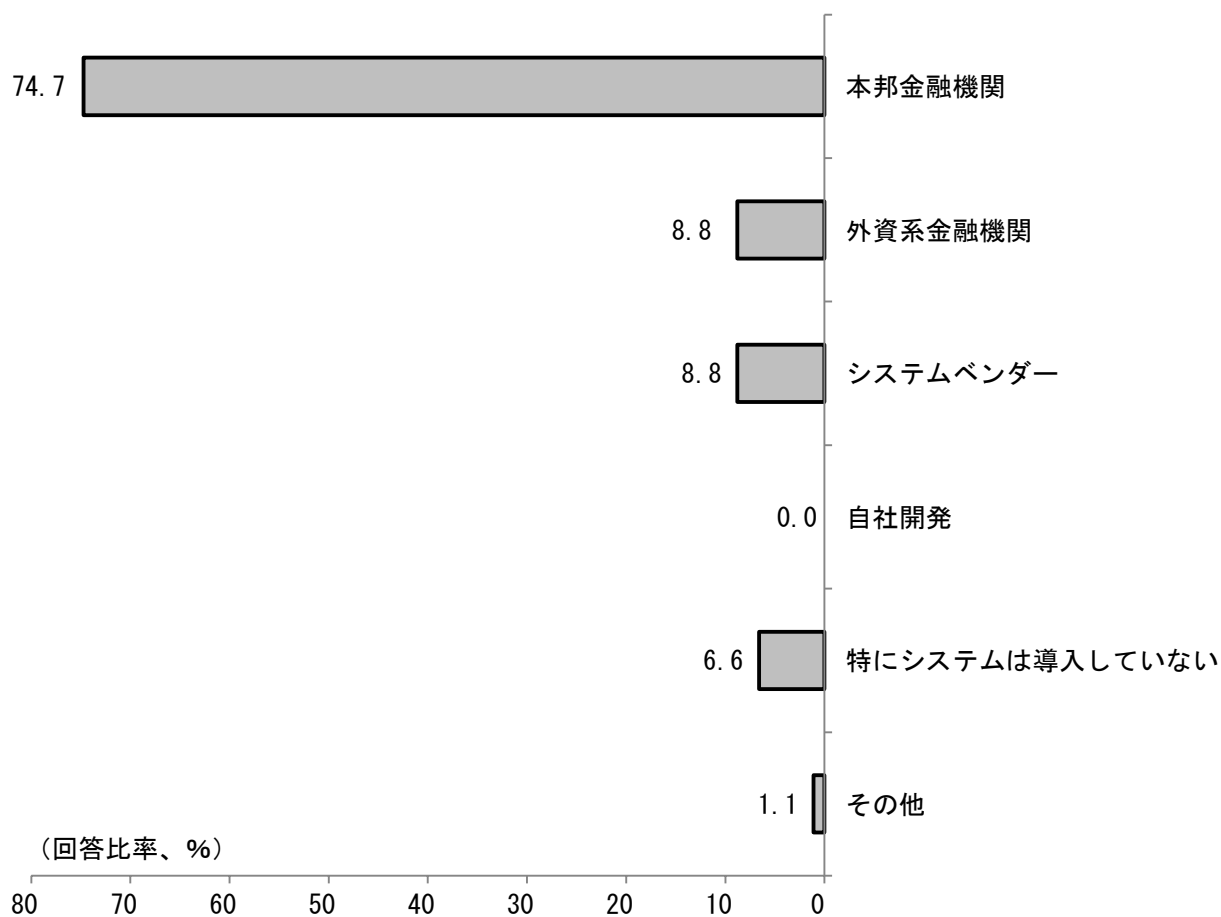
問10(3) ((2)で複数の統括拠点を有すると回答された場合)円資金管理を行う各統括拠点における円資金口座開設先の金融機関の同一性について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 同一の金融機関の円資金口座に集約済み	3	50.0
2 複数の金融機関の円資金口座を保有	3	50.0
合計	6	100



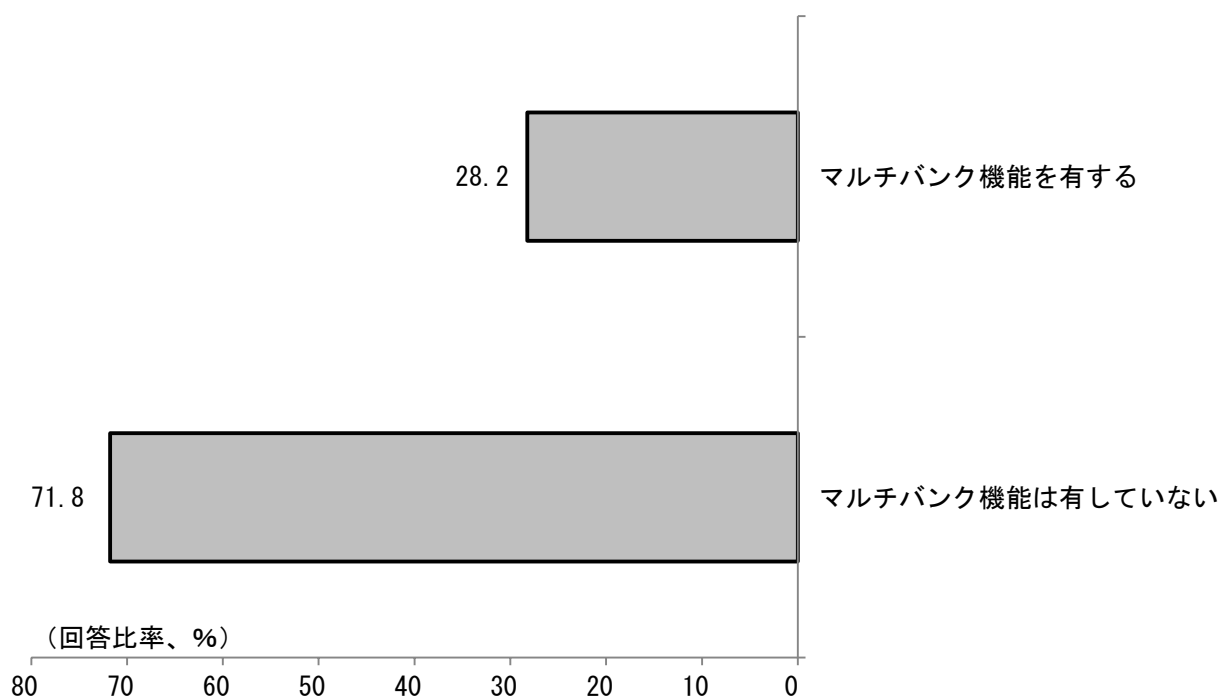
問10(4) キャッシュマネジメントのシステムの供給元について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 本邦金融機関	68	74.7
2 外資系金融機関	8	8.8
3 システムベンダー	8	8.8
4 自社開発	0	0.0
5 特にシステムは導入していない	6	6.6
6 その他	1	1.1
合計	91	100



問10(5) ((4)で何らかのシステムを導入していると回答された場合)当該システムがマルチバンク機能(複数の金融機関口座の間で資金移動等が可能)を有するか否かについて、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 マルチバンク機能を有する	24	28.2
2 マルチバンク機能は有していない	61	71.8
合計	85	100

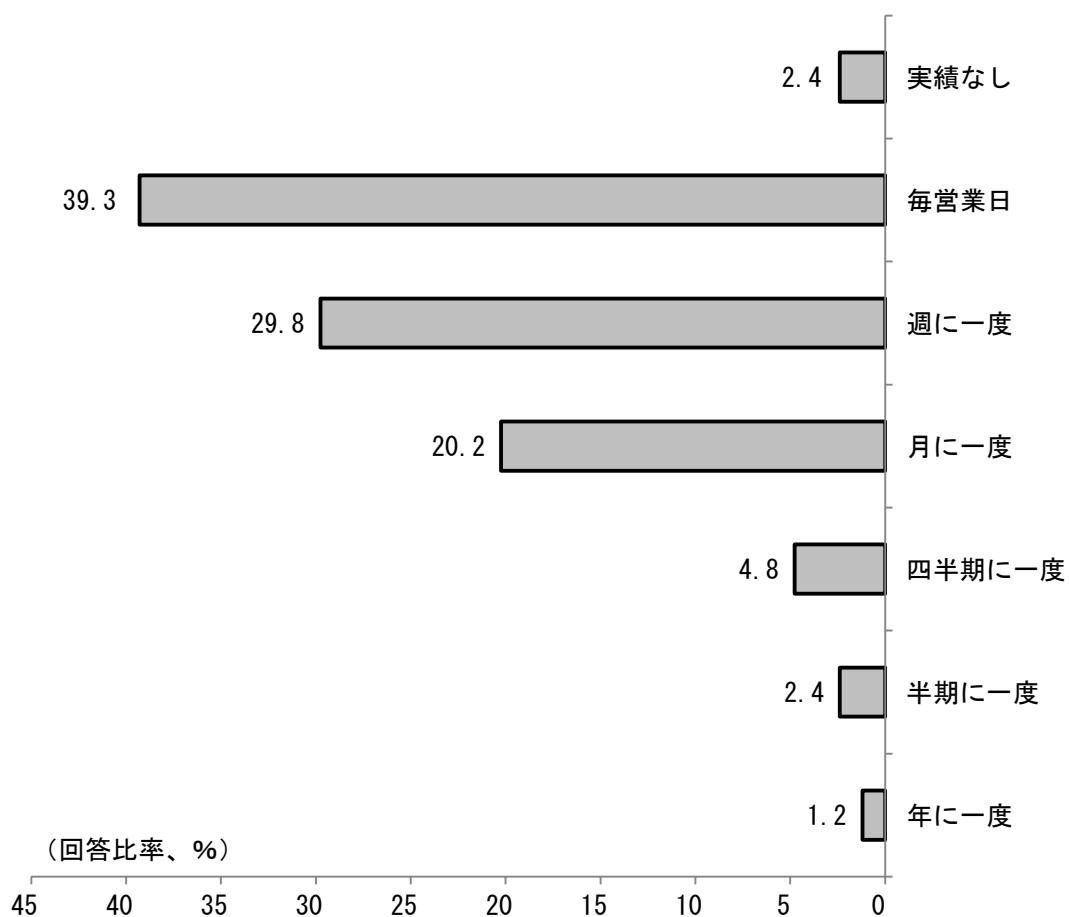


クロスボーダー円建て着金の状況

問11 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】について、以下ご回答下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。小問（2）以降は、円建て着金の実績がある場合にご回答下さい。

(1) 円建て着金の頻度について、該当する項目を一つチェックして下さい。

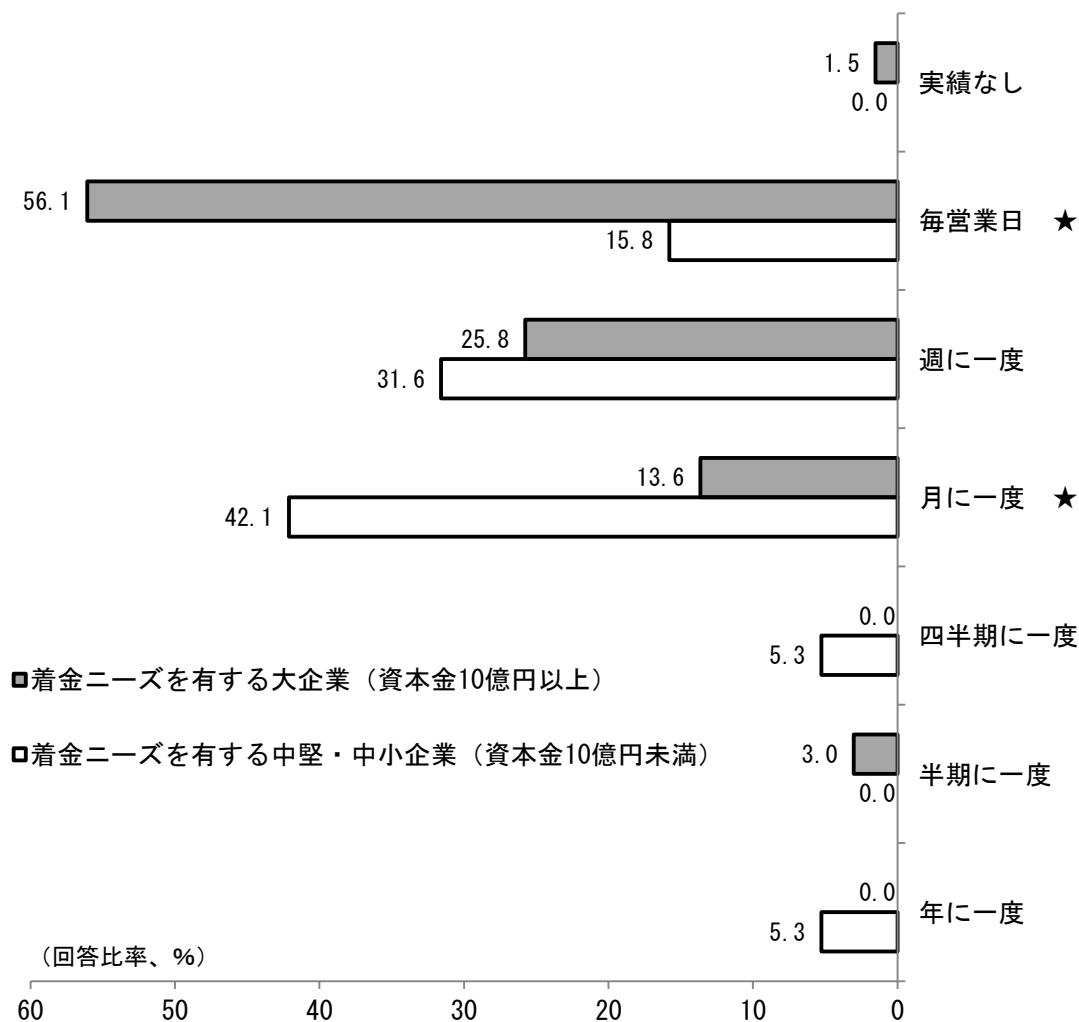
選択肢	回答数	回答比率
1 実績なし	4	2.4
2 毎営業日	66	39.3
3 週に一度	50	29.8
4 月に一度	34	20.2
5 四半期に一度	8	4.8
6 半期に一度	4	2.4
7 年に一度	2	1.2
合計	168	100



【クロス集計<問11(1)と問15(1)・問2>】

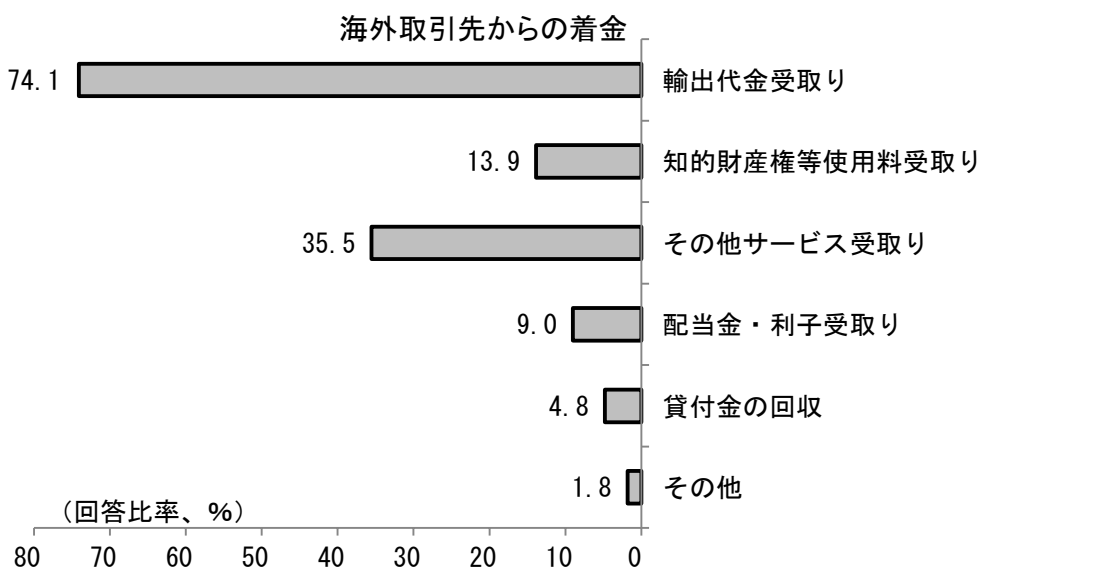
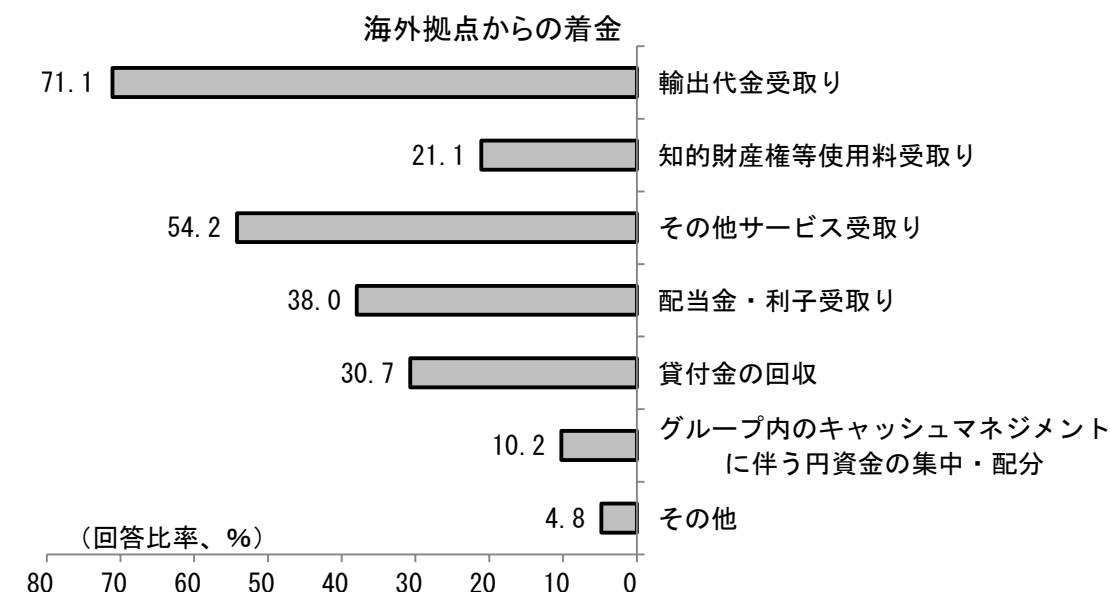
企業規模別の夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て着金の潜在的なニーズと円建て着金頻度との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】

企業規模別の夕方・夜間の着金ニーズと着金頻度との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】
【問11(1)と問15(1)・問2】



問11(2) 円建て着金の目的について、該当する項目を全てチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
<海外拠点からの着金>		
1 輸出代金受取り	118	71.1
2 知的財産権等使用料受取り	35	21.1
3 その他サービス受取り	90	54.2
4 配当金・利子受取り	63	38.0
5 貸付金の回収	51	30.7
6 グループ内のキャッシュマネジメントに伴う円資金の集中・配分	17	10.2
7 その他	8	4.8
<海外取引先からの着金>		
1 輸出代金受取り	123	74.1
2 知的財産権等使用料受取り	23	13.9
3 その他サービス受取り	59	35.5
4 配当金・利子受取り	15	9.0
5 貸付金の回収	8	4.8
6 その他	3	1.8



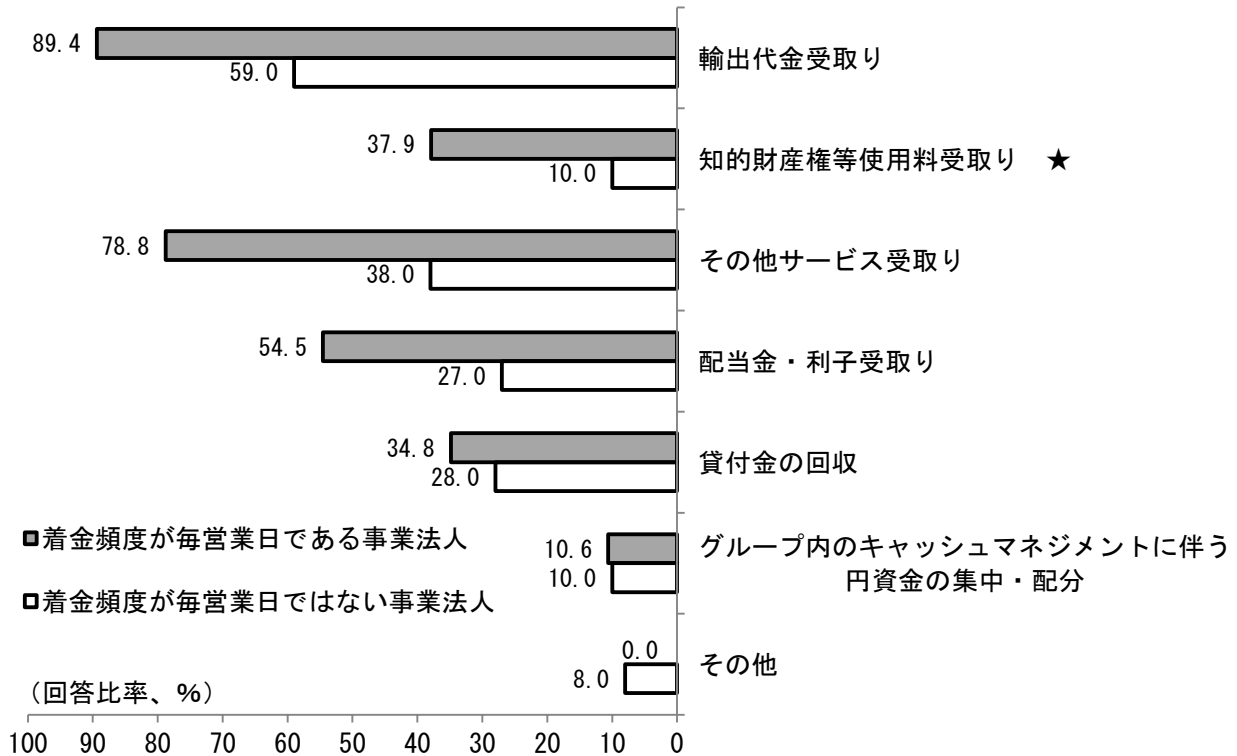
【クロス集計＜問11(1)と問11(2)＞】

クロスボーダーの円建て着金目的と頻度との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】

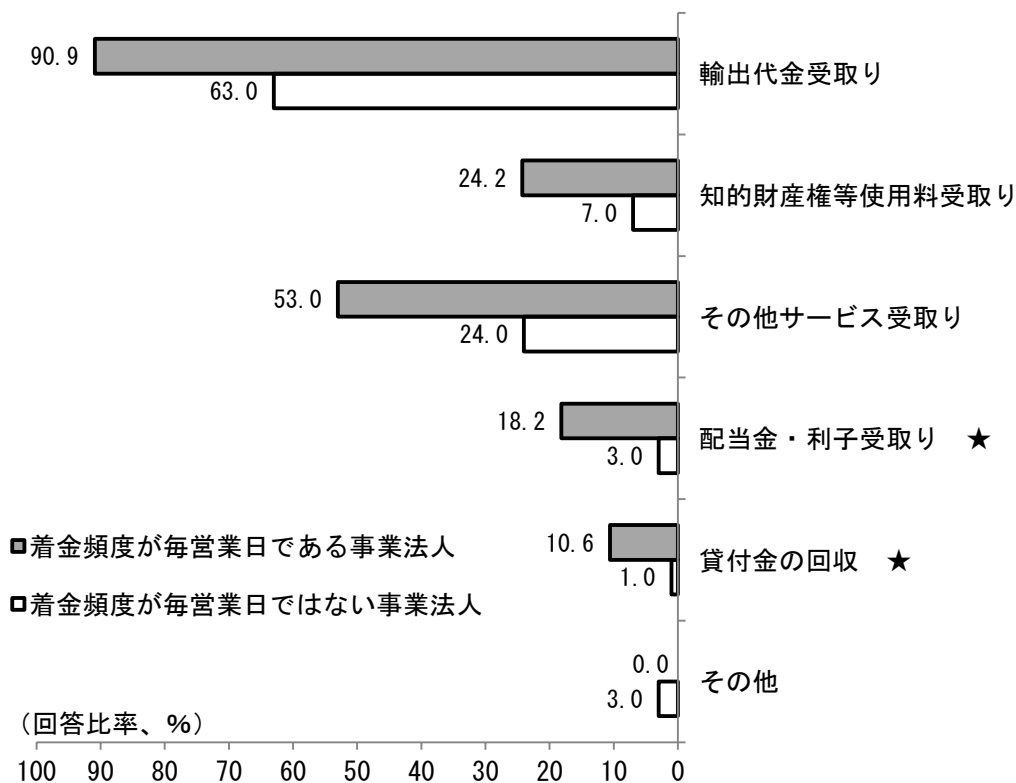
円建て着金目的と頻度との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】

【問11(1)と問11(2)】

海外拠点からの着金

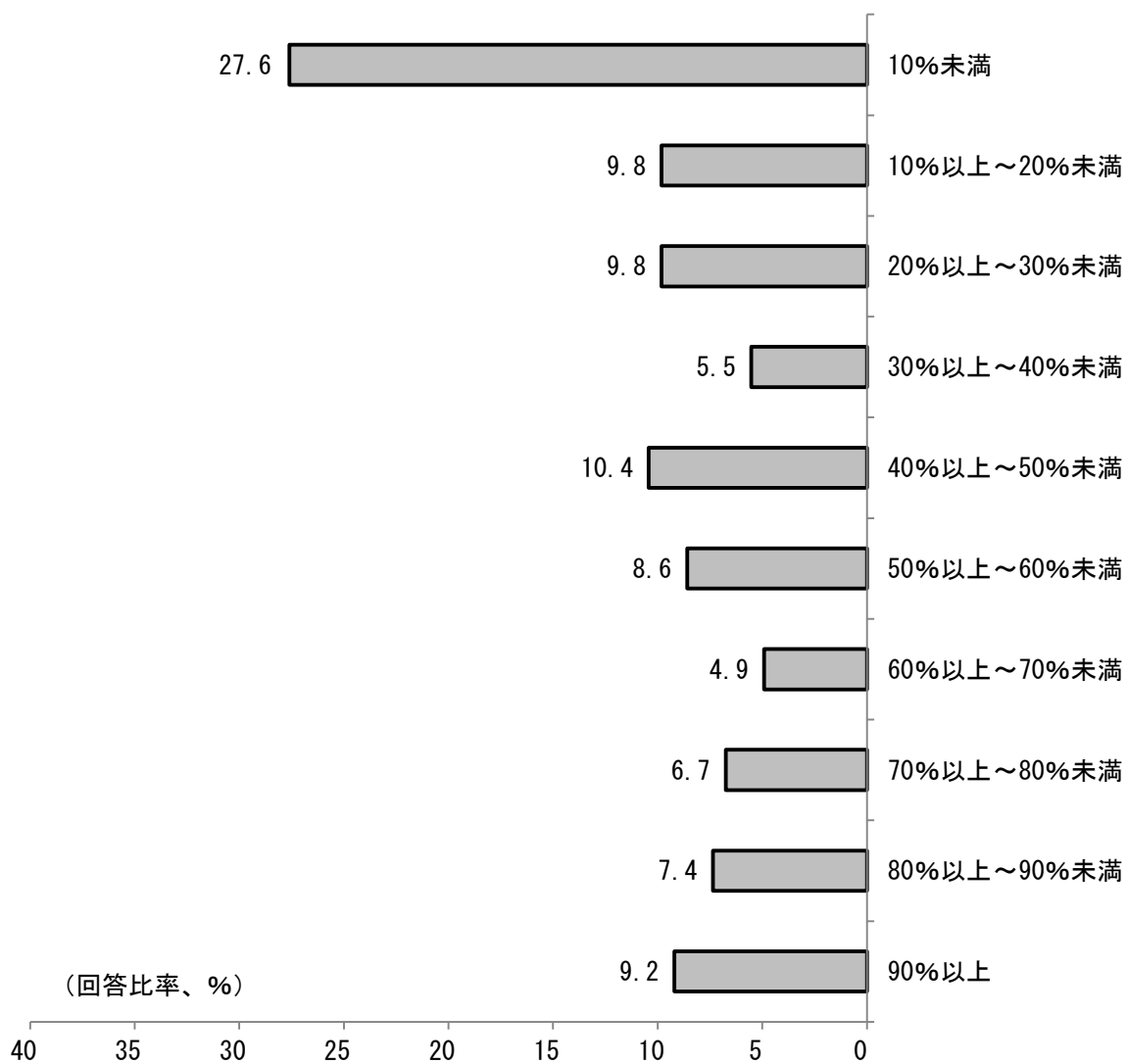


海外取引先からの着金



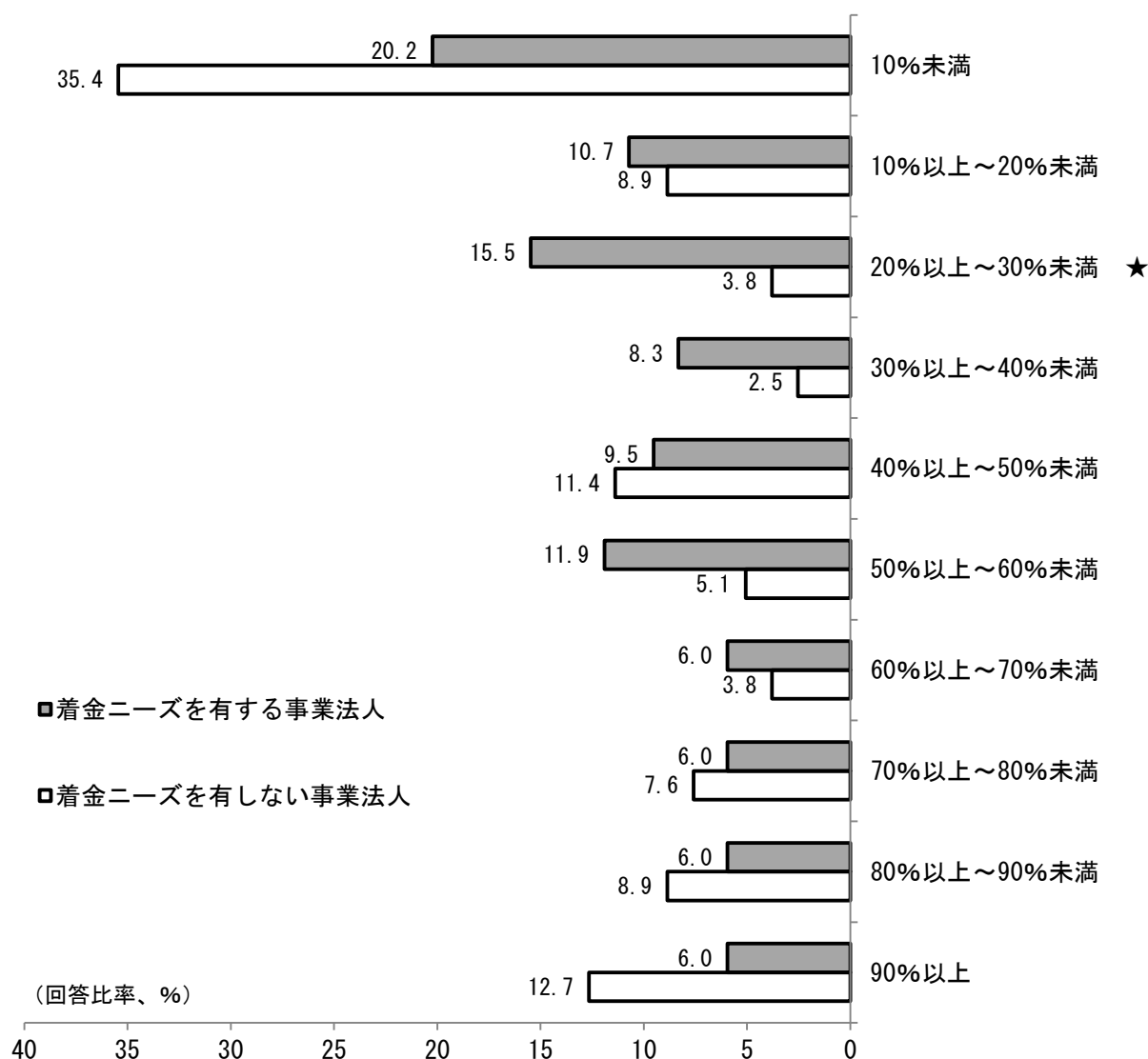
問11(3) 着金全体（全通貨建て）に占める円建て着金の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 10%未満	45	27.6
2 10%以上～20%未満	16	9.8
3 20%以上～30%未満	16	9.8
4 30%以上～40%未満	9	5.5
5 40%以上～50%未満	17	10.4
6 50%以上～60%未満	14	8.6
7 60%以上～70%未満	8	4.9
8 70%以上～80%未満	11	6.7
9 80%以上～90%未満	12	7.4
10 90%以上	15	9.2
合計	163	100



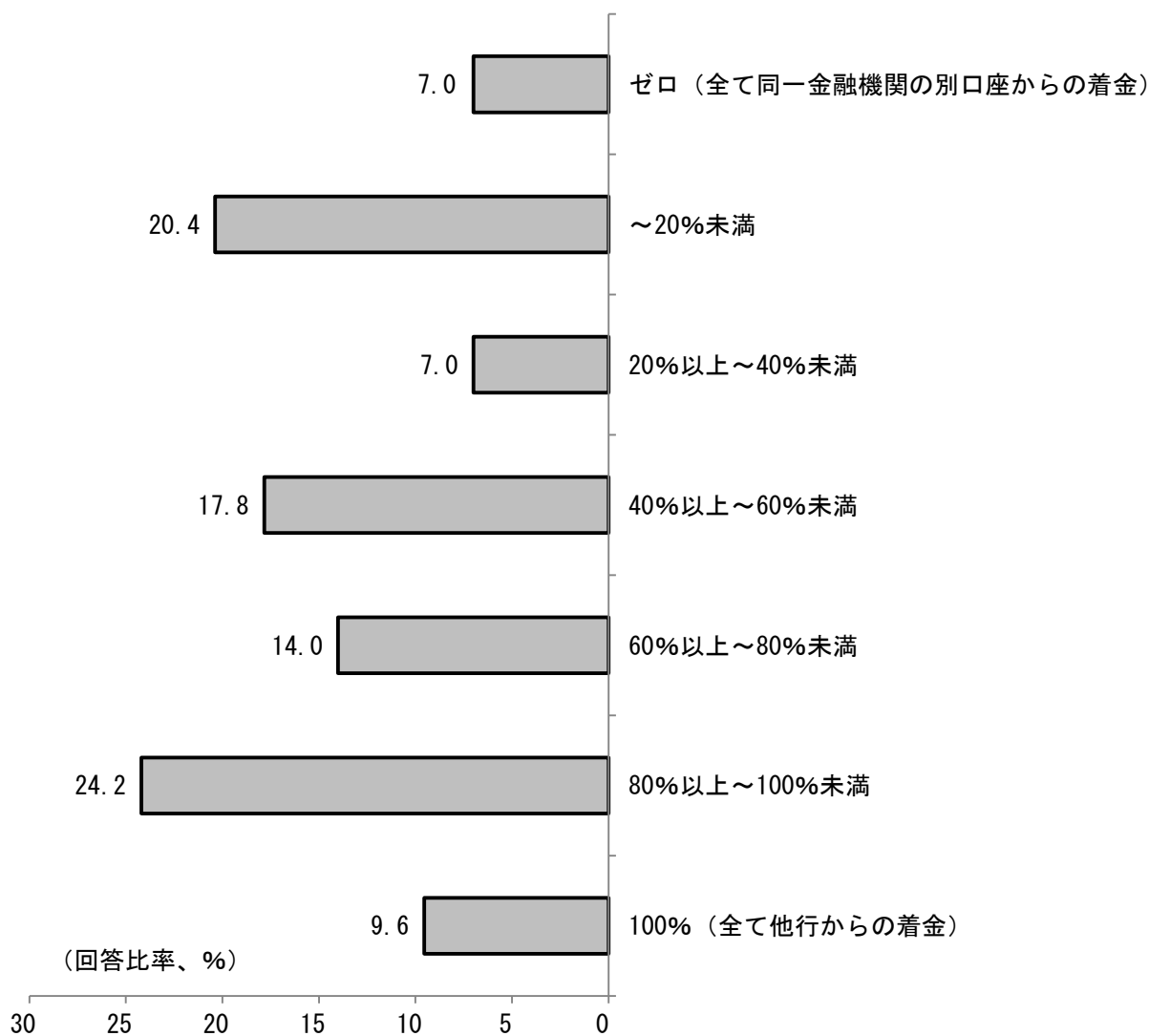
【クロス集計＜問11(3)と問15(1)＞】
 夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て着金の潜在的なニーズと着金全体（全通貨建て）に占める円建て着金の割合（件数ベース）との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】

夕方・夜間の着金ニーズと円建て着金割合との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】
 【問11(3)と問15(1)】



問11(4) 円建て着金全体に占める他行からの着金（貴社の円資金口座開設先とは異なる金融機関からの着金）の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。

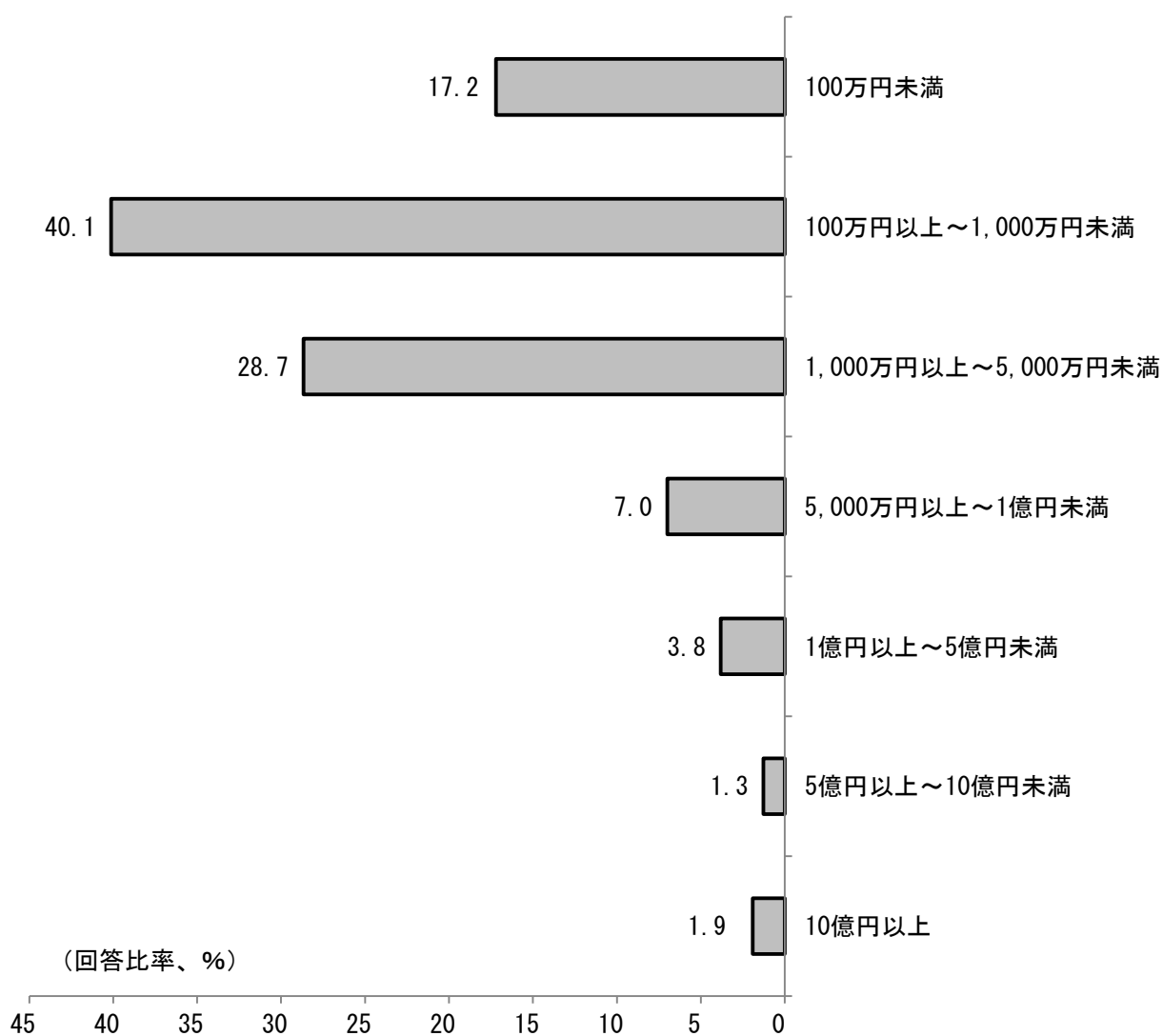
選択肢	回答数	回答比率
1 ゼロ（全て同一金融機関の別口座からの着金）	11	7.0
2 ～20%未満	32	20.4
3 20%以上～40%未満	11	7.0
4 40%以上～60%未満	28	17.8
5 60%以上～80%未満	22	14.0
6 80%以上～100%未満	38	24.2
7 100%（全て他行からの着金）	15	9.6
合計	157	100



白紙挿入

問11(5) 円建て着金一件あたりの平均的な金額について、該当する項目を一つチェックして下さい。

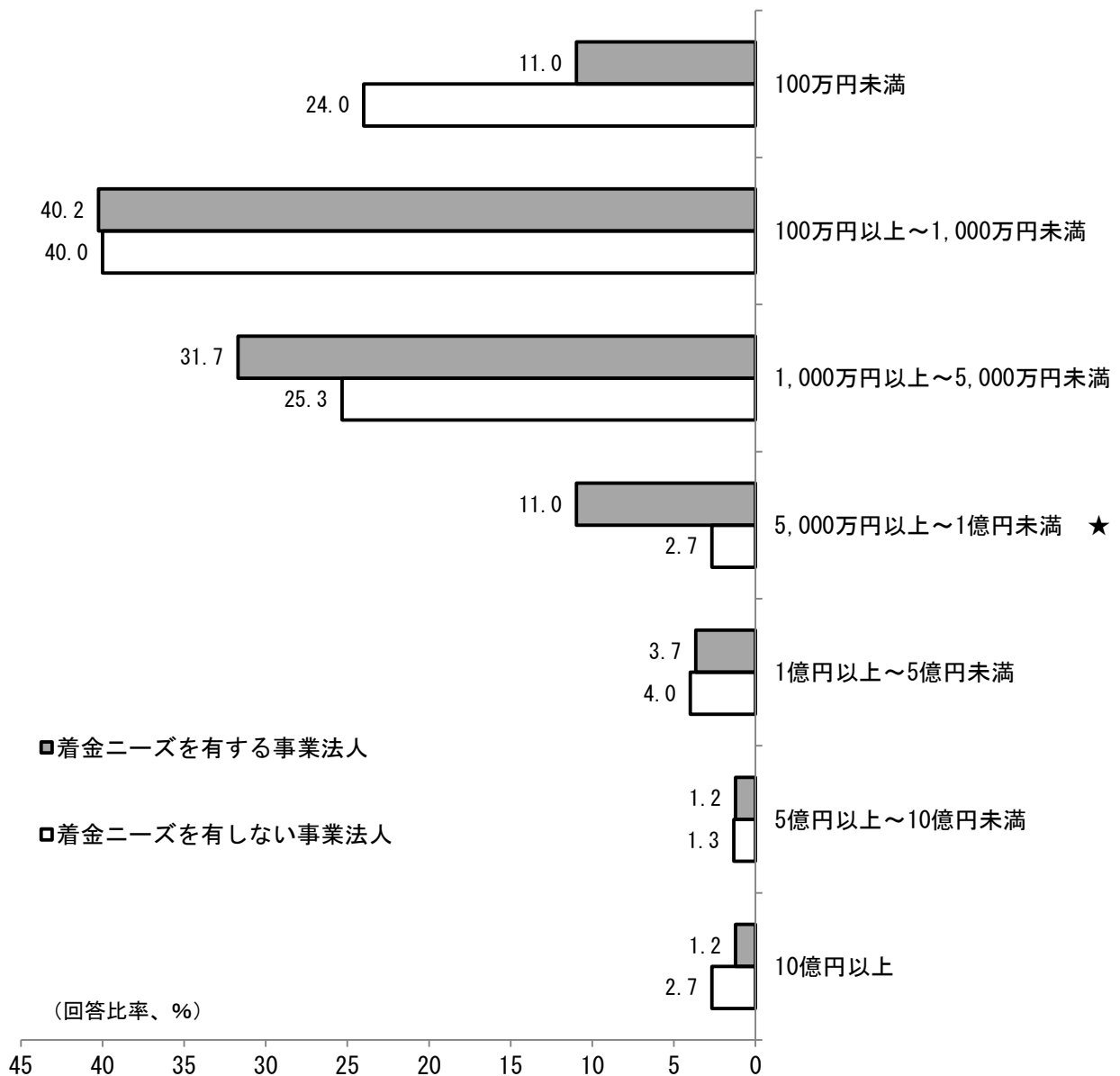
選択肢	回答数	回答比率
1 100万円未満	27	17.2
2 100万円以上～1,000万円未満	63	40.1
3 1,000万円以上～5,000万円未満	45	28.7
4 5,000万円以上～1億円未満	11	7.0
5 1億円以上～5億円未満	6	3.8
6 5億円以上～10億円未満	2	1.3
7 10億円以上	3	1.9
合計	157	100



【クロス集計<問11(5)と問15(1)>】

夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て着金の潜在的なニーズと円建て着金一件あたりの平均的な金額の関係【円資金の流れ：海外⇒国内】

夕方・夜間の着金ニーズと円建て着金の平均金額との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】
【問11(5)と問15(1)】

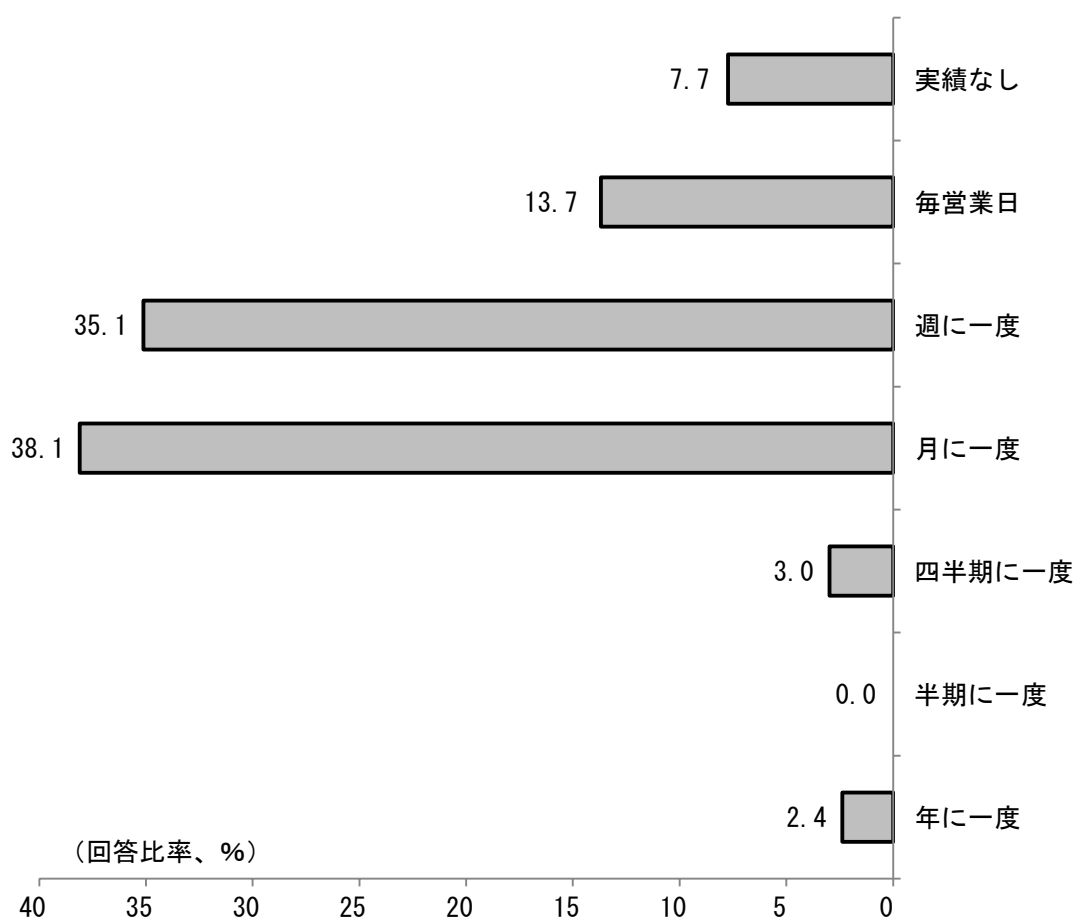


クロスボーダー円建て送金の状況

問12 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】について、以下ご回答下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。小問（2）以降は、円建て送金の実績がある場合にご回答下さい。

(1) 円建て送金の頻度について、該当する項目を一つチェックして下さい。

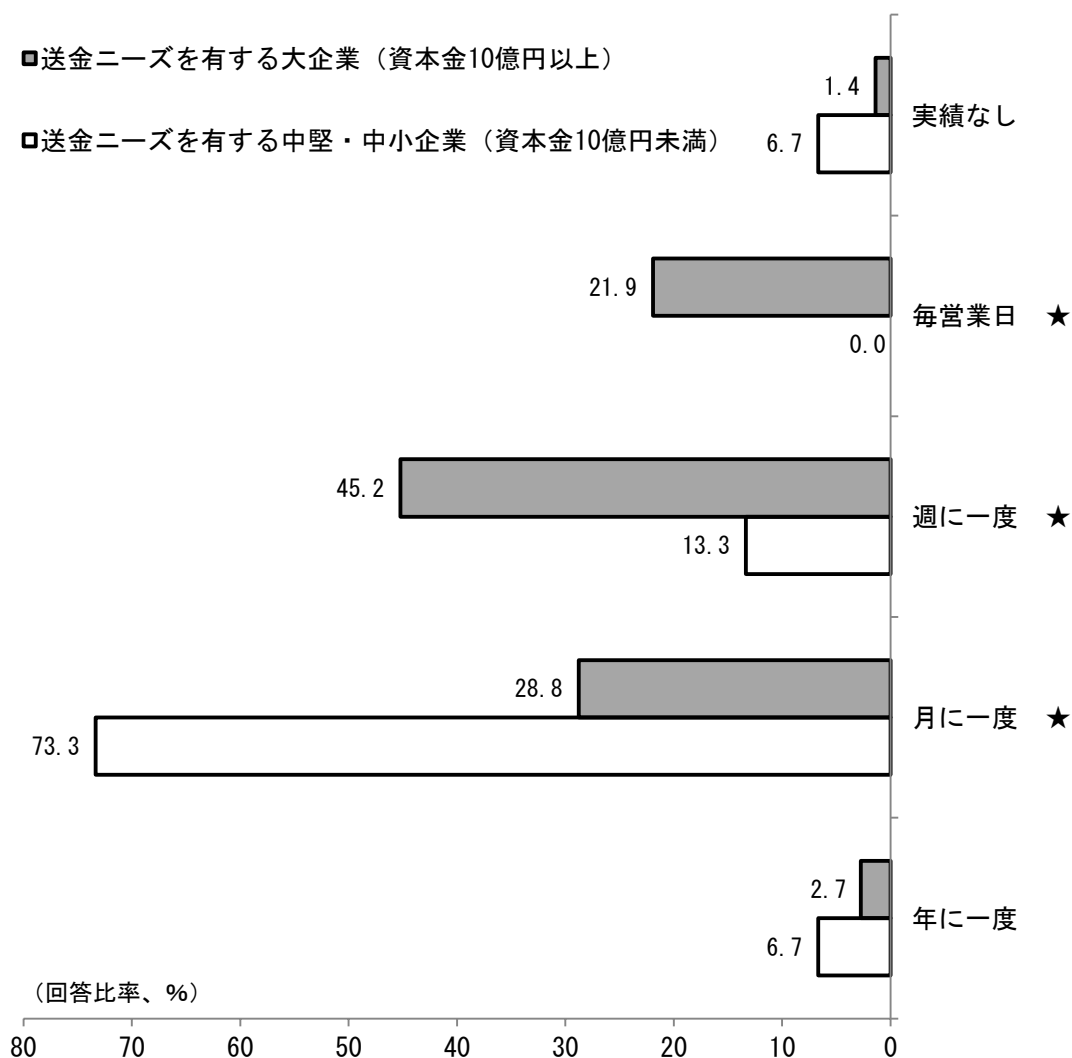
選択肢	回答数	回答比率
1 実績なし	13	7.7
2 毎営業日	23	13.7
3 週に一度	59	35.1
4 月に一度	64	38.1
5 四半期に一度	5	3.0
6 半期に一度	0	0.0
7 年に一度	4	2.4
合計	168	100



【クロス集計＜問12(1)と問15(2)・問2＞】

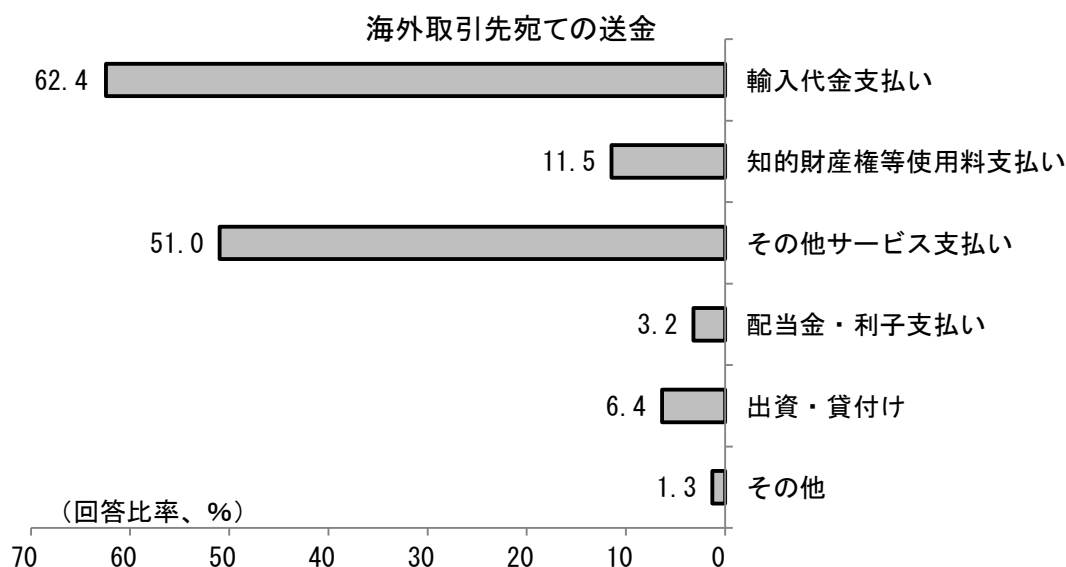
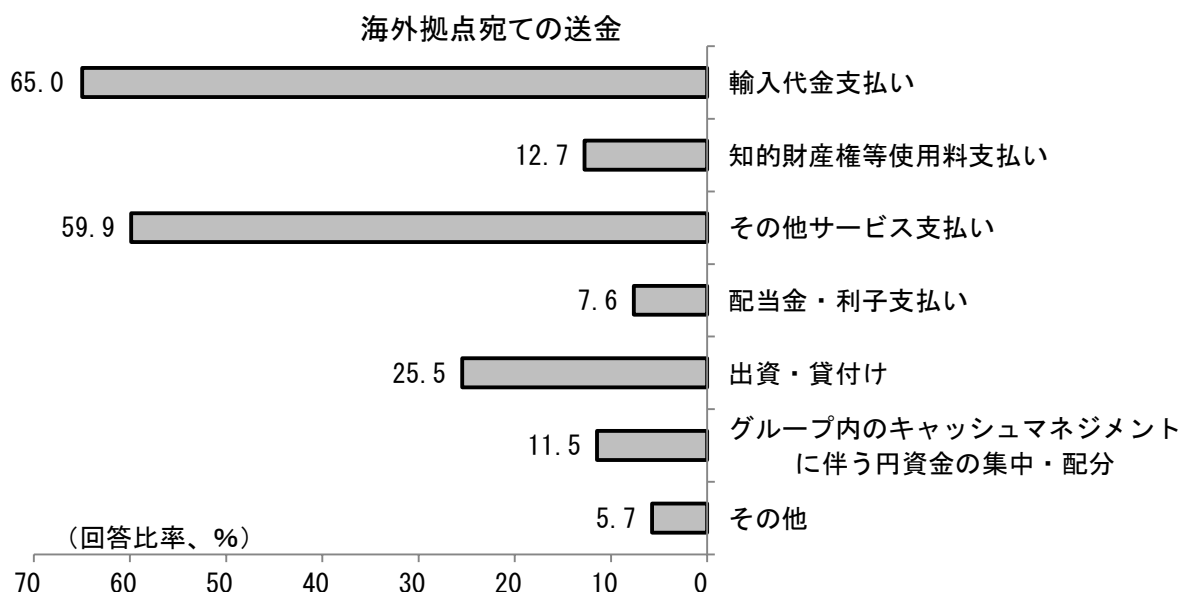
企業規模別の夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金の潜在的なニーズと円建て送金頻度との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】

企業規模別の夕方・夜間の送金ニーズと送金頻度との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】
【問12(1)と問15(2)・問2】



問12(2) 円建て送金の目的について、該当する項目を全てチェックして下さい。

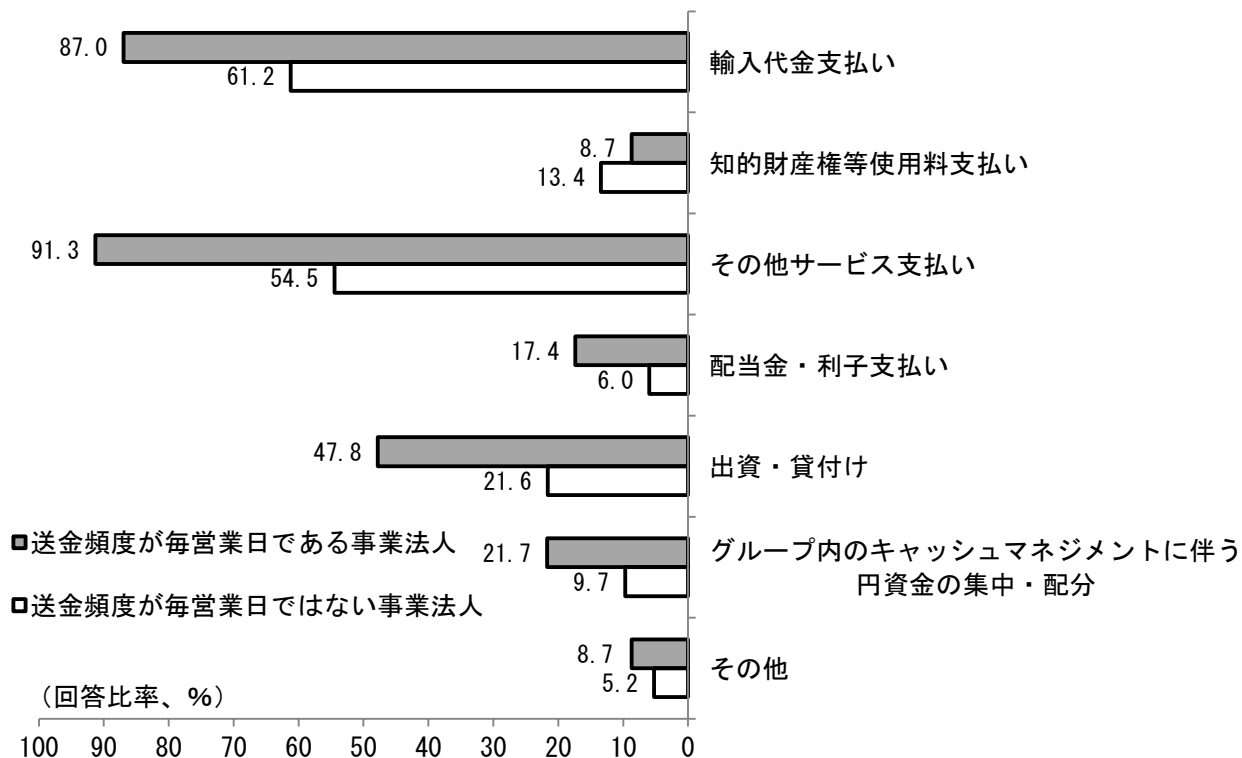
選択肢	回答数	回答比率
<海外拠点宛て>		
1 輸入代金支払い	102	65.0
2 知的財産権等使用料支払い	20	12.7
3 その他サービス支払い	94	59.9
4 配当金・利子支払い	12	7.6
5 出資・貸付け	40	25.5
6 グループ内のキャッシュマネジメントに伴う円資金の集中・配分	18	11.5
7 その他	9	5.7
<海外取引先宛て>		
1 輸入代金支払い	98	62.4
2 知的財産権等使用料支払い	18	11.5
3 その他サービス支払い	80	51.0
4 配当金・利子支払い	5	3.2
5 出資・貸付け	10	6.4
6 その他	2	1.3



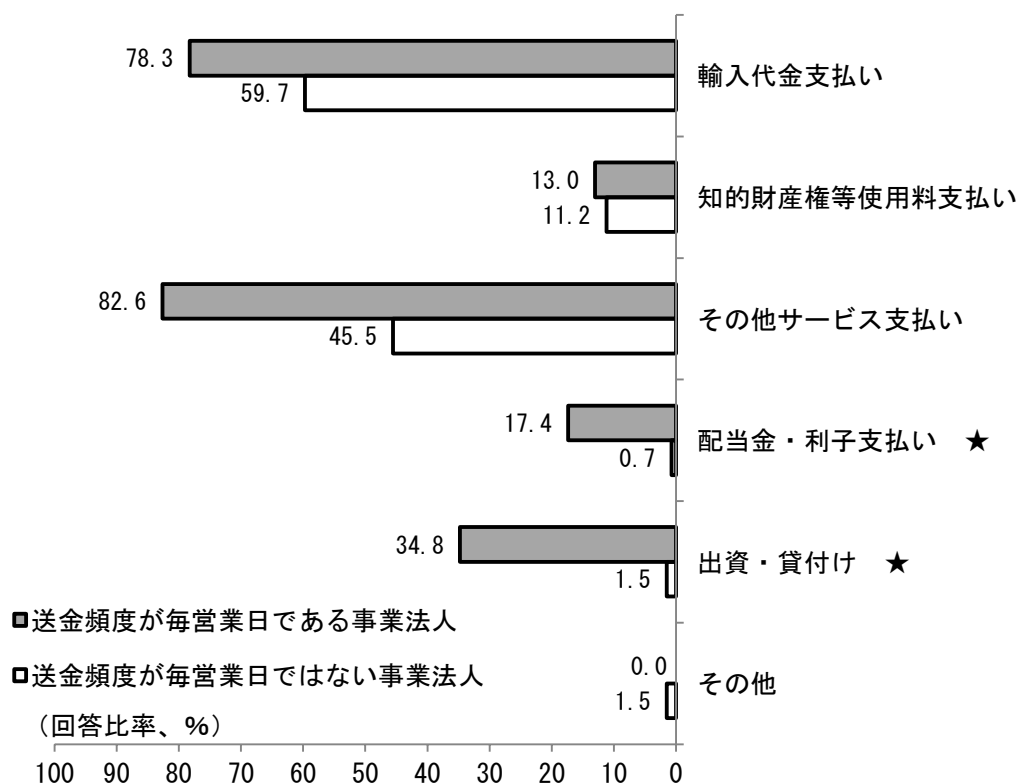
【クロス集計＜問12(1)と問12(2)＞】
 クロスボーダーの円建て送金目的と頻度との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】

円建て送金目的と頻度との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】
 【問12(1)と問12(2)】

海外拠点宛ての送金

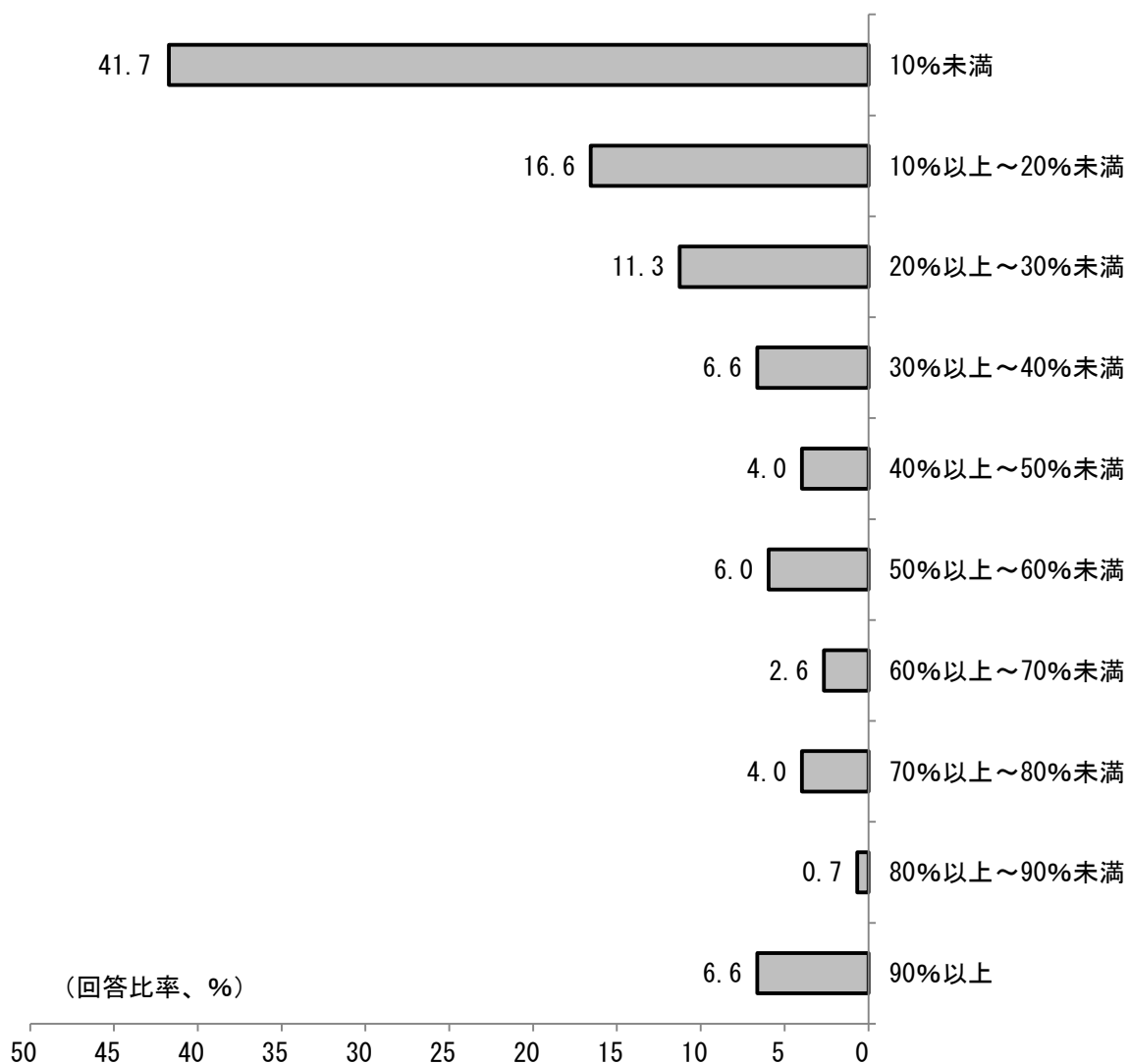


海外取引先宛ての送金



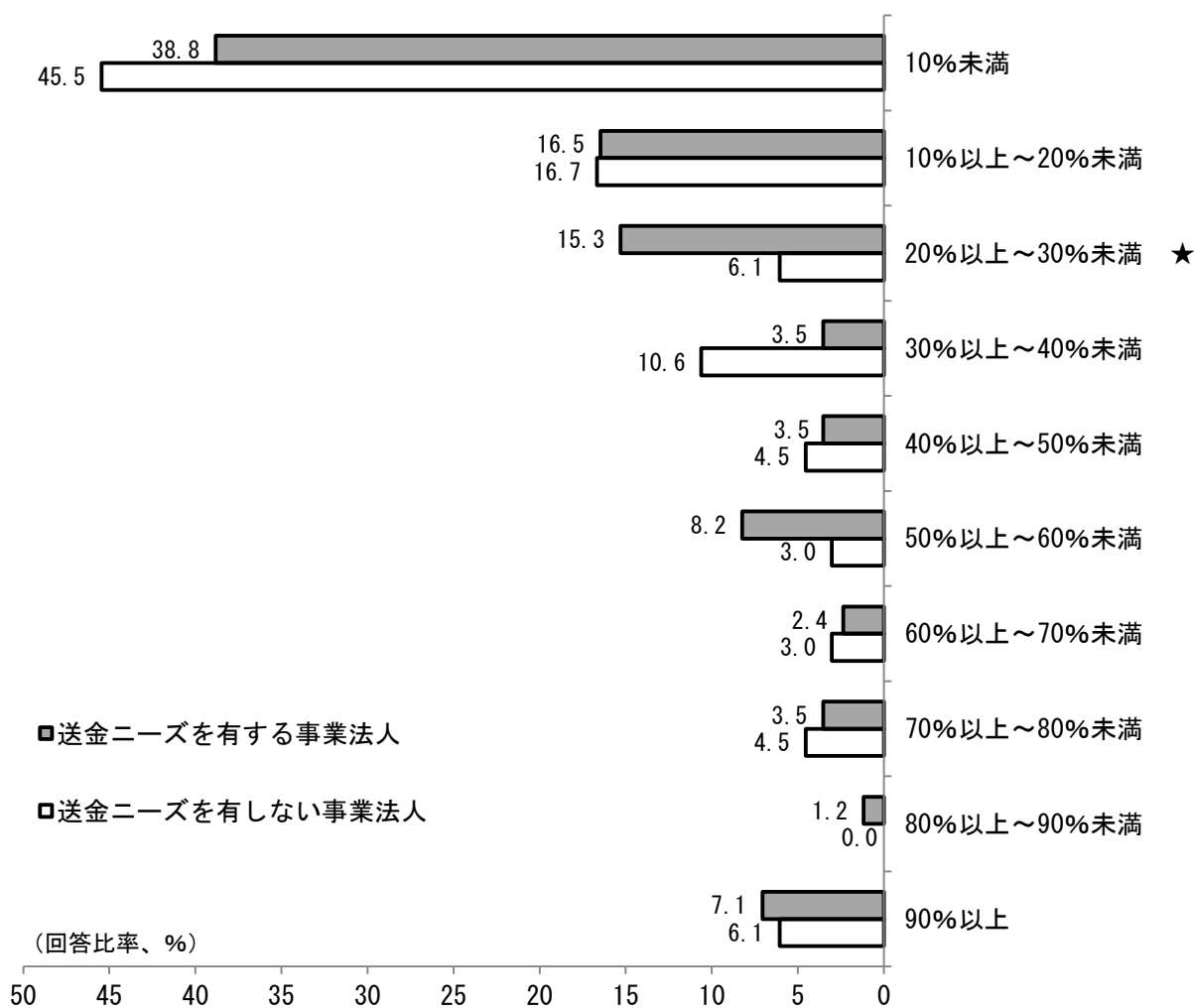
問12(3) 送金全体（全通貨建て）に占める円建て送金の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 10%未満	63	41.7
2 10%以上～20%未満	25	16.6
3 20%以上～30%未満	17	11.3
4 30%以上～40%未満	10	6.6
5 40%以上～50%未満	6	4.0
6 50%以上～60%未満	9	6.0
7 60%以上～70%未満	4	2.6
8 70%以上～80%未満	6	4.0
9 80%以上～90%未満	1	0.7
10 90%以上	10	6.6
合計	151	100



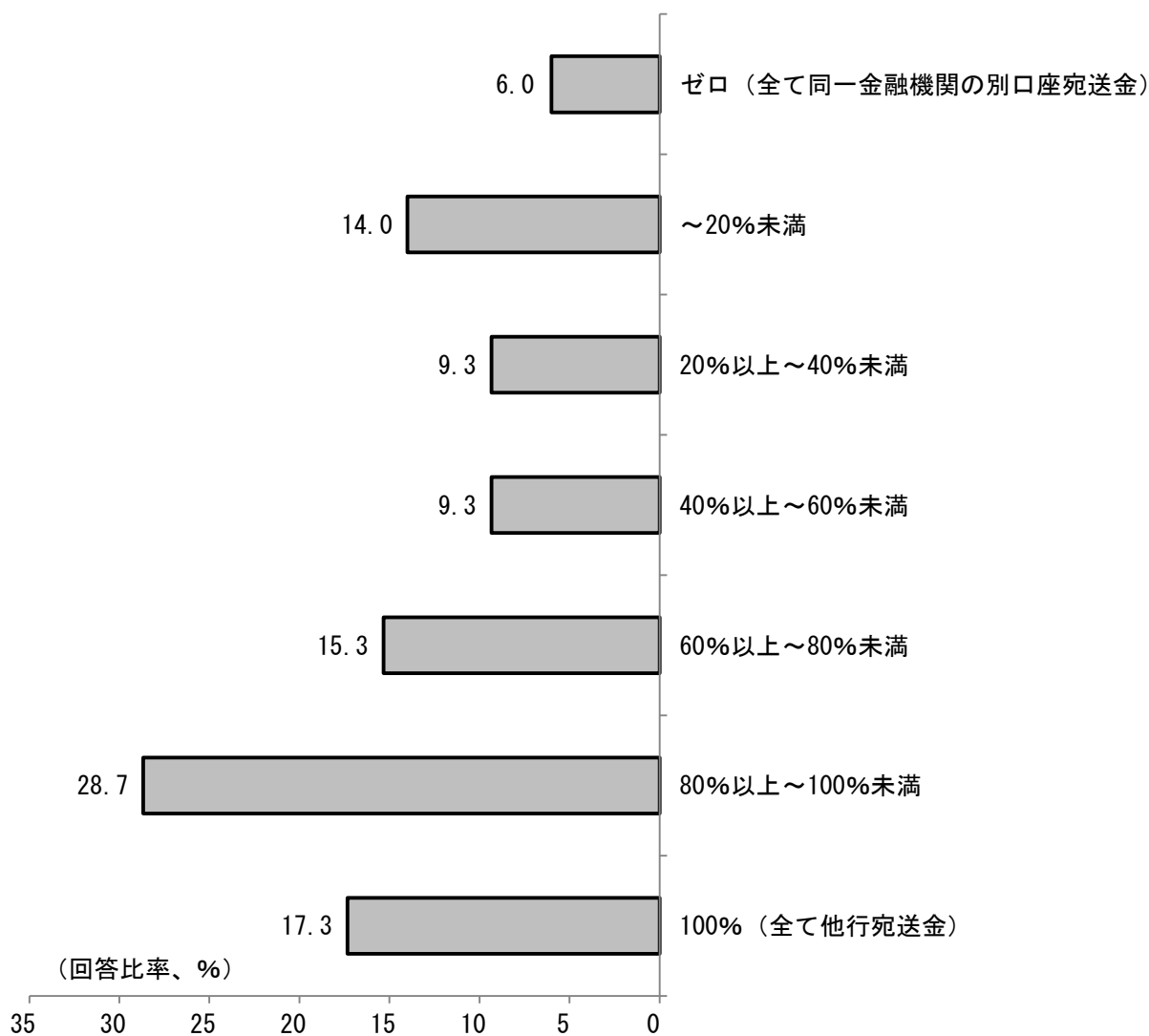
【クロス集計<問12(3)と問15(2)>】
 夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金の潜在的なニーズと送金全体（全通貨建て）に占める円建て送金の割合（件数ベース）との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】

夕方・夜間の送金ニーズと円建て送金割合との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】
 【問12(3)と問15(2)】



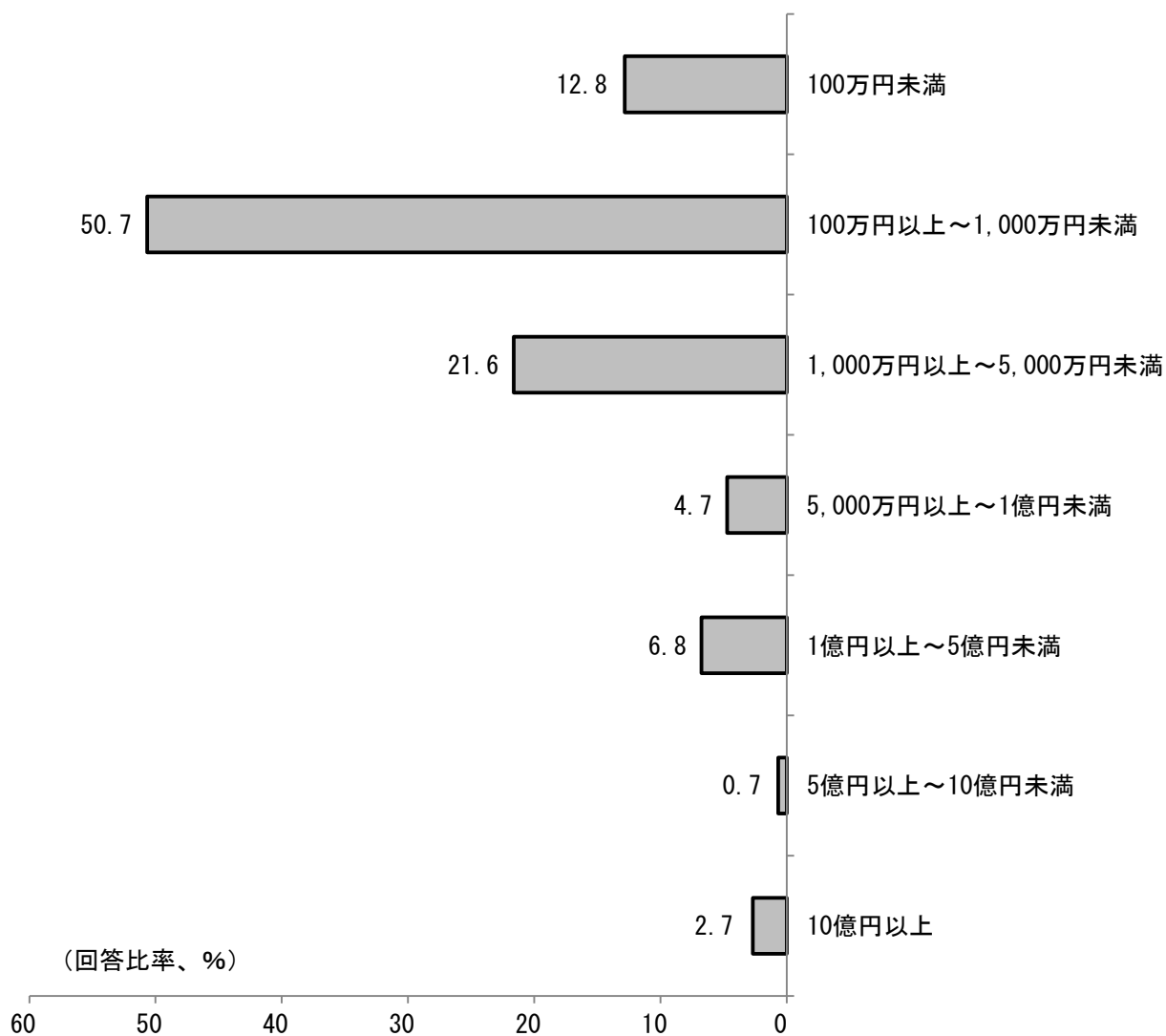
問12(4) 円建て送金全体に占める他行宛送金（貴社の円資金口座開設先とは異なる金融機関宛の送金）の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 ゼロ（全て同一金融機関の別口座宛送金）	9	6.0
2 ～20%未満	21	14.0
3 20%以上～40%未満	14	9.3
4 40%以上～60%未満	14	9.3
5 60%以上～80%未満	23	15.3
6 80%以上～100%未満	43	28.7
7 100%（全て他行宛送金）	26	17.3
合計	150	100



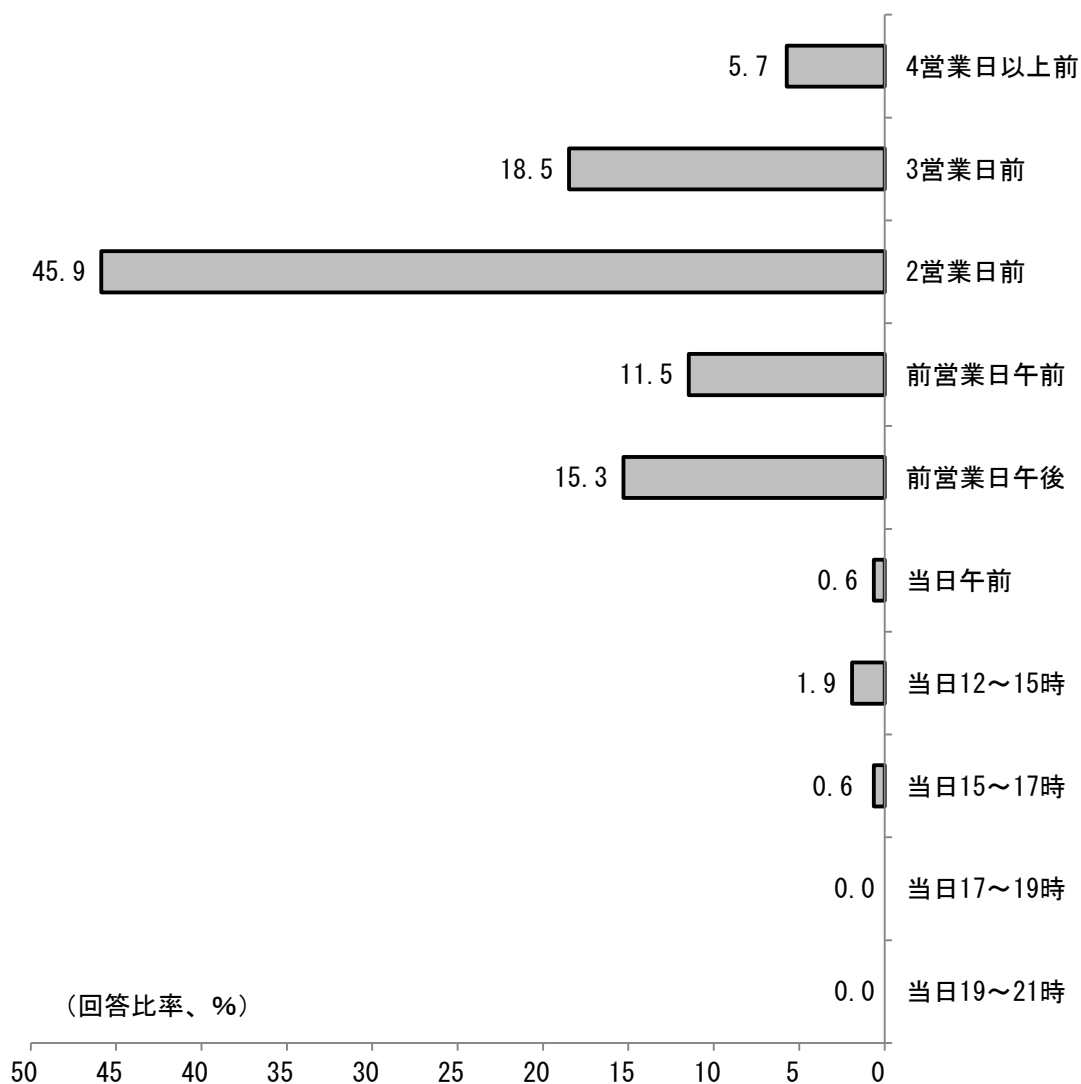
問12(5) 円建て送金一件あたりの平均的な金額について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 100万円未満	19	12.8
2 100万円以上～1,000万円未満	75	50.7
3 1,000万円以上～5,000万円未満	32	21.6
4 5,000万円以上～1億円未満	7	4.7
5 1億円以上～5億円未満	10	6.8
6 5億円以上～10億円未満	1	0.7
7 10億円以上	4	2.7
合計	148	100



問12(6) 貴社が円建て送金を金融機関に依頼する主な時期（日本時間）について、該当する項目を一つチェックして下さい。なお、受取側の口座への着金予定日を「当日」としていません。

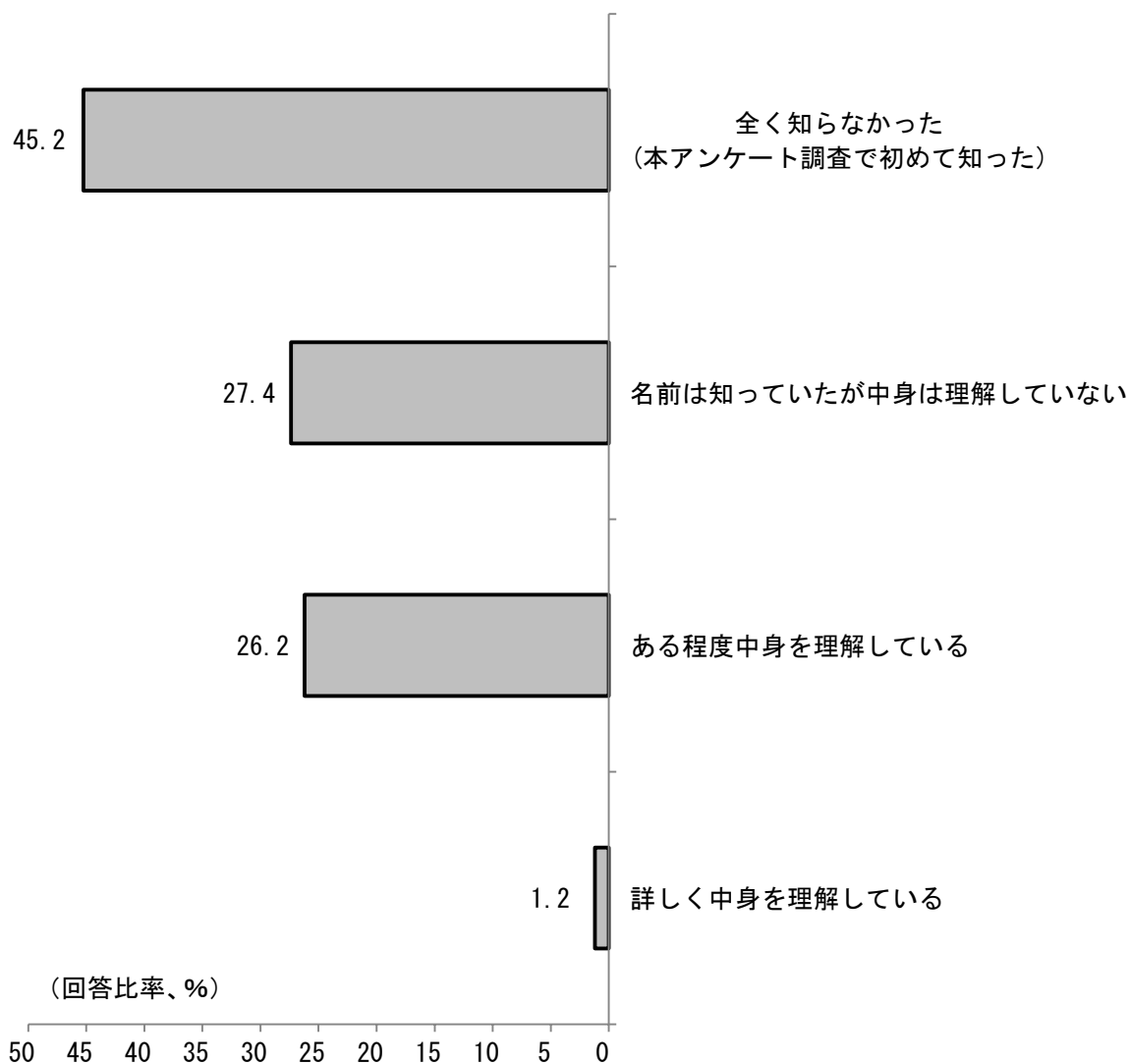
	選択肢	回答数	回答比率
1	4営業日以上前	9	5.7
2	3営業日前	29	18.5
3	2営業日前	72	45.9
4	前営業日午前	18	11.5
5	前営業日午後	24	15.3
6	当日午前	1	0.6
7	当日12～15時	3	1.9
8	当日15～17時	1	0.6
9	当日17～19時	0	0.0
10	当日19～21時	0	0.0
合計		157	100



夕方・夜間におけるクロスボーダーでの円建て送金・着金の潜在的なニーズ等

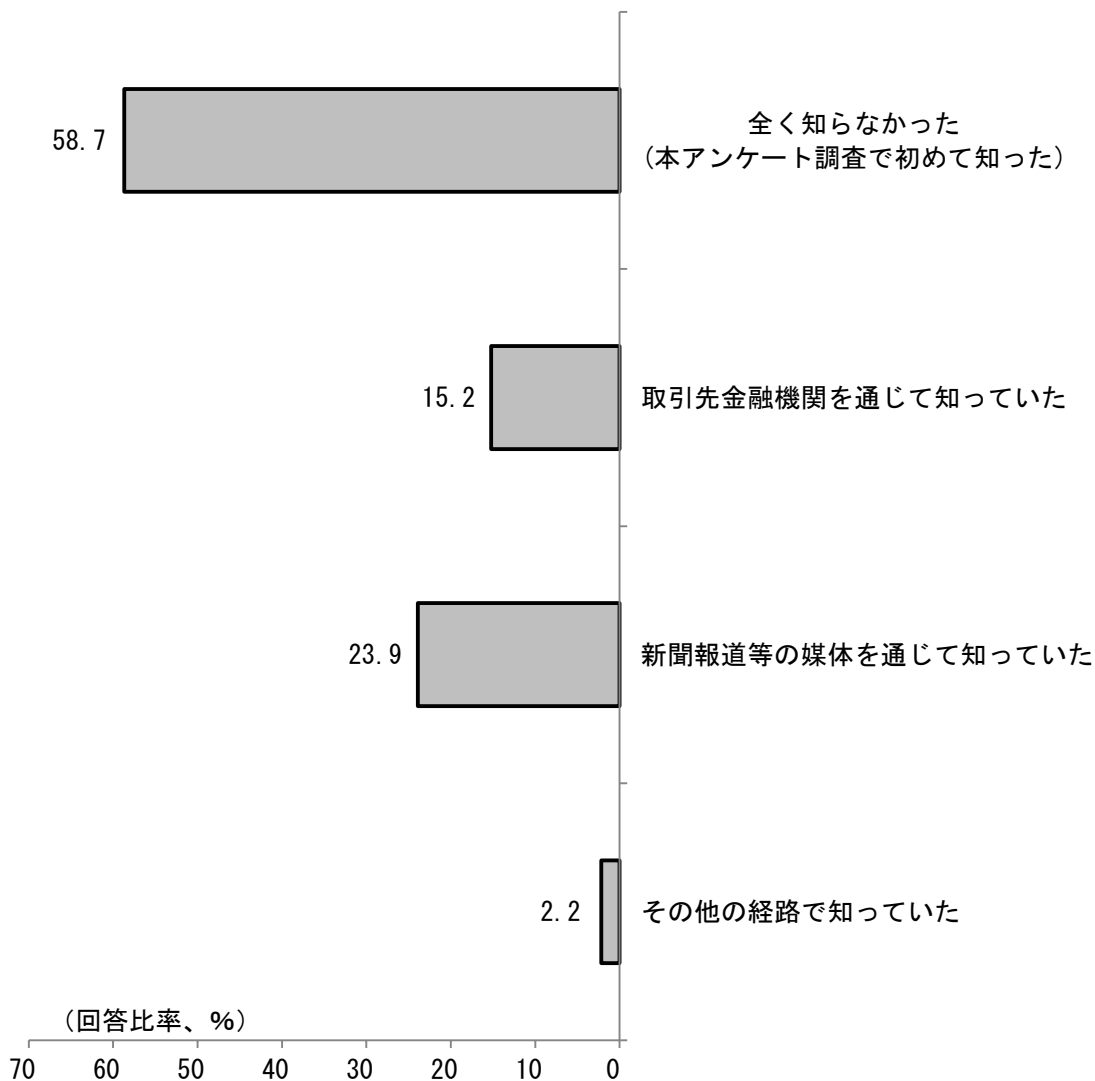
問13 日本銀行が運営する「日銀ネット」の認知・理解度について、該当する項目を一つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 全く知らなかった (本アンケート調査で初めて知った)	76	45.2
2 名前は知っていたが中身は理解していない	46	27.4
3 ある程度中身を理解している	44	26.2
4 詳しく中身を理解している	2	1.2
合計	168	100



問14 (問13で「日銀ネット」を認知していた<選択肢2~4>と回答された場合)2016/2月より実施された「日銀ネット」の稼働時間拡大に関する認知度について、該当する項目を一つチェックして下さい。

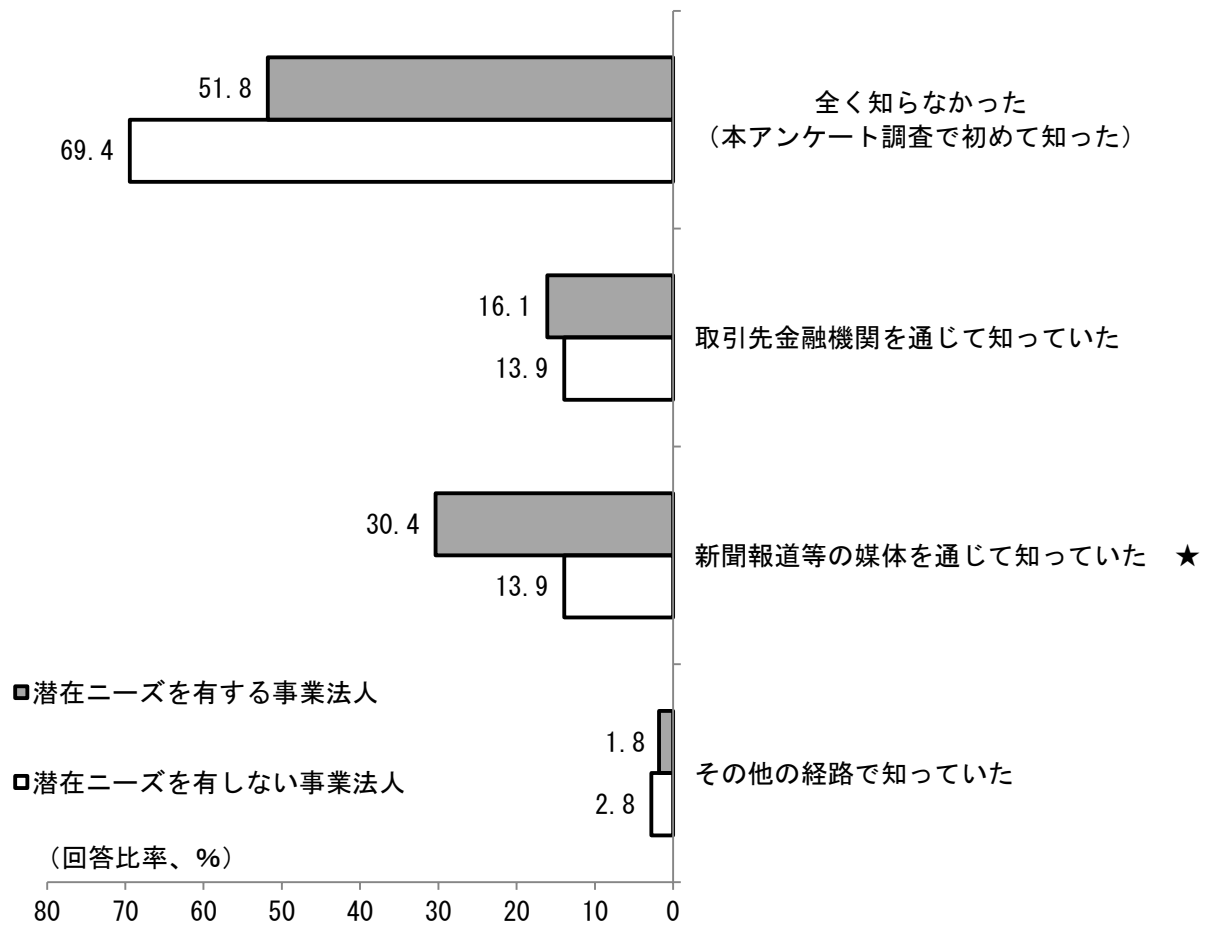
選択肢	回答数	回答比率
1 全く知らなかった (本アンケート調査で初めて知った)	54	58.7
2 取引先金融機関を通じて知っていた	14	15.2
3 新聞報道等の媒体を通じて知っていた	22	23.9
4 その他の経路で知っていた	2	2.2
合計	92	100



【クロス集計＜問14と問15(1)、(2)＞】

「日銀ネット」の稼働時間拡大の認知度と、夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズとの関係

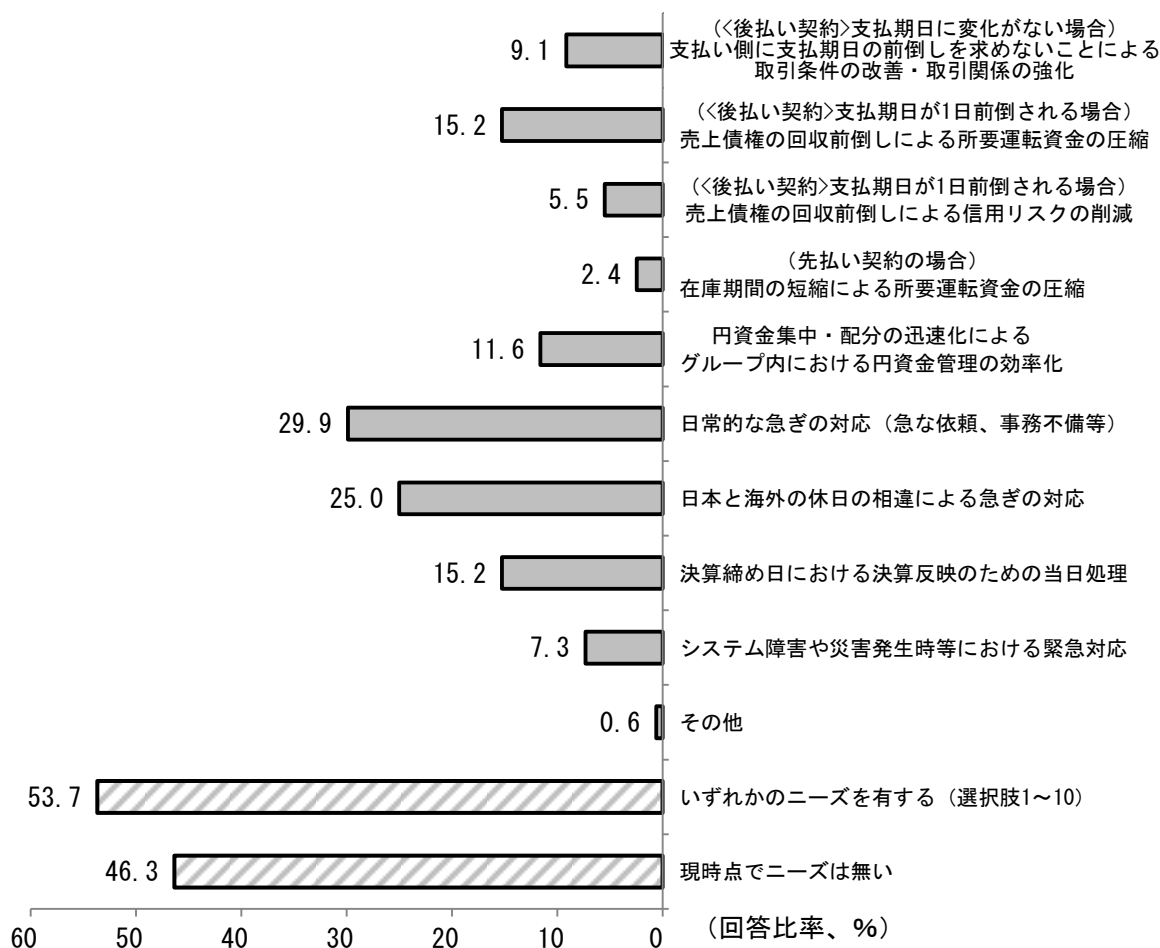
「日銀ネット」の稼働時間拡大に関する認知度と夕方・夜間の円建て送金・着金ニーズとの関係
【問14と問15(1)、(2)】



問15 資料B「「日銀ネット」の稼働時間拡大を受けた事業法人の皆様のご活用例とメリット」をご一読いただいた上で、日本の夕方・夜間の時間帯における、現時点で想定される潜在的なご活用ニーズについて、以下ご回答下さい。

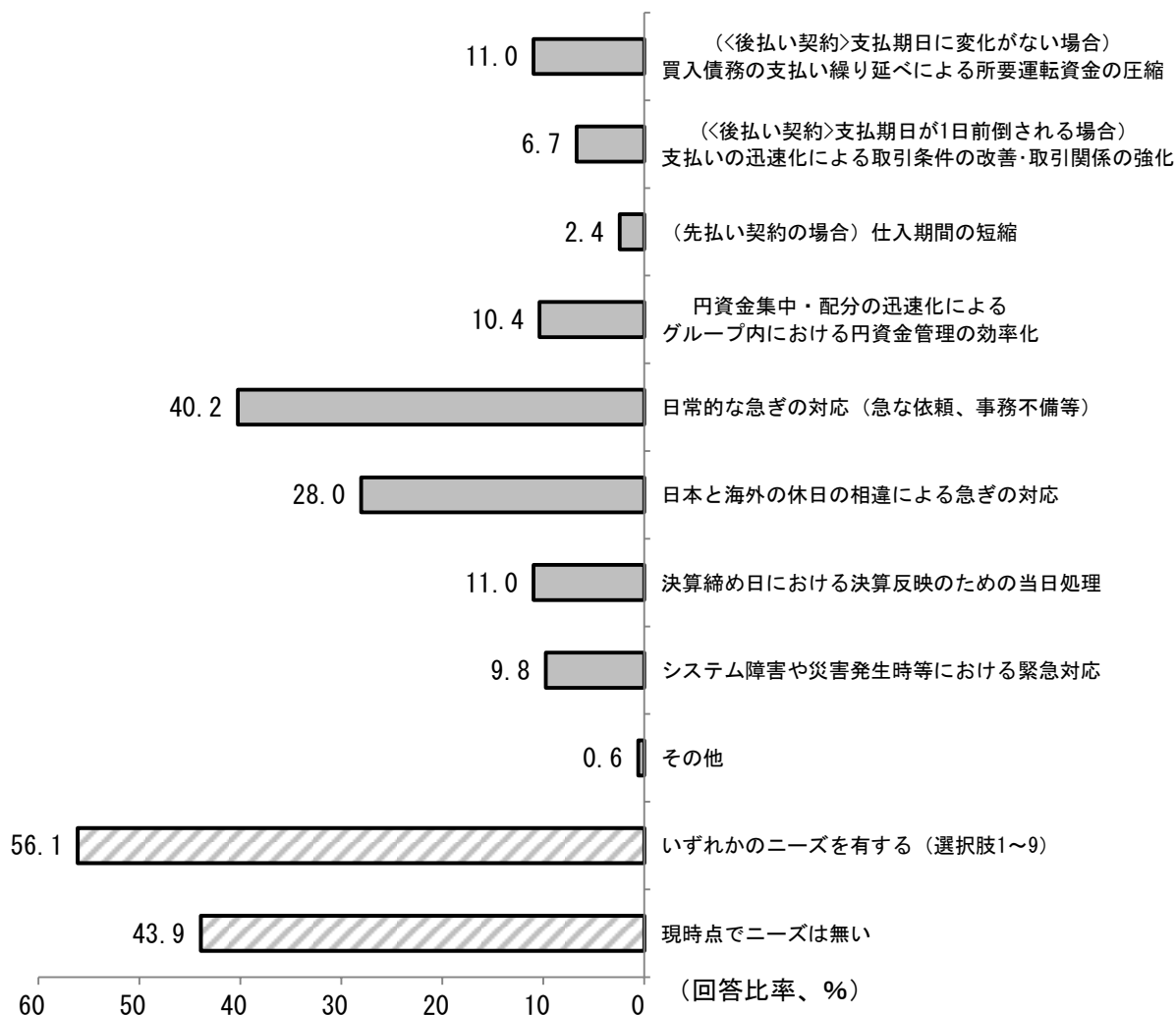
(1) 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒国内】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。

選択肢	回答数	回答比率
(〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合)		
1 支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化	15	9.1
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
2 売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮	25	15.2
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
3 売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減	9	5.5
(先払い契約の場合)		
4 在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮	4	2.4
5 円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化	19	11.6
6 日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）	49	29.9
7 日本と海外の休日の相違による急ぎの対応	41	25.0
8 決算締め日における決算反映のための当日処理	25	15.2
9 システム障害や災害発生時等における緊急対応	12	7.3
10 その他	1	0.6
いずれかのニーズを有する（選択肢1～10）	—	53.7
11 現時点でニーズは無い	76	46.3



問15(2) 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：国内⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。

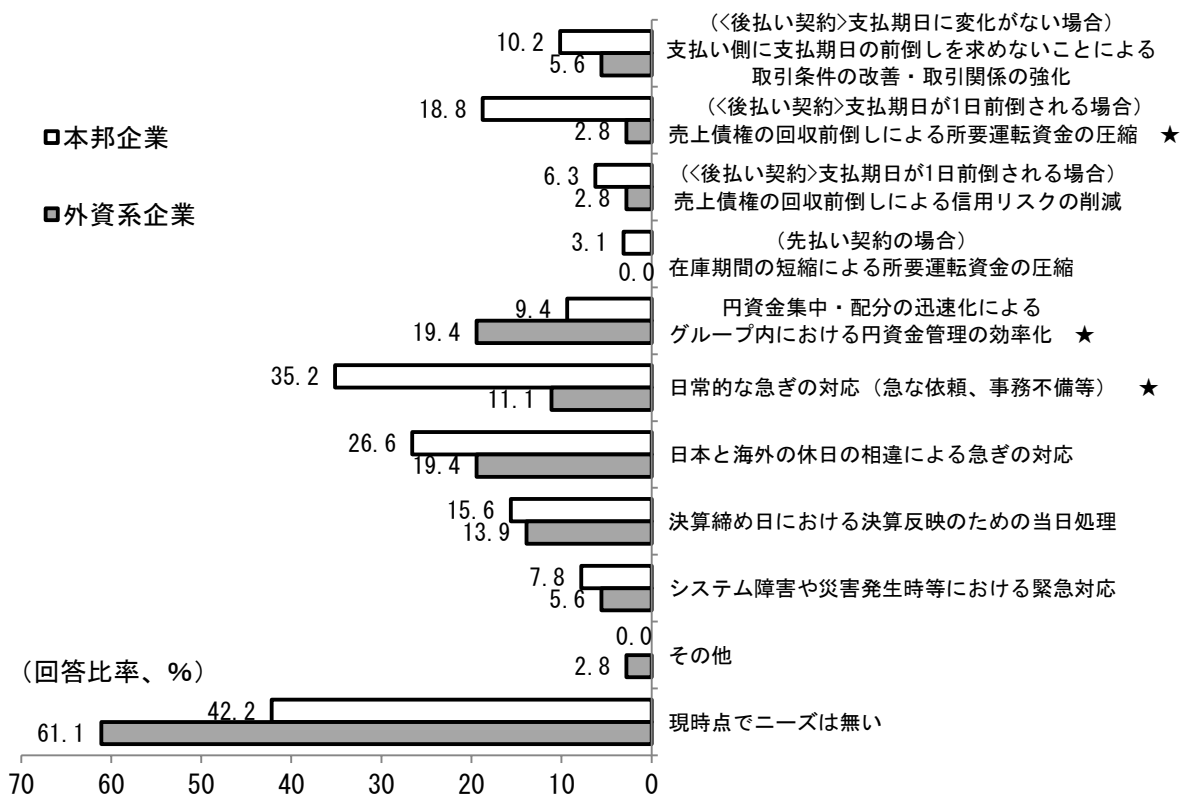
選択肢	回答数	回答比率
1 (〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合) 買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮	18	11.0
2 (〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合) 支払いの迅速化による取引条件の改善・取引関係の強化	11	6.7
3 (先払い契約の場合) 仕入期間の短縮	4	2.4
4 円資金集中・配分の迅速化による グループ内における円資金管理の効率化	17	10.4
5 日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）	66	40.2
6 日本と海外の休日の相違による急ぎの対応	46	28.0
7 決算締め日における決算反映のための当日処理	18	11.0
8 システム障害や災害発生時等における緊急対応	16	9.8
9 その他	1	0.6
いずれかのニーズを有する（選択肢1～9）	—	56.1
10 現時点でニーズは無い	72	43.9



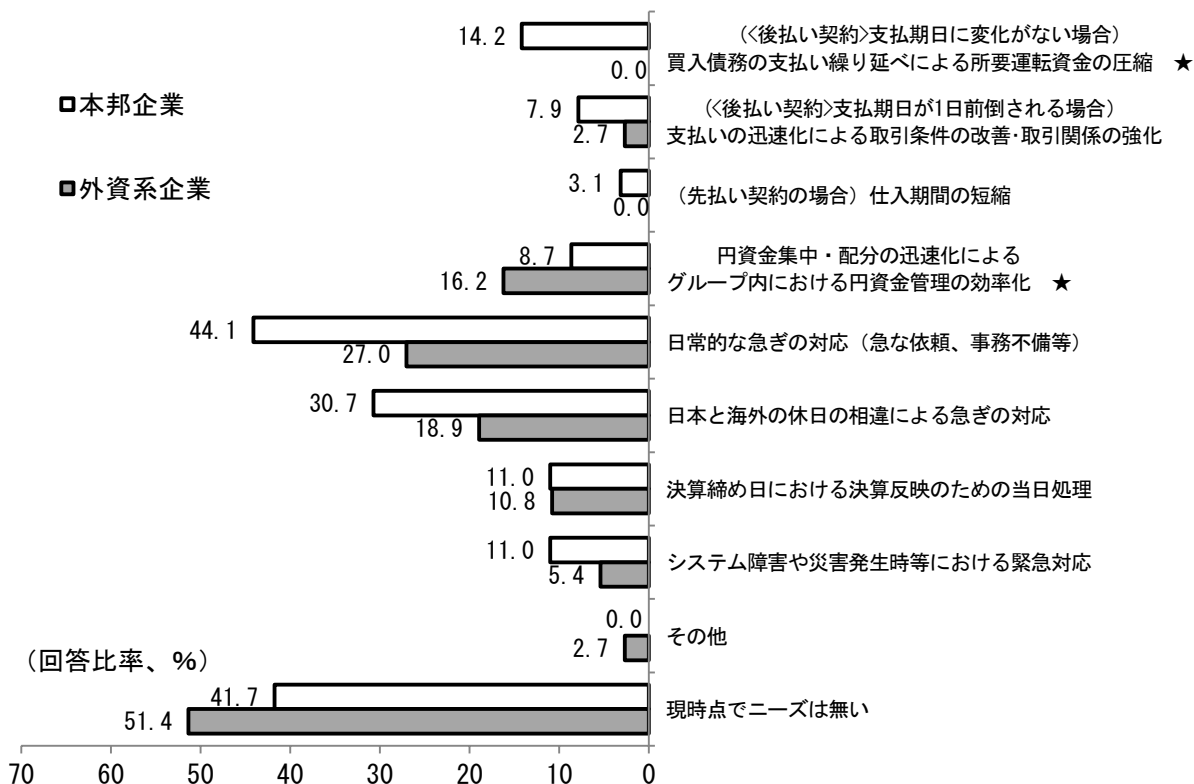
【クロス集計<問15(1)、(2)と企業区分>】

夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと、企業区分（本邦・外資）との関係

夕方・夜間の着金ニーズと企業区分との関係【円資金の流れ：海外⇒国内】



夕方・夜間の送金ニーズと企業区分との関係【円資金の流れ：国内⇒海外】

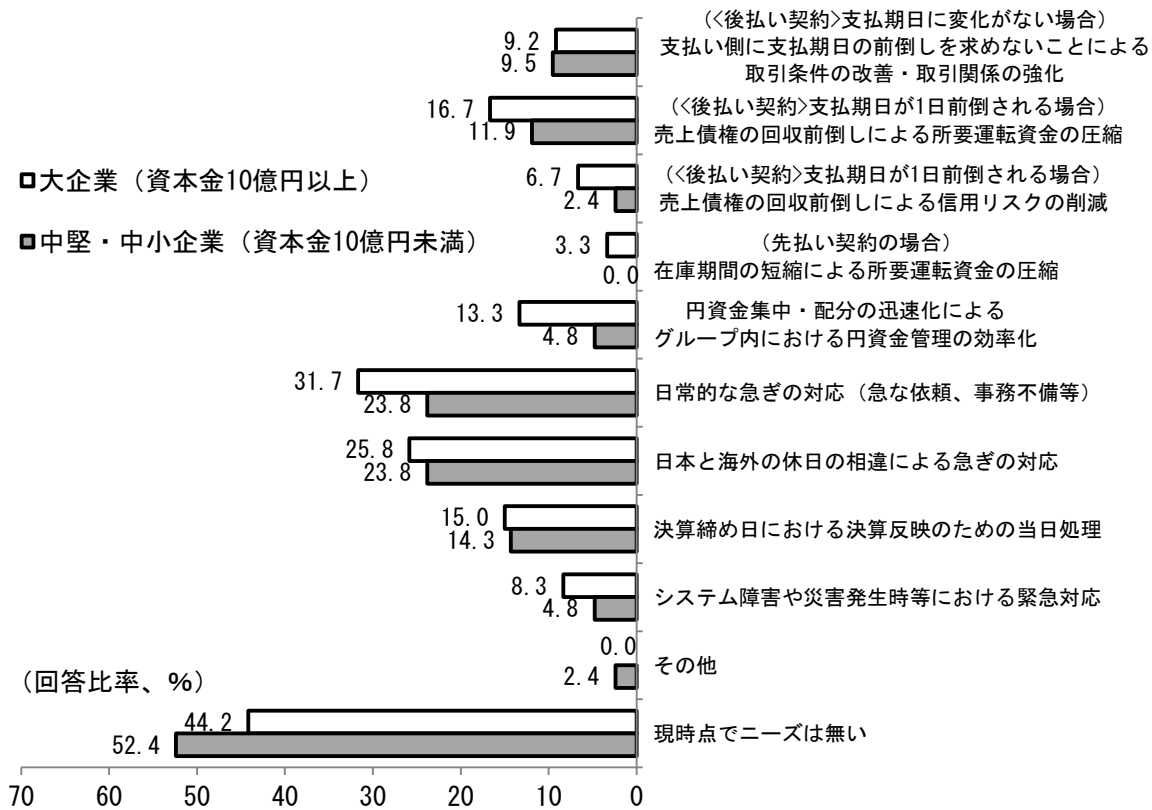


【クロス集計<問15(1)、(2)と問2>】

夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと企業規模との関係

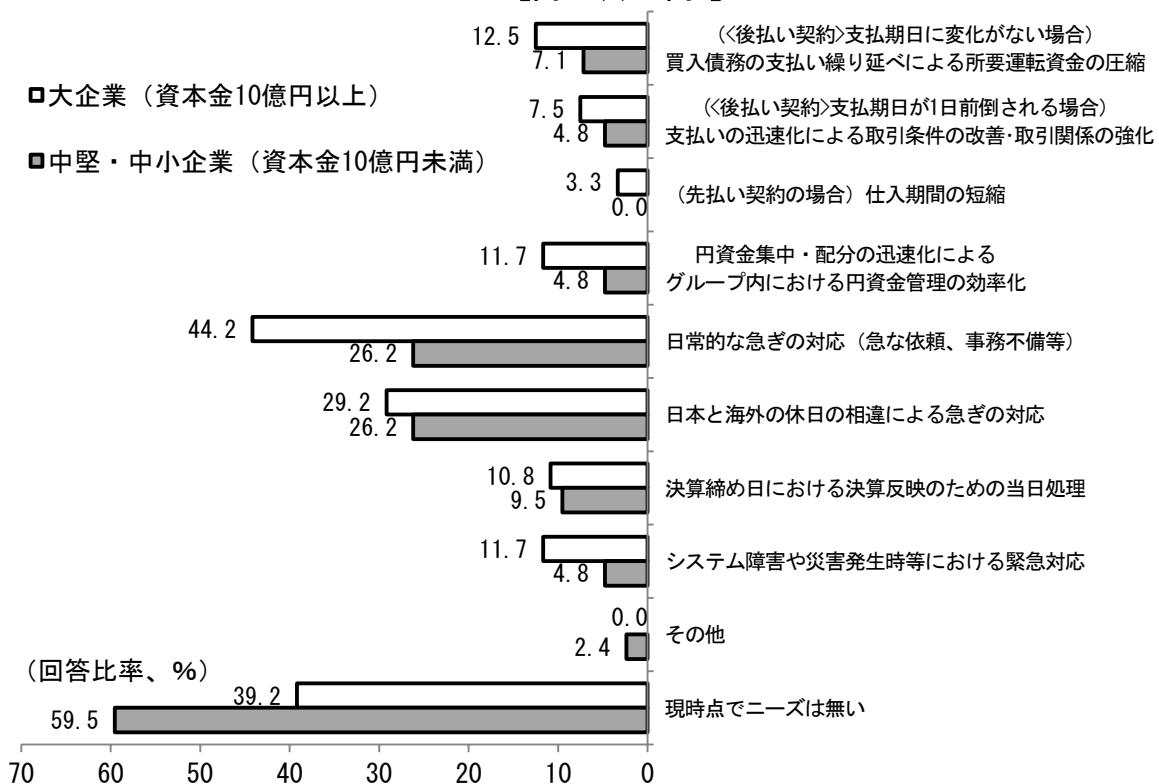
夕方・夜間の着金ニーズと企業規模との関係【円資金の流れ:海外⇒国内】

【問15(1)と問2】



夕方・夜間の送金ニーズと企業規模との関係【円資金の流れ:国内⇒海外】

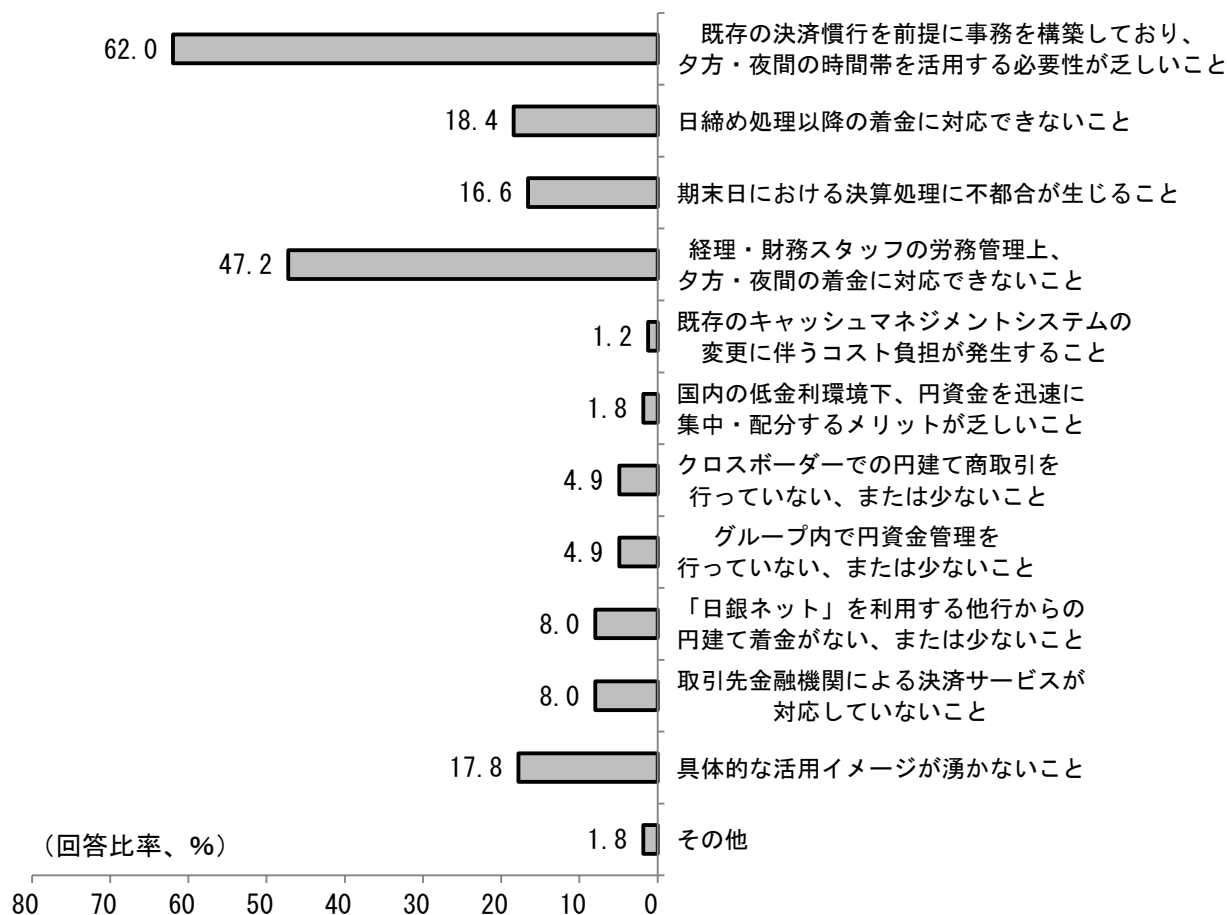
【問15(2)と問2】



問16 夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金・着金に関する課題について、以下ご回答下さい。

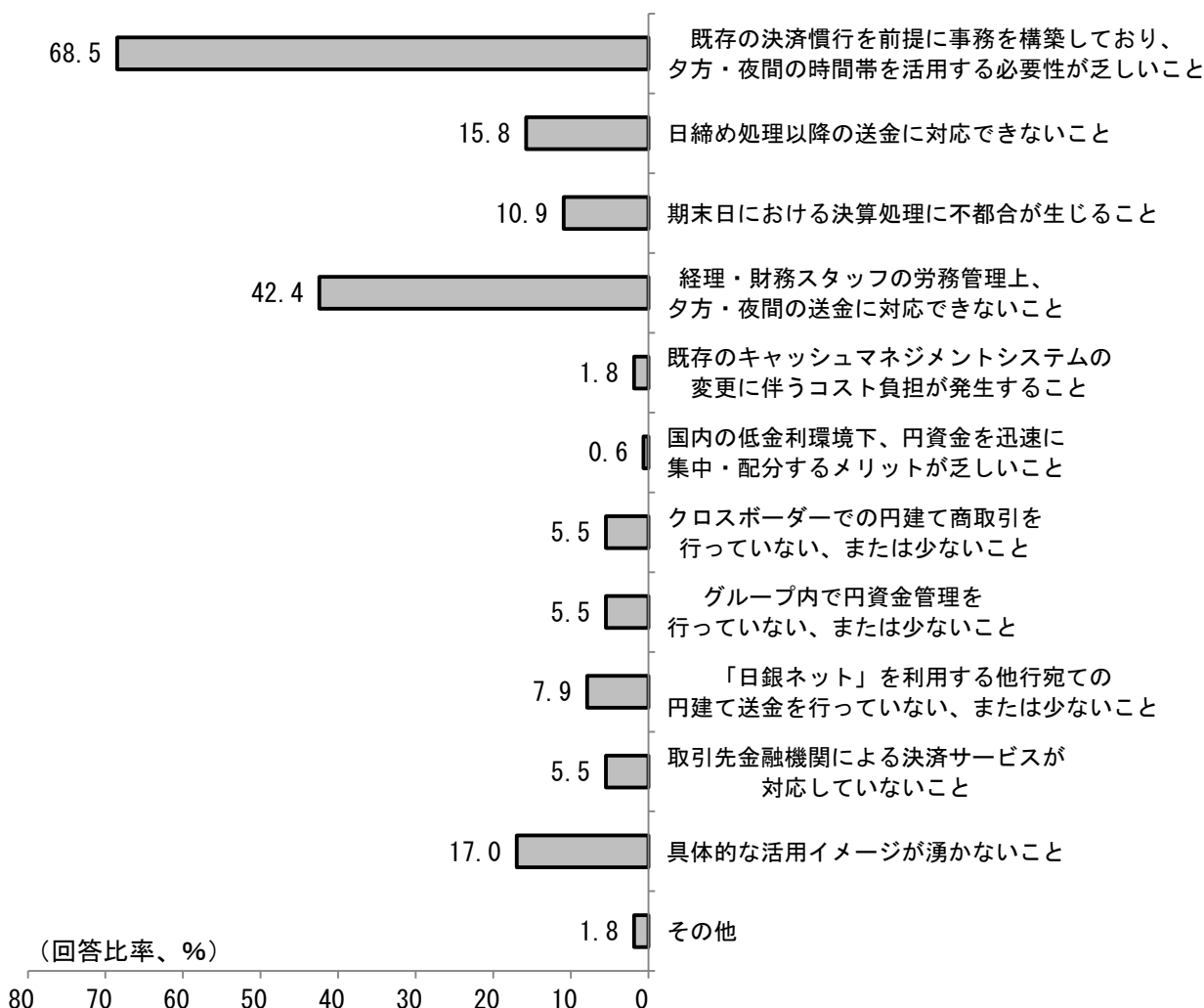
(1) 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】に関する課題について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。

	選択肢	回答数	回答比率
1	既存の決済慣行を前提に事務を構築しており、夕方・夜間の時間帯を活用する必要性が乏しいこと	101	62.0
2	日締め処理以降の着金に対応できないこと	30	18.4
3	期末日における決算処理に不都合が生じること	27	16.6
4	経理・財務スタッフの労務管理上、夕方・夜間の着金に対応できないこと	77	47.2
5	既存のキャッシュマネジメントシステムの変更に伴うコスト負担が発生すること	2	1.2
6	国内の低金利環境下、円資金を迅速に集中・配分するメリットが乏しいこと	3	1.8
7	クロスボーダーでの円建て商取引を行っていない、または少ないこと	8	4.9
8	グループ内で円資金管理を行っていない、または少ないこと	8	4.9
9	「日銀ネット」を利用する他行からの円建て着金がない、または少ないこと	13	8.0
10	取引先金融機関による決済サービスが対応していないこと	13	8.0
11	具体的な活用イメージが湧かないこと	29	17.8
12	その他	3	1.8



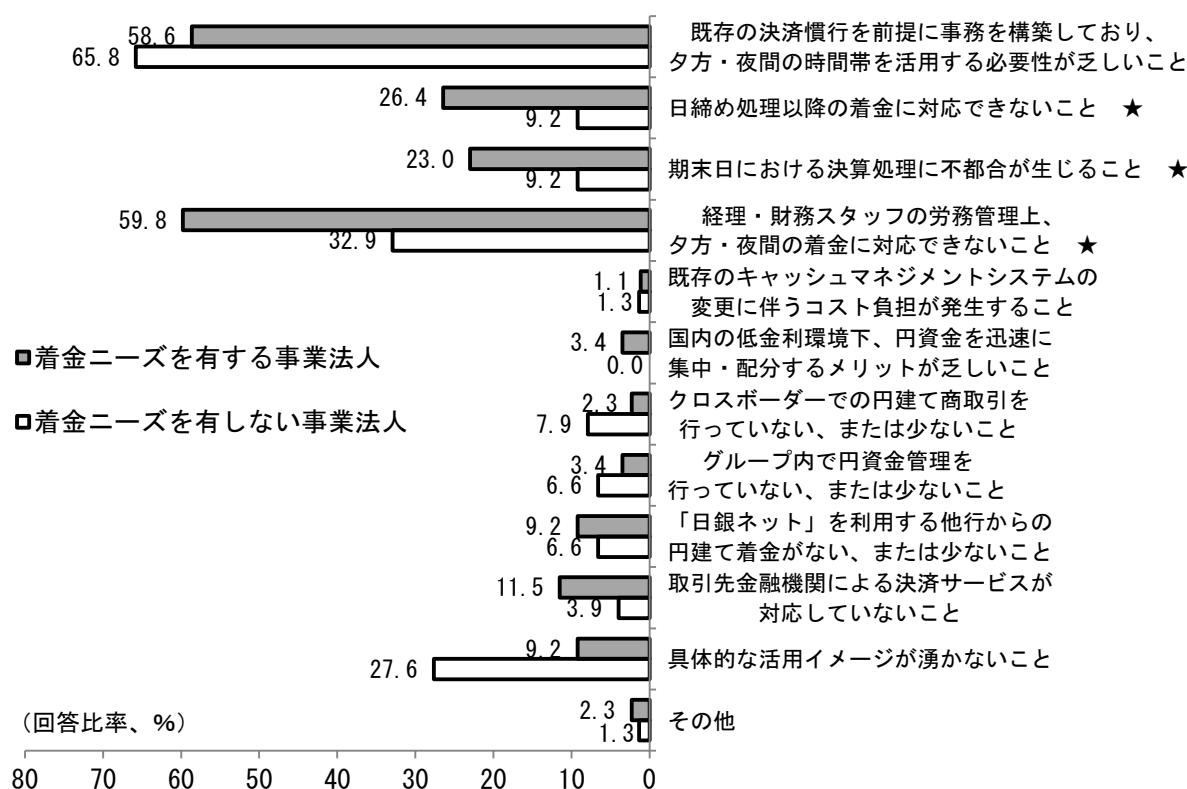
問16(2) 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】に関する課題について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。

	選択肢	回答数	回答比率
1	既存の決済慣行を前提に事務を構築しており、夕方・夜間の時間帯を活用する必要性が乏しいこと	113	68.5
2	日締め処理以降の送金に対応できないこと	26	15.8
3	期末日における決算処理に不都合が生じること	18	10.9
4	経理・財務スタッフの労務管理上、夕方・夜間の送金に対応できないこと	70	42.4
5	既存のキャッシュマネジメントシステムの変更に伴うコスト負担が発生すること	3	1.8
6	国内の低金利環境下、円資金を迅速に集中・配分するメリットが乏しいこと	1	0.6
7	クロスボーダーでの円建て商取引を行っていない、または少ないこと	9	5.5
8	グループ内で円資金管理を行っていない、または少ないこと	9	5.5
9	「日銀ネット」を利用する他行宛ての円建て送金を行っていない、または少ないこと	13	7.9
10	取引先金融機関による決済サービスが対応していないこと	9	5.5
11	具体的な活用イメージが湧かないこと	28	17.0
12	その他	3	1.8

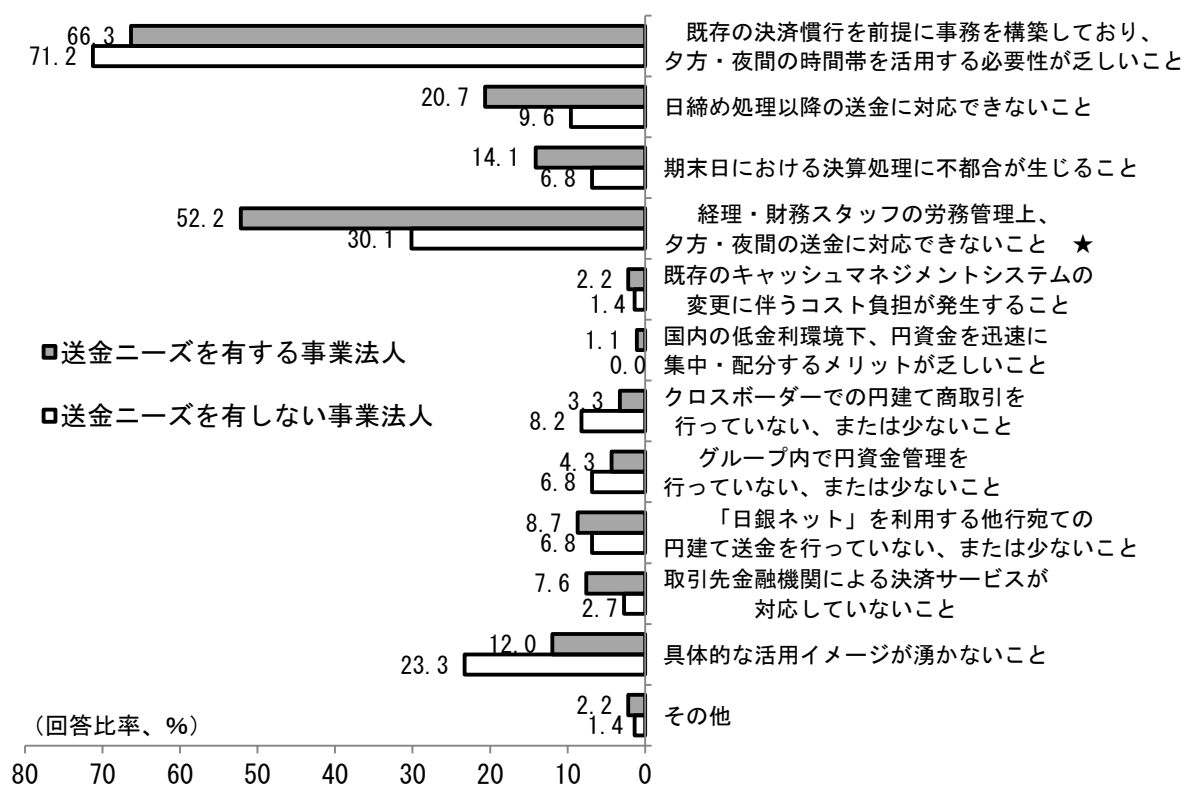


【クロス集計<問16(1)、(2)と問15(1)、(2)>】
 夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズと課題との関係

夕方・夜間の着金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:海外⇒国内】
 【問16(1)と問15(1)】



夕方・夜間の送金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:国内⇒海外】
 【問16(2)と問15(2)】

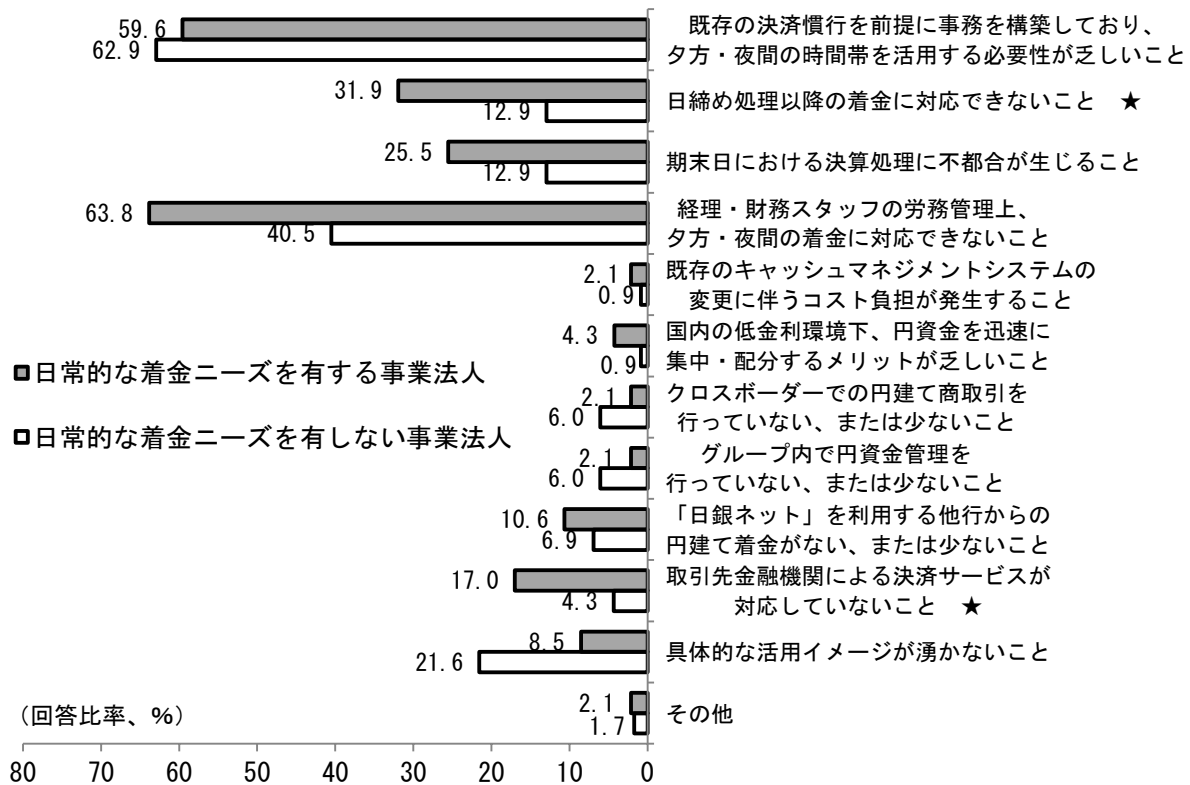


白紙挿入

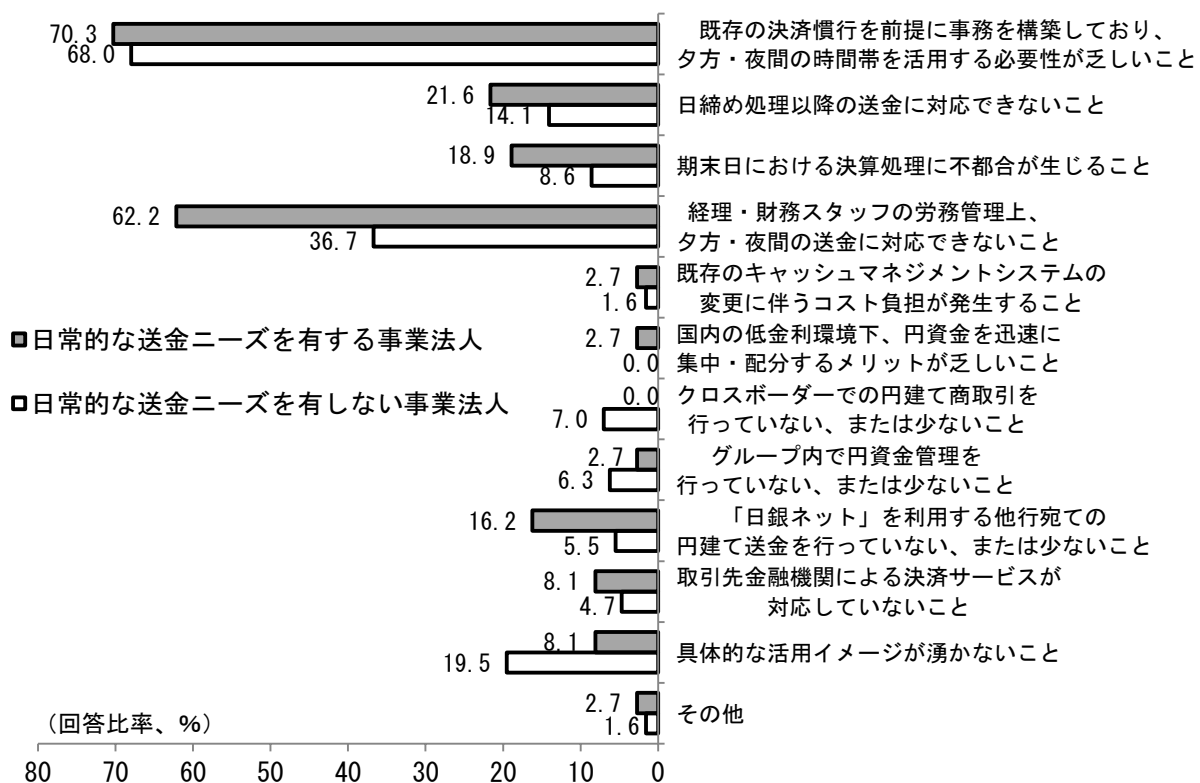
【クロス集計＜問16(1)、(2)と問15(1)、(2)＞】

夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズのうち、日常的な送金・着金ニーズと課題との関係（問15(1)選択肢1～5、問15(2)選択肢1～4を日常的ニーズとする）

夕方・夜間の日常的な着金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:海外⇒国内】
【問16(1)と問15(1)】



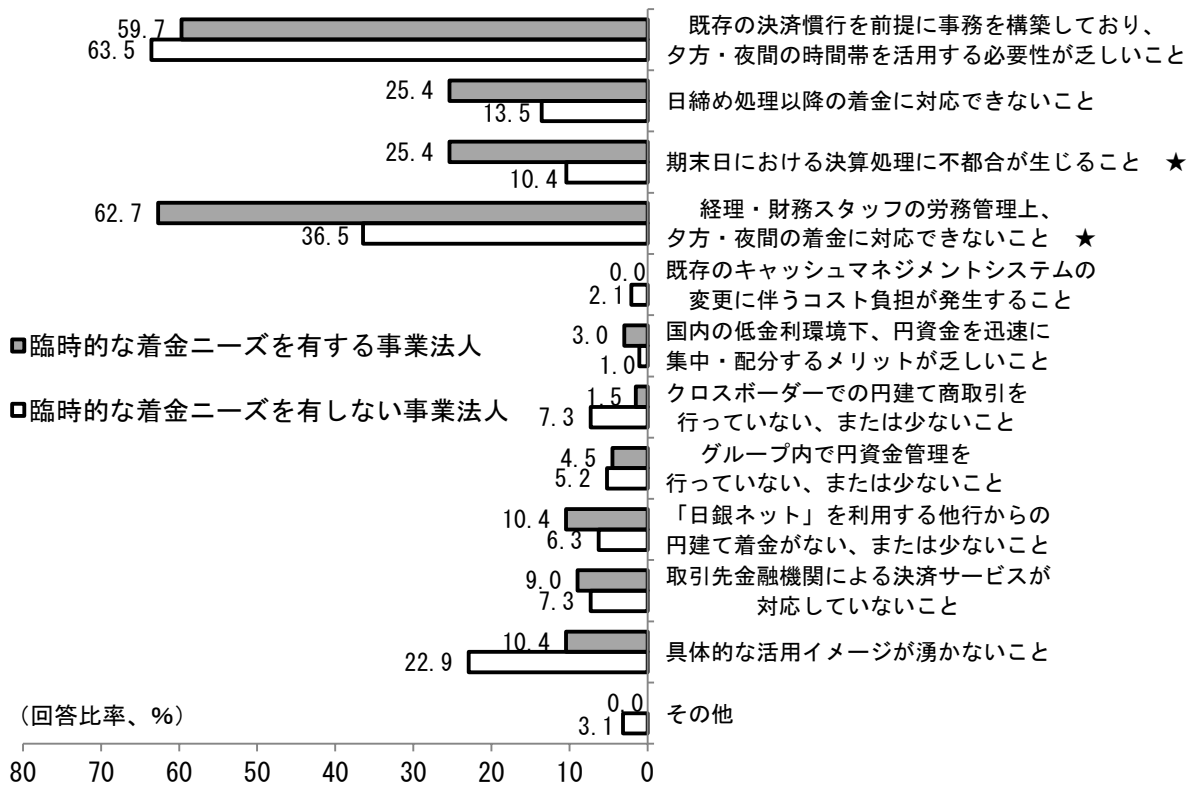
夕方・夜間の日常的な送金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:国内⇒海外】
【問16(2)と問15(2)】



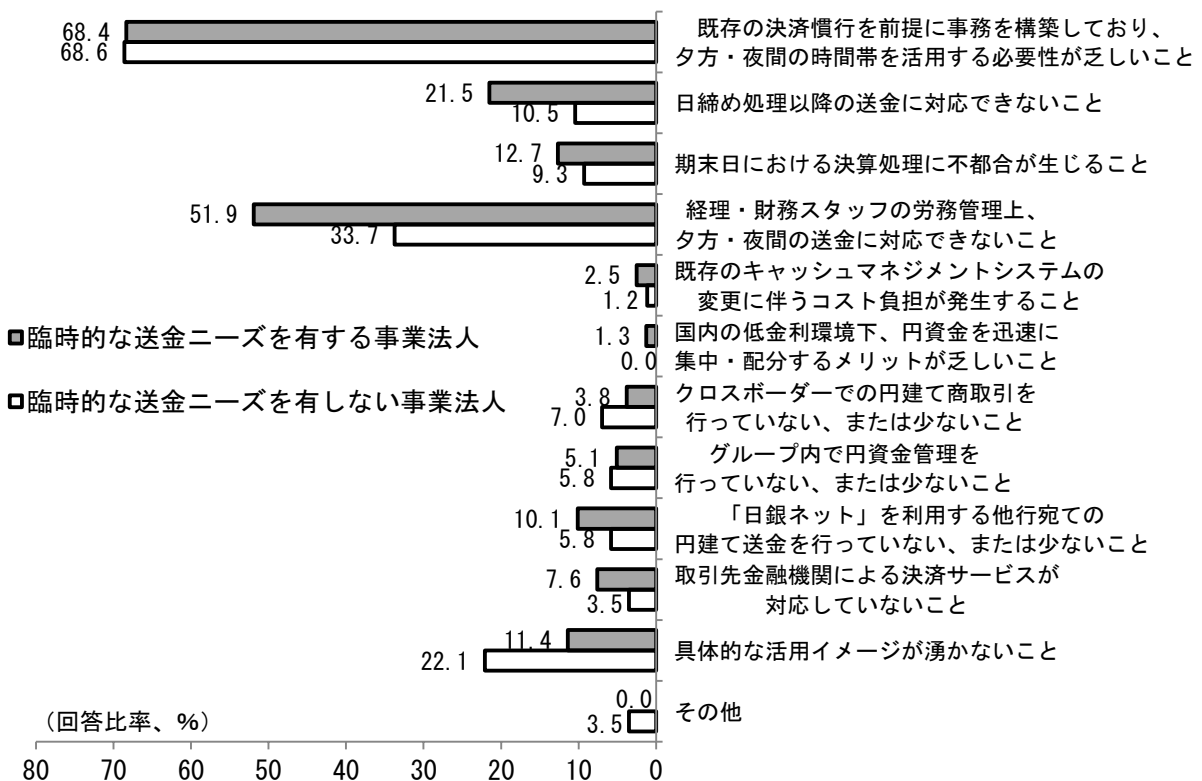
【クロス集計<問16(1)、(2)と問15(1)、(2)>】

夕方・夜間におけるクロスボーダーの円建て送金・着金の潜在的なニーズのうち、臨時的な送金・着金ニーズと課題との関係（問15(1)選択肢6～9、問15(2)選択肢5～8を臨時的ニーズとする）

夕方・夜間の臨時的な着金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:海外⇒国内】
【問16(1)と問15(1)】



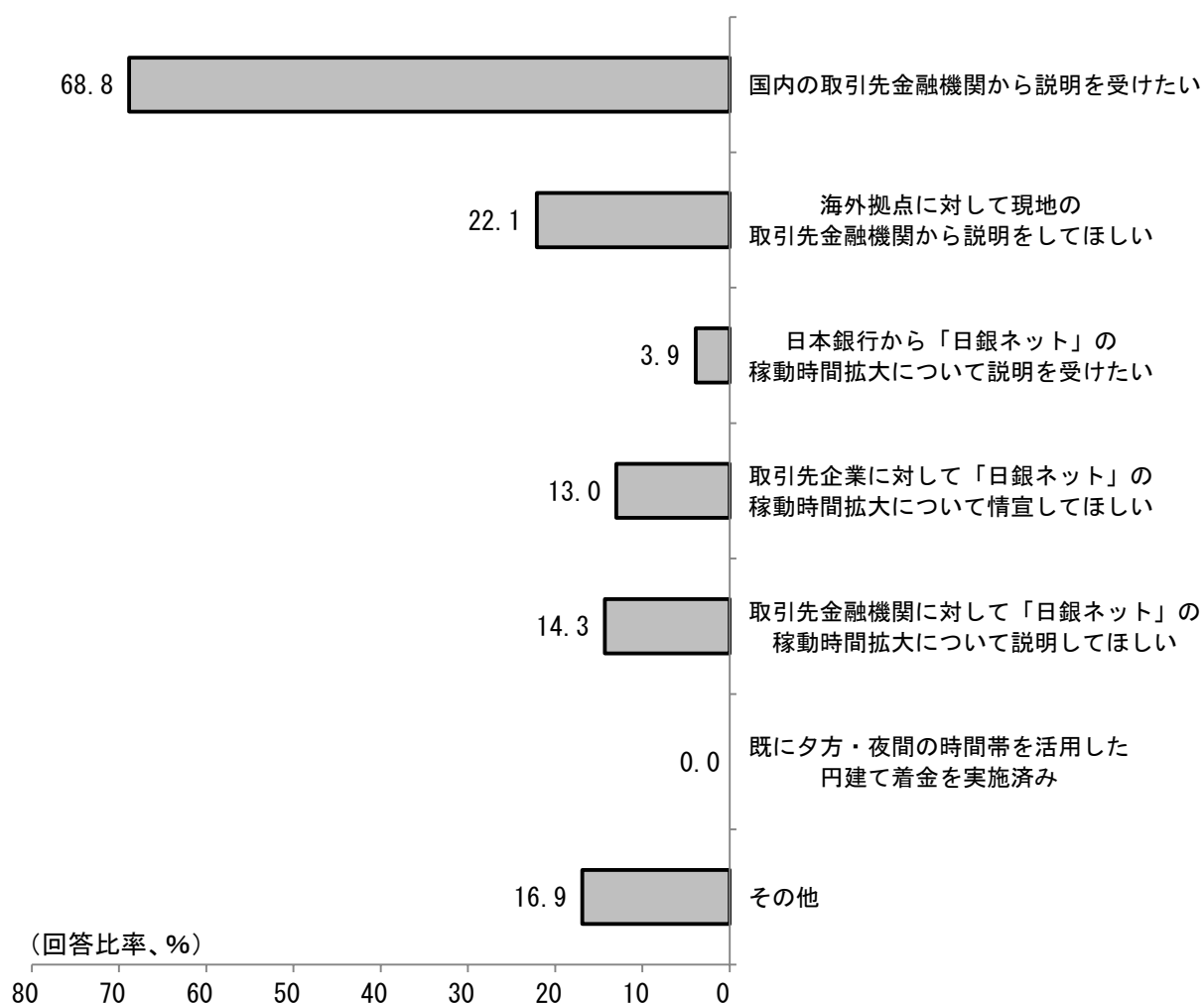
夕方・夜間の臨時的な送金ニーズと課題との関係【円資金の流れ:国内⇒海外】
【問16(2)と問15(2)】



問17 実際に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金・着金を検討するに際し、ご要望されることについて、以下ご回答下さい。

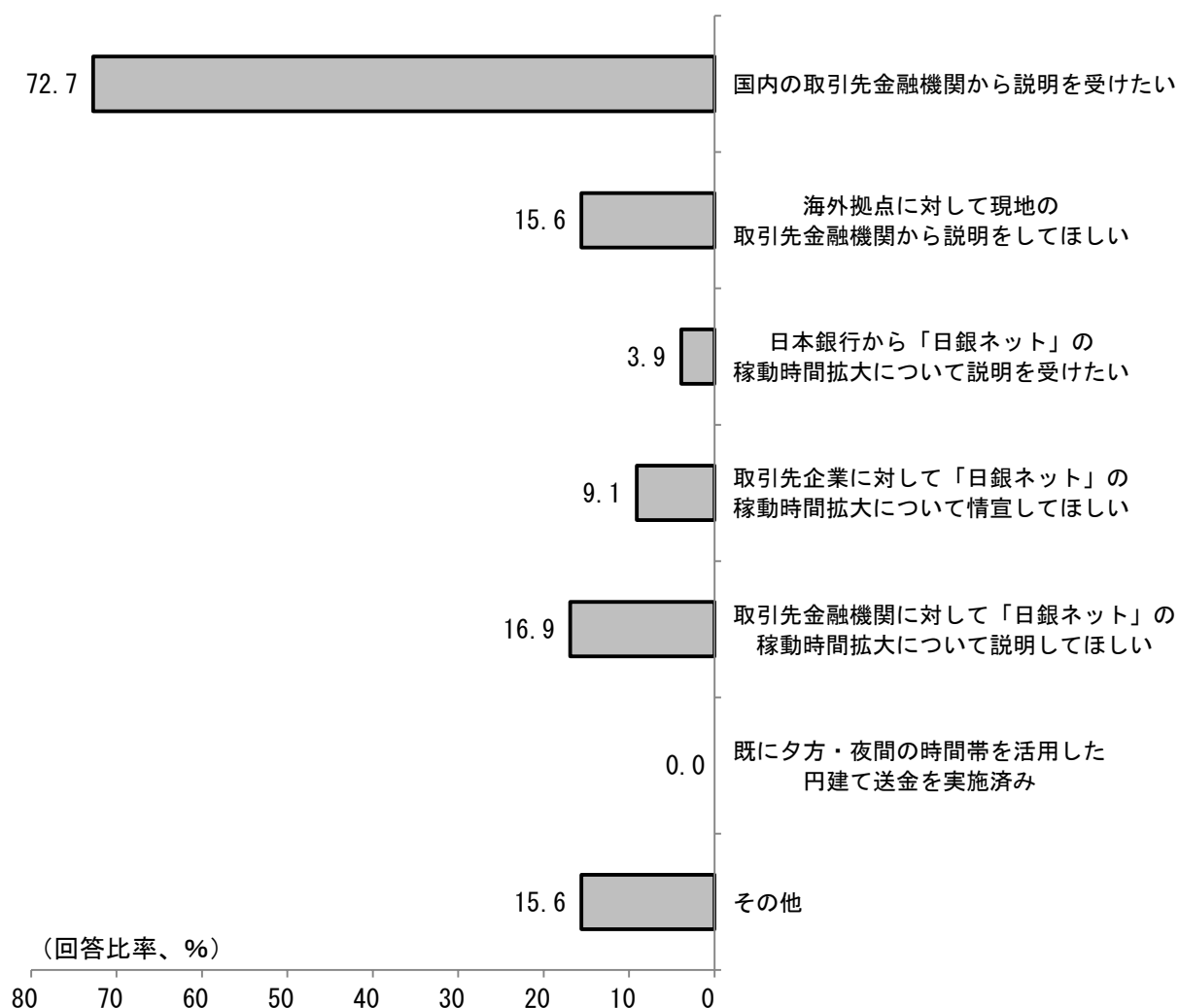
(1) (問15 (1) で着金ニーズ有り<選択肢1~10>と回答された場合) 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛での円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】を検討するに際し、ご要望されることについて、該当する項目を全てチェックして下さい (国内の非居住者口座からの着金も含む)。

選択肢	回答数	回答比率
1 国内の取引先金融機関から説明を受けたい	53	68.8
2 海外拠点に対して現地の取引先金融機関から説明をしてほしい	17	22.1
3 日本銀行から「日銀ネット」の稼働時間拡大について説明を受けたい	3	3.9
4 取引先企業に対して「日銀ネット」の稼働時間拡大について情宣してほしい	10	13.0
5 取引先金融機関に対して「日銀ネット」の稼働時間拡大について説明してほしい	11	14.3
6 既に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て着金を実施済み	0	0.0
7 その他	13	16.9



問17(2) (問15(2)で送金ニーズ有り<選択肢1~9>と回答された場合) 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】を検討するに際し、ご要望されることについて、該当する項目を全てチェックして下さい(国内の非居住者口座宛て送金も含む)。

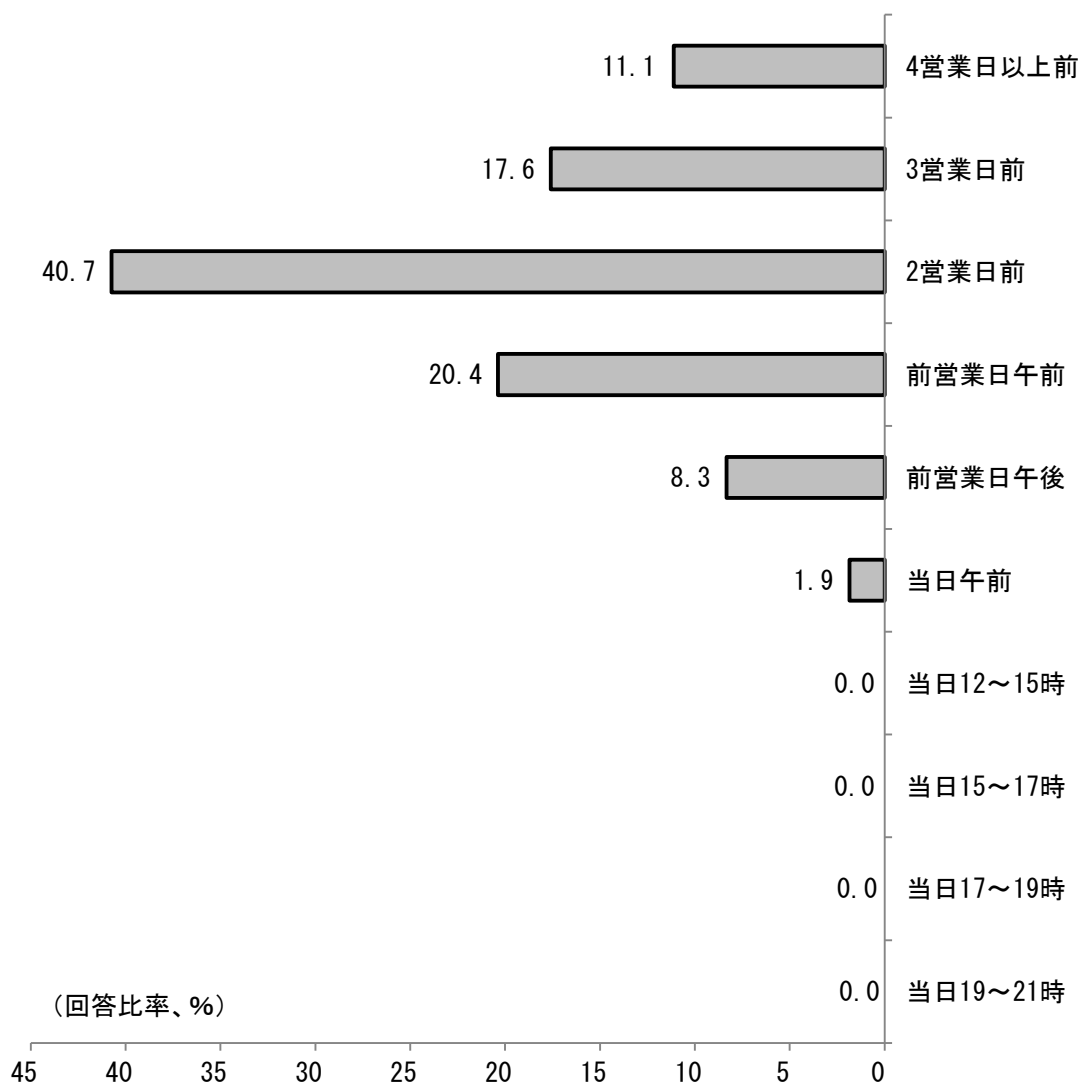
選択肢	回答数	回答比率
1 国内の取引先金融機関から説明を受けたい	56	72.7
2 海外拠点に対して現地の取引先金融機関から説明をしてほしい	12	15.6
3 日本銀行から「日銀ネット」の稼働時間拡大について説明を受けたい	3	3.9
4 取引先企業に対して「日銀ネット」の稼働時間拡大について情宣してほしい	7	9.1
5 取引先金融機関に対して「日銀ネット」の稼働時間拡大について説明してほしい	13	16.9
6 既に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金を実施済み	0	0.0
7 その他	12	15.6



海外拠点に関する質問事項

問18 貴社海外拠点がクロスボーダーでの円建て送金を現地の金融機関に依頼する主な時期（現地時間）について、該当する項目を二つチェックして下さい。なお、受取側の口座への着金予定日を「当日」としています。

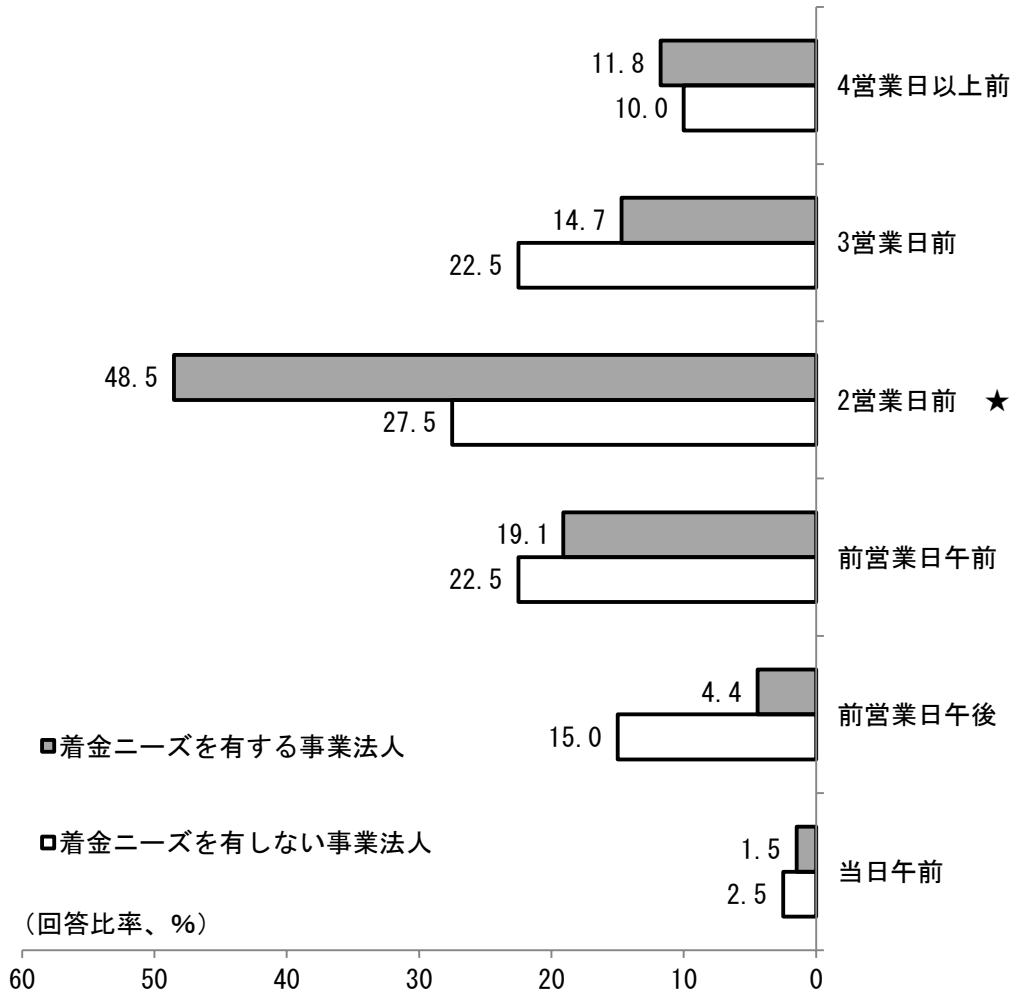
選択肢	回答数	回答比率
1 4営業日以上前	12	11.1
2 3営業日前	19	17.6
3 2営業日前	44	40.7
4 前営業日午前	22	20.4
5 前営業日午後	9	8.3
6 当日午前	2	1.9
7 当日12～15時	0	0.0
8 当日15～17時	0	0.0
9 当日17～19時	0	0.0
10 当日19～21時	0	0.0
合計	108	100



【クロス集計＜問18と問15(1)＞】

海外拠点¹が現地金融機関に送金を依頼する主な時期（現地時間）と夕方・夜間における国内拠点のクロスボーダーの円建て着金の潜在的なニーズとの関係

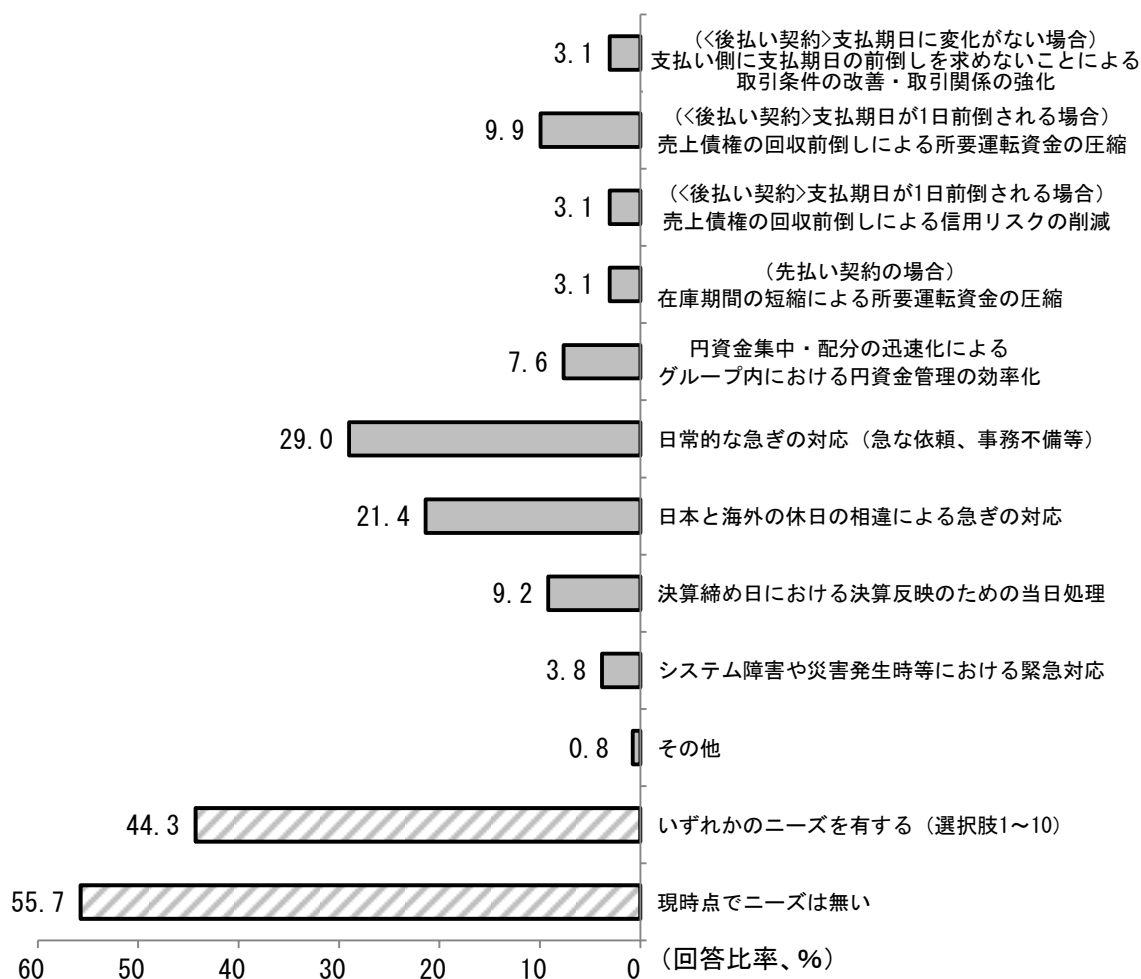
海外拠点の送金依頼時期と国内拠点の夕方・夜間の着金ニーズとの関係
【問18と問15(1)】



問19 資料B「「日銀ネット」の稼働時間拡大を受けた事業法人の皆様のご活用例とメリット」をご一読いただいた上で、日本の夕方・夜間の時間帯における、現時点で想定される潜在的なご活用ニーズについて、以下ご回答下さい。

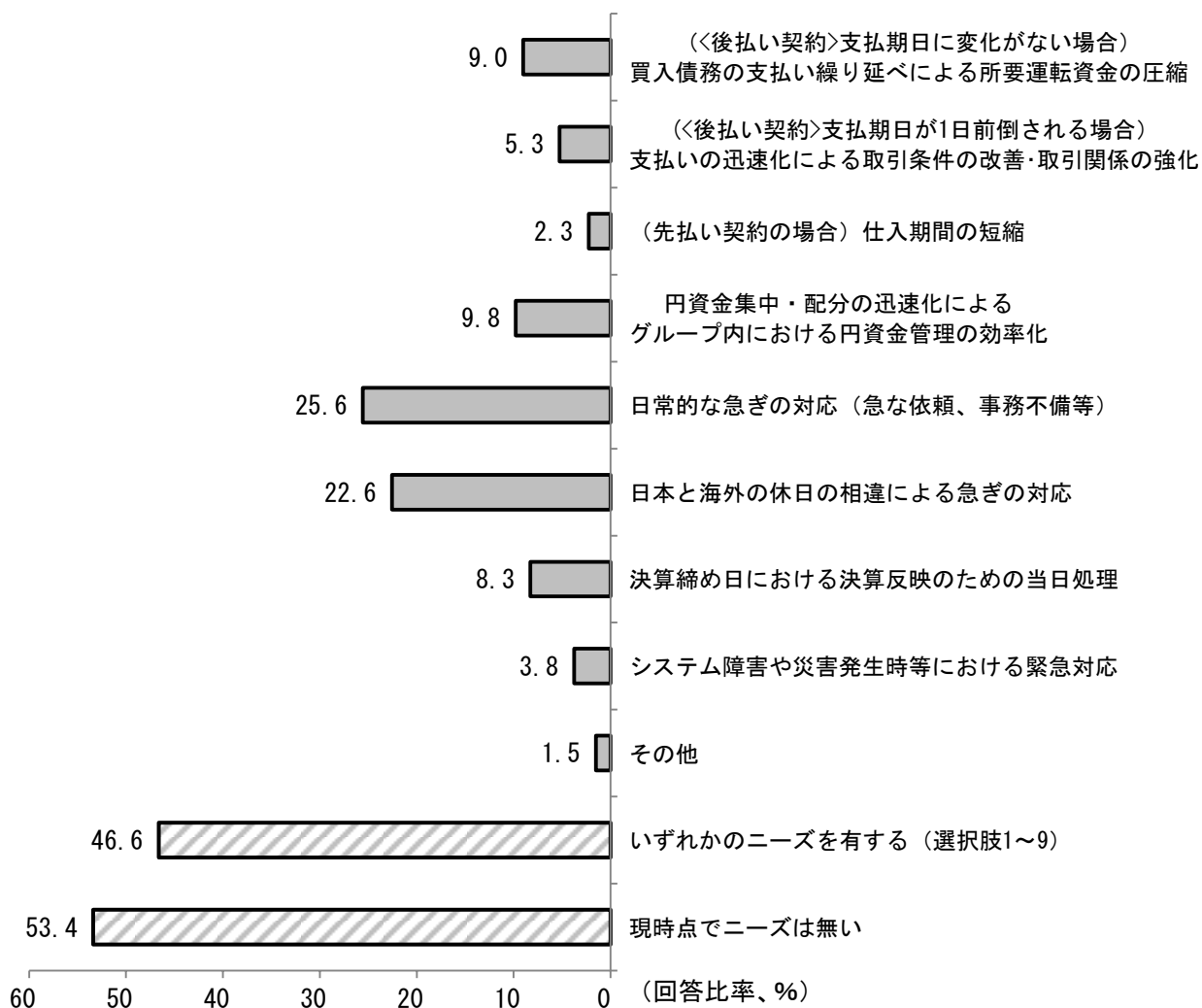
(1) 貴社・取引先から貴社海外拠点宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：国内⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
(〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合)		
1 支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化	4	3.1
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
2 売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮	13	9.9
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
3 売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減	4	3.1
(先払い契約の場合)		
4 在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮	4	3.1
5 円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化	10	7.6
6 日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）	38	29.0
7 日本と海外の休日の相違による急ぎの対応	28	21.4
8 決算締め日における決算反映のための当日処理	12	9.2
9 システム障害や災害発生時等における緊急対応	5	3.8
10 その他	1	0.8
いずれかのニーズを有する（選択肢1～10）	—	44.3
11 現時点でニーズは無い	73	55.7



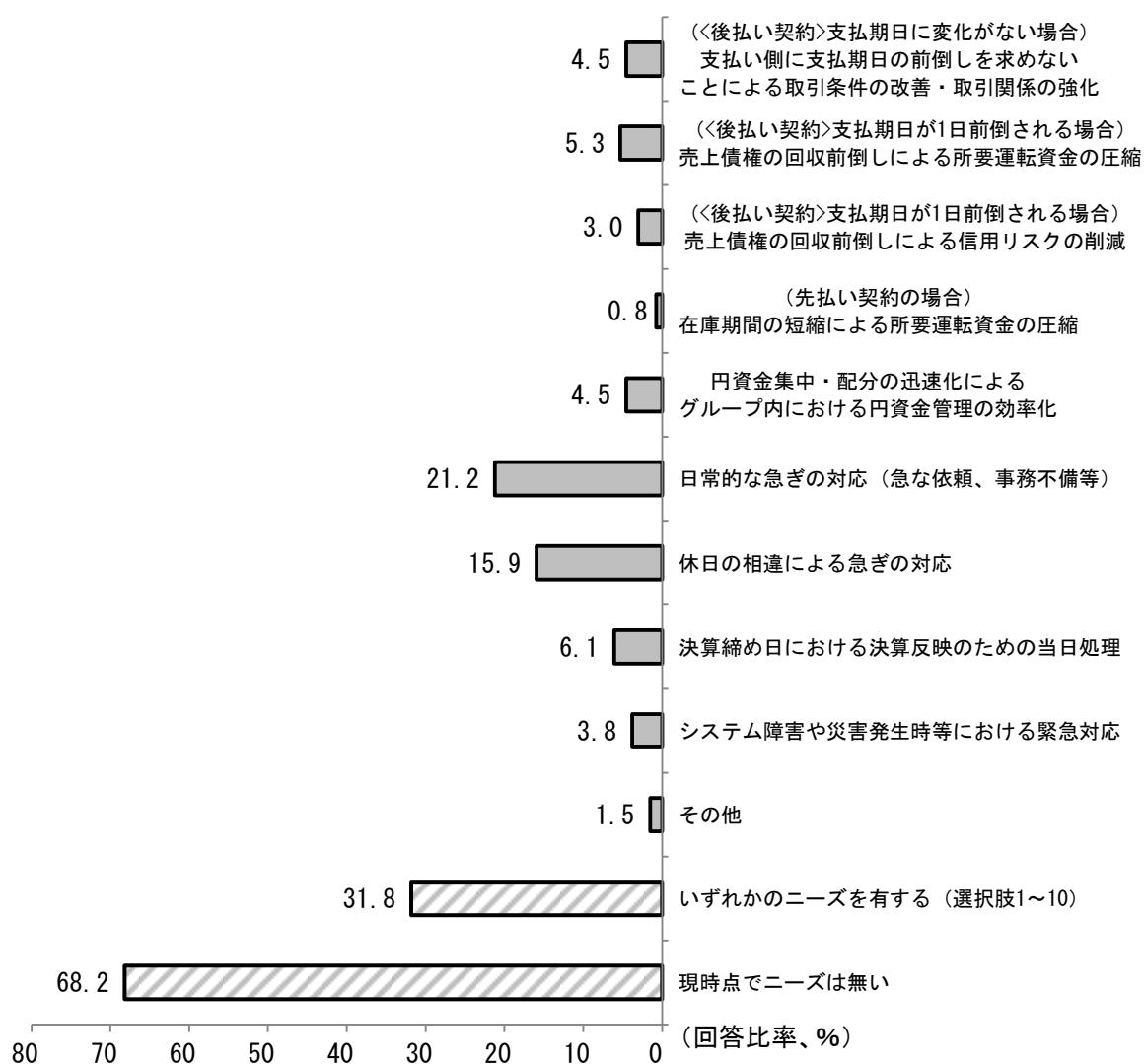
問19(2) 貴社海外拠点から貴社・取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒国内】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 (〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合) 買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮	12	9.0
2 (〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合) 支払いの迅速化による取引条件の改善・取引関係の強化	7	5.3
3 (先払い契約の場合)仕入期間の短縮	3	2.3
4 円資金集中・配分の迅速化による グループ内における円資金管理の効率化	13	9.8
5 日常的な急ぎの対応 (急な依頼、事務不備等)	34	25.6
6 日本と海外の休日の相違による急ぎの対応	30	22.6
7 決算締め日における決算反映のための当日処理	11	8.3
8 システム障害や災害発生時等における緊急対応	5	3.8
9 その他	2	1.5
いずれかのニーズを有する (選択肢1~9)	—	46.6
10 現時点でニーズは無い	71	53.4



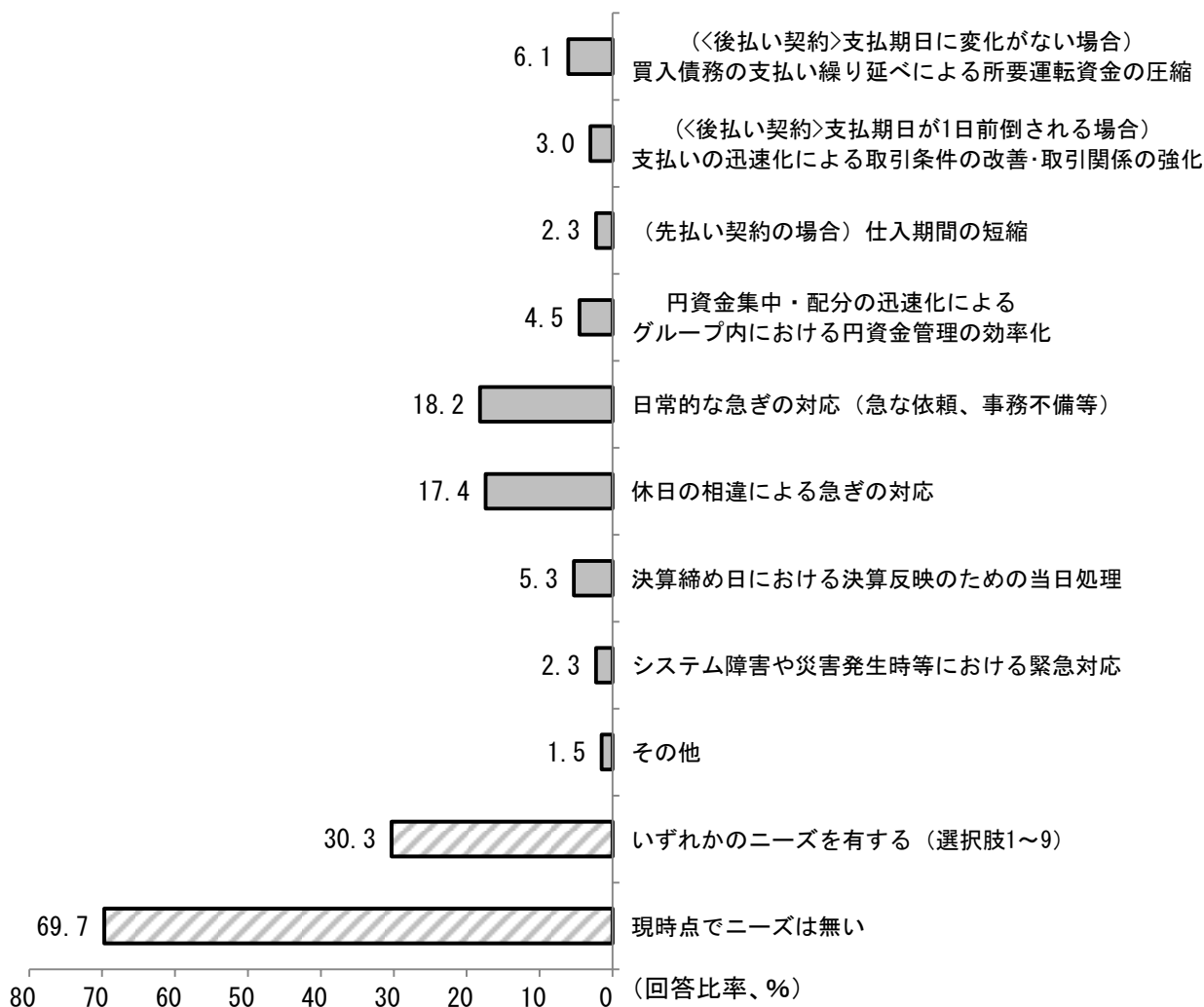
問19(3) 貴社の他の海外拠点・海外取引先から貴社海外拠点宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
(〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合)		
1 支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化	6	4.5
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
2 売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮	7	5.3
(〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合)		
3 売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減	4	3.0
(先払い契約の場合)		
4 在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮	1	0.8
5 円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化	6	4.5
6 日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）	28	21.2
7 休日の相違による急ぎの対応	21	15.9
8 決算締め日における決算反映のための当日処理	8	6.1
9 システム障害や災害発生時等における緊急対応	5	3.8
10 その他	2	1.5
いずれかのニーズを有する（選択肢1～10）	—	31.8
11 現時点でニーズは無い	90	68.2



問19(4) 貴社海外拠点から貴社の他の海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。

選択肢	回答数	回答比率
1 (〈後払い契約〉支払期日に変化がない場合) 買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮	8	6.1
2 (〈後払い契約〉支払期日が1日前倒される場合) 支払いの迅速化による取引条件の改善・取引関係の強化	4	3.0
3 (先払い契約の場合) 仕入期間の短縮	3	2.3
4 円資金集中・配分の迅速化による グループ内における円資金管理の効率化	6	4.5
5 日常的な急ぎの対応 (急な依頼、事務不備等)	24	18.2
6 休日の相違による急ぎの対応	23	17.4
7 決算締め日における決算反映のための当日処理	7	5.3
8 システム障害や災害発生時等における緊急対応	3	2.3
9 その他	2	1.5
いずれかのニーズを有する (選択肢1~9)	—	30.3
10 現時点でニーズは無い	92	69.7



その他質問事項

問20 本アンケート結果は、弊行HPなどで公表することを予定しています。その際、回答者企業一覧として貴社名を掲載させていただくことの可否について、該当する項目を一つチェックして下さい。なお、ご承諾いただける場合であっても、公表される情報は貴社名のみであり、個別の回答内容が外部に公表されることはありません。

選択肢	回答数	回答比率
1 社名のみ対外公表することは可能	45	28.0
2 社名を対外公表することは不可能	116	72.0
合計	161	100

＜社名の公表に同意頂いた事業法人＞（敬称略・五十音順）

- ・ 株式会社 I H I
- ・ NEC SCHOTT コンポーネンツ 株式会社
- ・ Pioneer DJ 株式会社
- ・ 旭化成 株式会社
- ・ いすゞ自動車 株式会社
- ・ 太田義尾機械工業 株式会社
- ・ オートリブ 株式会社
- ・ 花王 株式会社
- ・ 川崎汽船 株式会社
- ・ 株式会社 キングジム
- ・ 株式会社 クボタ
- ・ コーセル 株式会社
- ・ コニカミノルタ 株式会社
- ・ 小西安 株式会社
- ・ シェルケミカルズジャパン 株式会社
- ・ 株式会社 島津製作所
- ・ 株式会社 シマノ
- ・ 新日鐵住金 株式会社
- ・ 住友建機 株式会社
- ・ 住友商事 株式会社
- ・ セイコーエプソン 株式会社
- ・ センクシア 株式会社
- ・ 中越パルプ工業 株式会社
- ・ 株式会社 デンソー
- ・ 東洋インキSCホールディングス 株式会社
- ・ トーソー 株式会社
- ・ トヨタ自動車 株式会社
- ・ トヨタ紡織 株式会社
- ・ 日東電工 株式会社
- ・ 株式会社 日本香堂ホールディングス
- ・ ニプロ 株式会社
- ・ 日本ミシュランタイヤ 株式会社
- ・ 株式会社 バローホールディングス
- ・ 株式会社 日立物流
- ・ 株式会社 ブリヂストン
- ・ 古河電気工業 株式会社
- ・ ベバスト ジャパン 株式会社
- ・ 株式会社 ミツバ
- ・ 横河電機 株式会社
- ・ 横浜ゴム 株式会社
- ・ リヴァノヴァ 株式会社
- ・ リオティントジャパン 株式会社
- ・ 株式会社 リョーサン
- ・ 株式会社 レナウン
- ・ 和興フィルタテクノロジー 株式会社

問21 その他全般的に、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。

＜主なご意見＞

○円の国際競争力や利便性の向上のメリットを指摘するご意見

○夕方・夜間の決済を前提とした業務の増大による労務管理面での負荷拡大を懸念するご意見

○海外との決済時間帯のオーバーラップについてさらなる拡大を期待するご意見